令和７年産

主要農作物生産振興資料

基本方針編

令和７年３月

群　馬　県　農　政　部

目　　次

令和７年産米・麦・大豆生産振興方針 …… 1

Ⅰ　米「需要に応じた米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進」

1 基本方針 …… 2
2 水稲の生産目標 …… 2
3 重点推進目標 …… 2
4 関連施策 …… 3
5 令和６年産水稲生育基本調査結果 …… 5
6 水田面積の推移 …… 10
7 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移 …… 11
8 令和６年産市町村別水稲作付面積及び収量・収穫量 …… 13
9 令和６年産全国水稲作付面積及び収量・収穫量 …… 14
10 群馬県における昭和60年以降の水稲地域別作柄概況の推移 …… 15
11 田植の進捗状況等の推移 …… 17
12 群馬県新規需要米等の取組計画認定状況 …… 19
13 水稲うるち品種別作付面積の推移 …… 21
14 稲作農家数等の推移（農林業センサス） …… 22
15 群馬県における米穀の年次別検査成績 …… 23
16 米の生産費及び収益性（10ａ当たり） …… 26

Ⅱ　麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

1 基本方針 …… 28
2 麦の生産目標 …… 28
3 重点推進目標 …… 28
4 関連政策 …… 30
5 麦の需要に関する動向 …… 31
（農林水産省「麦の参考資料」（令和６年３月公表）より抜粋）
6 令和７年産民間流通麦入札結果 …… 34
7 毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について …… 35
8 令和６年産群馬県産麦品質評価結果 …… 37
9 令和６年産麦類生育基本調査結果 …… 40
10 作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移 …… 45
11 令和４、５年産市町村別麦類10ａ当たり収量、収穫量 …… 49
12 令和６年産４麦の作付面積及び収穫量 …… 51
13 品種別作付面積の推移（群馬県） …… 55
14 検査数量上位品種の推移（全国） …… 56
15 令和６年産麦類検査等級比率（令和５年10月末現在） …… 57
16 累年の県産麦類検査等級 …… 58
17 小麦の生産費（10ａ当たり） …… 59

Ⅲ　大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

1 基本方針 …… 61
2 大豆の生産目標 …… 61
3 重点推進目標 …… 61
4 関連施策 …… 61
5 群馬県大豆生産の推移 …… 62
6 全国大豆生産の推移 …… 63
7 市町村別作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（群馬） …… 64
8 団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和４年産大豆の概要 …… 65
9 品種別作付面積の推移 …… 66
10 令和５、６年産大豆検査数量 …… 66
11 種類別検査実績（群馬） …… 67
12 全国大豆作付面積及び収量・収穫量 …… 68
13 大豆の生産費（10ａ当たり） …… 69

参考資料

資料１　そばに関する資料 …… 70

資料２　ライスセンター、カントリエレベーター、育苗センターの設置状況 …… 74

資料３　種子の生産状況及び品種情報について …… 81

資料４　主要農作物奨励品種特性表 …… 83

資料５　農産物規格規定（国内産農産物）の品位―抜粋― …… 89

令和７年産米・麦・大豆生産振興方針

群馬県農政部米麦畜産課

近年、世界的な人口増加等による食料需要の増大、気候変動、国際紛争など、国内外の様々な要因により食料安全保障の強化が求められている。食料安全保障の強化にあたっては、需要に応じた米の安定的な生産と、輸入依存度の高い麦・大豆の国産化が今後益々重要となる。

このため、群馬県では、食料の安定供給と水田農業の担い手確保・育成に向けて、経営所得安定対策での「水田活用の直接支払交付金（戦略作物助成、産地交付金）」等を効果的に活用し、需要に応じた米生産や麦類との二毛作を基本に、高収益作物を導入するぐんま型「水田フル活用」を推進する。

また、生産性の向上に向け、本県に適した品種の導入や優良種子の確保、ICT 等の高度先端技術の普及を図るとともに、新たな「食料・農業・農村基本計画」を踏まえ、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化に取り組む産地を支援し、生産基盤の強化に努める。併せて、持続的な水田活用につながるよう、耕畜連携による堆肥と飼料作物、わら利用の循環支援を行う。

上記を踏まえ、農業者・農業団体・実需者・行政・その他関係機関が一体となり、下記重点項目を推進する。

米：需要に応じた米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進

（１）地域の特色を活かした「需要に応じた米づくり」の推進
（２）経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
（３）本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
（４）農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
（５）気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
（６）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（７）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（８）農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
（９）種子生産者の確保と生産体制の強化
(10) スマート農業技術の普及

麦：実需者ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組

（１）実需者ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
（２）基本技術の励行による高品質麦の生産
（３）は種前契約の徹底や実需者との連携強化
（４）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（５）経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
（６）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（７）地産地消の取組等、新たな需要づくり
（８）種子生産者の確保と生産体制の強化
（９）スマート農業技術の普及

大豆：高品質大豆の安定生産の取組

（１）水田でのブロックローテーションや団地化の推進
（２）基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
（３）契約栽培による安定的な取引の拡大
（４）地産地消に対応した大豆生産の推進
（５）種子生産者の確保と生産体制の強化

Ⅰ　米「需要に応じた米づくりと戦略作物による水田フル活用の推進」

１　基本方針

（１）地域の特色を活かした「需要に応じた米づくり」の推進
（２）経営所得安定対策等の加入促進と高収益作物等の作付拡大
（３）本県二毛作体系に適した高温耐性・良食味品種の推進
（４）農地集積の促進、規模拡大等による担い手の経営体質の強化
（５）気象の変化に対応した栽培技術による高品質安定生産
（６）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（７）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（８）農産物検査法、米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保
（９）種子生産者の確保と生産体制の強化
(10) スマート農業技術の普及

２　水稲の生産目標

令和７年産水稲生産計画等を次のとおりとする。

表１　水稲生産計画等

区分＼項目	水稲主食用生産量(t)‥A	水稲うるちの検査			新規需要米等作付面積(ha)
		玄米総数量(t)‥B	検査比率(%)‥B/A	１等比率(%)	
令和５年産実績(確定)	62,500	30,948	49.5	57.1	3,839
令和６年産実績	63,900	24,313	38.0	69.6	3,233
令和７年産計画	68,892 以下	35,000	50 以上	90 以上	－

注　１）令和５、６年産水稲主食用生産量：農林水産省
　　２）令和７年産水稲主食用生産量：令和７年産米の都道府県別の生産目安
　　３）令和６年産実績の水稲うるちの検査：令和６年 12 月末日現在（農林水産省）
　　４）新規需要米等：飼料用米・米粉用米・ＷＣＳ用稲及び加工用米を含む

品質目標：整粒歩合「80%以上」及び出荷時の水分含量（玄米）「14.5～15%」
⇨ ＊耕畜連携による堆肥、わら類などの有機物の施用及び深耕等の土づくり
＊土壌診断に基づく土壌改良資材の適正施用
＊高温対策としての品種選定及び肥培管理・水管理の徹底
＊耕種的・生物的・化学的防除（農薬の適期、適正使用）による病害虫防除
＊登熟期間の積算温度や帯緑色籾歩合等を活用した適期収穫の徹底
＊異品種や異物混入の防止
＊品質目標値を確保するための調製、保管管理の徹底

３　重点推進目標

(1) 生産・流通対策

ア　適地適品種の推進と基本技術の励行

安定した収量と高い品質を確保するため、高温耐性品種や実需要望の高い品種について現地実証ほを設置し、本県での栽培に適した品種の選定と作付の拡大を図る。また、著しい高温や低温などの気象の変化に対応できるよう、堆肥やわら類、土壌改良材等による土づくりのほか、肥培・水管理、適期防除や適期収穫など、基本技術の励行を推進する。

イ　特色ある米づくりの推進

有機、特別栽培米や良食味米等、消費者の求める米づくりの振興を図る。

ウ　高度先端技術の導入

圃場管理システム、ＧＰＳを活用したスマート農業機械等の導入で、生産性向上を図る。

エ　共同乾燥調製貯蔵施設等の管理体制強化と安全で高品質な米の流通

共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。

オ　米トレーサビリティ法及び食糧法の遵守による適正流通の確保

米トレーサビリティ法に基づき、産地情報を消費者に伝達するため、栽培管理記帳や取引記録の作成・保存の徹底を図るとともに、加工用米・飼料用米・米粉用米等の用途限定米穀の適正流通を推進する。

カ　適正な農産物検査の実施

信頼される産地として農産物検査が適確に行われるよう、検査技術の維持・向上を図る。

(2) 販売対策

ア　需要に応じた米づくりの実践

持続的な米生産が行われるためには、需要と供給のバランスが保たれ、生産者が再生産できる収益を確保することが必要である。そのため、生産者が作付けの判断に資するよう、主食用米の需給見通し等について情報提供に努める。また、地域ブランド米の PR 支援を通じて、需要の掘り起こしを行い、消費拡大につなげる。

イ　業務用途米への対応

用途別の需要を把握し、需要に即した品種の作付及び生産量の確保を図るとともに、基本技術の遵守により安定した収量及び高品質米の供給に努める。

ウ　県産米の県内消費の拡大

県内消費者へ向けて県産米の情報提供を積極的に行い、県産米の県内消費拡大への理解を促し、地産地消等を推進する。

(3) 担い手育成対策

ア　担い手の育成・支援

水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。

イ　集落営農組織の経営体質強化

各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。

ウ　農地集積の促進

農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(4) 経営所得安定対策の加入促進と新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

ア　経営所得安定対策の加入促進

需要に即した生産の推進と食料自給率の向上を図るため、国、県、市町村、農業団体等の関係機関と連携し、生産者に対し生産量の目安について情報提供を行うとともに、経営所得安定対策の制度を周知し、加入促進を図る。

イ　新規需要米等戦略作物の作付拡大の推進

制度を活用し、麦や新規需要米等の戦略作物の作付拡大により水田の有効活用を図る。

(ｱ) 飼料用米

ＪＡ組織で行う流通での取扱を基本とし、稲作農家と畜産農家による地域流通の取組も併せて推進する。また、本県二毛作に適した飼料用米専用品種（多収・特認品種）の導入支援を図る。

(ｲ) 米粉用米

米粉製品の販促活動により、米粉の需要拡大を図る。

(ｳ) 飼料イネ（ＷＣＳ用稲）

稲作農家と畜産農家とのマッチングを進めながら作付を推進するとともに、収穫調製機械の整備やコントラクター（農作業受託組織）の育成を図る。

(5) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した稲生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

４　関連施策

・農業経営力向上事業（県単）
・ぐんま型水田フル活用推進事業（県単）

・経営所得安定対策等（国庫）
・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
・新基本計画実装・農業構造転換支援事業（国庫）

参考　群馬県稲作の現状及び課題

＜現状＞
○稲作は複合経営の一部門として、小規模で栽培されることが多い
○平坦地は米麦二毛作体系が主体
○水田農業の担い手が不足
○生産コストの上昇
○気象の影響等により米の品質が低下
○農地利用集積、作業受委託の遅れ
○共同乾燥調製貯蔵施設の老朽化

・令和６年産水稲作付面積及び収穫量【子実用】
作付面積：14,300ha（全国比 1.05%）
生 産 量：71,400t（全国比 0.97%）
作況指数：100（全国 101）
１等比率：69.6%（全国平均 75.9%）　令和６年 12 月 31 日現在

・米の食味ランキング（一般財団法人 日本穀物検定協会）

	R６産	R５産	R４産	R３産	R２産	R 元産	H30 産	H29 産
北毛(コシヒカリ)：	A’	A	A	A	特A	A	A	A
中毛(ゆめまつり)：	A’	A	A	A’	A’	A’	A’	A’
東毛(あさひの夢)：	A	A	A	A’	A’	A’	A’	A

・新規需要米等の生産状況（面積）　(ha)

年 度	28	29	30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
米粉用米	244	227	324	337	325	369	372	168	213
飼料用米	1,844	1,541	1,243	1,003	959	1321	1,575	1,661	1,018
WCS 用稲	588	555	519	528	514	539	584	621	645
小　　計(a)	2,676	2,323	2,086	1,868	1,798	2,229	2,531	2,450	1,876
加工用米(b)	1,137	1,390	1,480	1,473	1,309	1,350	1,439	1,389	1,355
合　計(a+b)	3,813	3,713	3,566	3,341	3,107	3,579	3,970	3,839	3,231

＜課題＞
○水田農業の担い手確保
○収益の向上
・再生産につながる適正価格の維持
（需要に応じた米づくり、需要喚起による消費拡大）
・生産性の向上
（優良種子の確保、ICT 等の高度先端技術の普及、農地集積やほ場区画整理）
○高温登熟障害による収量、品質の低下
（高温耐性品種の選定と作付拡大、基本技術の励行による収量・品質の確保）
○生産基盤の強化
（農業機械、共同利用施設等の再整備）
○持続的な水田活用
（耕畜連携による堆肥、飼料作物、わら等の資源循環）

5　令和６年産　水稲生育基本調査結果（早植）

東部地域研究センター

概　要

早植栽培「あさひの夢」の生育経過は、移植後 20 日調査では草丈、茎数ともに平年を上回り、40 日調査では草丈は高いが、茎数は平年を下回った。高温で経過したため、幼穂形成始期及び出穂期は平年より２日早く、成熟期は７日早まった。登熟に要した日数は 38 日で、平年より５日短縮された。稈長、穂長は平年並であった。収量構成要素の玄米千粒重は平年比 104％と上回ったが、㎡当全穂数は平年比 95％、１穂当全籾数は平年比 98％、㎡当全籾数としては平年比 93％で下回り、㎡当玄米重（収量）は平年比 96％となった。外観品質は白未熟粒により 5.0（２等相当）であったが、イネカメムシの斑点米を加味した場合は 9.0（規格外相当）である。

注）平年は奨励品種決定調査過去 10 年の平均値との比較。ただし、幼穂形成始期、収量構成要素、収量は過去４年の平均値との比較。

１　耕種方法

（１）試験場所：館林市当郷町　農業技術センター東部地域研究センター内

（２）土壌条件：灰色低地土

（３）供試品種：あさひの夢

（４）耕種概要　①育苗　　様　　式：箱育苗（ビニールプール）

播　種　日：５月 14 日

播　種　量：80g/箱(乾籾)

施　肥　量：覆土　N:0.4 P_2O_5:0.8 K_2O:0.6（くみあい合成培土３号）

：床土　N:0.8 P_2O_5:0.8 K_2O:0.8（こめパワーマットＤ）

②本田　　面　　積：5.8 ㎡、3 反復

栽植密度：18.5 本/㎡（条間 30cm、株間 18cm）植付本数：１株４本

移　植　期：６月４日

施　肥　量：基肥(kg/a) N:0.6（N-P_2O_5-K_2O:14-18-16）５月 30 日実施

追肥(kg/a) N:0.2（N-P_2O_5-K_2O:17-0-16）７月 29 日実施

２　結果の概要

（１）気象経過（５月～10 月）（別紙　気象経過）

① 平均気温

育苗期間の平均気温は平年差＋0.6℃、移植後～幼穂形成期始期の期間は平年差＋2.0℃、幼穂形成期～出穂期の期間は＋2.7℃、出穂期後～成熟期の期間は＋2.8℃であった。

月別の平均気温は、５月は 19.7℃で平年差＋0.8℃、６月は 23.5℃で平年差＋1.1℃、７月は 28.7℃で平年差＋2.6℃、８月は 29.3℃で平年差＋2.0℃、９月は 26.6℃で平年差＋3.2℃であった。生育期間全体の５月～９月の平均気温は 25.6℃で平年差＋1.9℃となった。

② 降水量

本年の梅雨入りは６月 21 日ごろで平年より 14 日遅く、梅雨明けは７月 18 日ごろで平年より１日早かった。育苗期間の降水量は 76.5 ㎜で平年比 87％、移植後～幼穂形成始期の期間は 190.5 ㎜で平年比 71％、幼穂形成期～出穂期の期間は 74.5 ㎜で平年比 86％、出穂期後～成熟期の期間は 295.5 ㎜で平年比 138％であった。

月別の降水量は、５月は 133.5 ㎜で平年比 117％、６月は 136.5 ㎜で平年比 96％、７月は 84.5 ㎜で 53％、８月は 250.5 ㎜で平年比 174％、９月は 121.5 ㎜で平年比 72％であった。生育期間全体の５月～９月の降水量は 726.5 ㎜で平年比 100％となった。

③ 日照時間

育苗期間の日照時間は平年比 102％、移植後～幼穂形成始期の期間は平年比 129％、幼穂形成期～出穂期の期間は 128％、出穂期後～成熟期の期間は平年比 117％であった。

月別の日照時間は、５月は平年比 105％、６月は 137％、７月は 119％、８月は 106％、９月は 124％であった。生育期間全体の５月～９月の日照時間は平年比 117％となった。

注）館林地域気象観測所（アメダス）データを使用。1991 年～2020 年の平年値

（２）生育および収量（表１、２、３　図１、２）

移植苗の主稈葉数は 3.0 葉（＋0.4 葉）、草丈は 16.9 ㎝（＋2.0 ㎝）であった。移植後 20 日調査では、草丈 37.0 ㎝（＋5.4 ㎝）、㎡当茎数は 459 本（132％）であった。移植後 40 日調査では、草丈は 76.7 ㎝で（＋11.2 ㎝）、㎡当茎数は 501 本（81％）であった。幼穂形成始期は７月 25 日（－2 日）、出穂期は８月 16 日（－２日）、成熟期は９月 23 日（－７日）で、登熟に要した日数は 38 日（－５日）であった。稈長は 77 ㎝（＋0.2 ㎝）、穂長は 20.8 ㎝（＋0.1 ㎝）であった。

収量構成要素の㎡当全穂数は333本（95%）、1穂当全籾数は72.7粒（98%）、㎡当全籾数は24,183粒（93%）であった。粒厚分布（重量比）は、2.1㎜以上粒は72.4%（平年値31.9%）、2.0㎜以上粒は93.0%（平年値83.6%）、1.9㎜以上粒は95.6%（平年値94.9%）、1.8㎜以上粒は97.5%（平年値98.2%）であった。玄米千粒重は23.3ｇ（104%）、登熟歩合は85.0%（平年値85.4%）、㎡当玄米重は480ｇ（96%）であった。病害虫の発生については、紋枯病、イネカメムシ※1の発生が見られた。外観品質※2は、白未熟粒により5.0(2等相当)であった。

※1 イネカメムシは出穂前から発生が確認されたため、スタークル豆つぶ剤を3回処理した。
※2 外観品質は、イネカメムシよる斑点米を取り除き評価した。斑点米を加味した場合では9.0（規格外相当）。斑点米率は着色粒（斑点米）の3等最高限度0.7%を超える1.3%であった。
注）（ ）内は奨励品種決定調査過去10年の平均値との比較。ただし、幼穂形成始期、収量構成要素、収量は過去4年の平均値との比較または平均値を示す。

令和6年度　水稲生育基本調査(早植生育経過資料:東部セ)

試験の特徴				栽植密度18.5株/㎡、1株4本植 5月14日播種　〔施肥量〕 6月4日移植　基肥N:0.60kg/a(化成486号) 育苗日数21日　追肥N:0.20kg/a(化成NK17)				
品種名　あさひの夢				実測値			相対比較値	
項目			比較年次	本年	前年	平年	前年	平年
生育状況	移植時	主稈葉数	(葉)	3.0	2.5	2.6	0.5 葉	0.4 葉
		草丈	(cm)	16.9	16.5	14.9	0.4 cm	2.0 cm
	移植後20日	草丈	(cm)	37.0	35.8	31.6	1.2 cm	5.4 cm
		茎数	(本/㎡)	459	241	347	190 %	132 %
	移植後40日	草丈	(cm)	76.7	65.4	65.5	11.4 cm	11.2 cm
		茎数	(本/㎡)	501	572	621	88 %	81 %
	幼穂形成始期		(月/日)	7/25	7/28	7/27	▲ 3 日	▲ 2 日
	出穂期		(月/日)	8/16	8/17	8/18	▲ 1 日	▲ 2 日
	成熟期		(月/日)	9/23	9/22	9/30	1 日	▲ 7 日
	登熟日数		(日)	38	36	43	2 日	▲ 5 日
	稈長		(cm)	77	73	77	4.5 cm	0.2 cm
	穂長		(cm)	20.8	20.7	20.7	0.1 cm	0.1 cm
収量構成要素	㎡当	全穂数	(本)	333	352	349	94 %	95 %
	粒数	1穂当全籾数	(粒)	72.7	68.8	74.3	106 %	98 %
		㎡当全籾数	(×100粒)	242	243	259	100 %	93 %
	登熟	玄米千粒重	(g)	23.3	22.2	22.5	105 %	104 %
		千籾当収量	(g)	19.8	18.3	19.2	109 %	103 %
		登熟歩合	(%)	85.0	82.3	85.4	2.7	▲ 0.5
収量		㎡当玄米重	(g)	480	443	498	108 %	96 %
		精玄米重歩合	(%)	97.6	98.0	97.9	▲ 0.4	▲ 0.3
		蛋白質含有率	(%)	7.0	6.8	7.6	0.2	▲ 0.6
		外観品質	(1－9)	5.0	8.0	3.6	―	―
		倒伏程度	(0－5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病害虫の発生状況				紋枯病:少 イネカメムシ発生			―	―

注1 生育基本調査「あさひの夢」は令和2年から開始。
注2 奨励品種決定調査（早植）過去10ヶ年の平均値を平年値とする。ただし、幼穂形成始期、収量構成要素、収量は過去4年の平均値。
注3 株間について令和元年まで15㎝（22.2株/㎡）、令和2年～令和3年は20㎝（16.7株/㎡）、令和4年からは18㎝（18.5株/㎡）で実施。
注4 対差（比）の▲印は、月日に関しては早まったことを意味し、他の項目に関しては減少を意味する。
注5 収量、千粒重は粒厚1.8mm以上で、水分15.0%に補正。
注6 外観品質は9段階評価　1等相当：1-3　2等相当：4-6　3等相当：7-8　規格外：9
注7 令和6年の外観品質は、イネカメムシによる斑点米を取り除き評価した数値。

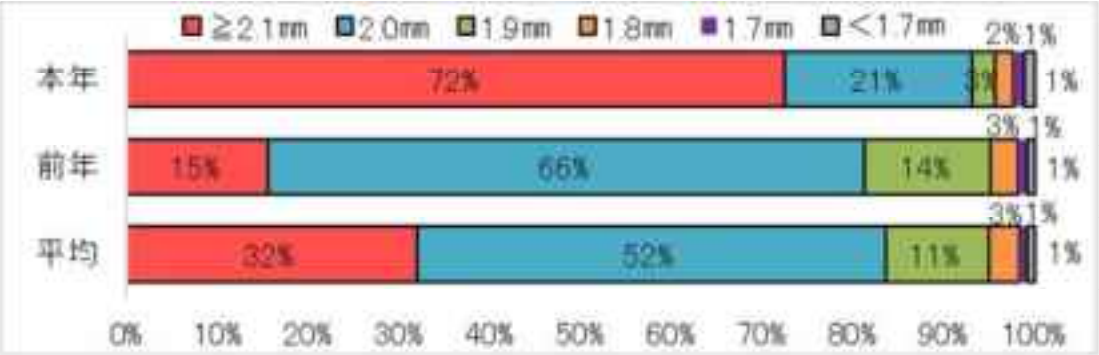


図１　粒厚分布（重量比）

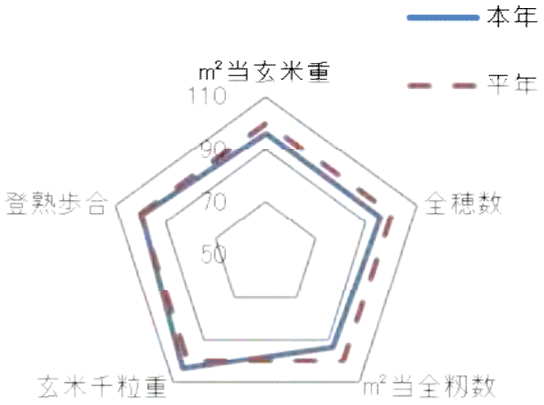


図２　収量構成要素（相対値比較）

表２　イネカメムシによる斑点米率

反復	測定数	斑点米数	斑点米率
1	1000	6	0.6%
2	1000	13	1.3%
3	1000	21	2.1%
平均	1000	13.3	1.3%

表３　玄米品質

	穀粒判別機							外観品質（1－9）
	整粒（%）	未熟粒（%）	（うち白未熟粒）（%）	被害粒（%）	死米（%）	着色粒（%）	胴割粒（%）	
本年	62.3	35.7	19.9	0.7	1.1	0.2	0.0	5.0
前年	33.1	49.4	29.5	1.2	16.3	0.0	0.0	8.0
平均	72.1	23.1	8.4	1.4	3.1	0.0	0.3	3.6

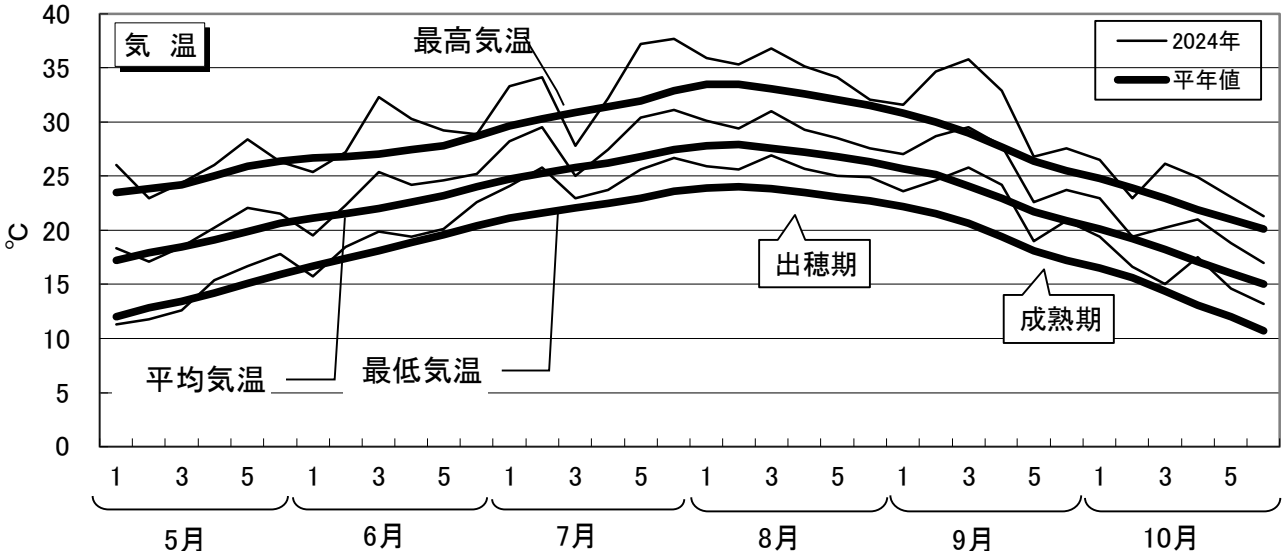
注１　平均は過去10ヶ年の平均値。
注２　穀粒判別機による測定は平成24年～平成29年はKett製RN－300、平成30年～令和３年はサタケ製RGQI90A、令和４年はサタケ製RGQI100B、令和５年はRGQI90A、令和６年はRGQI100Bを使用。
注３　令和６年の穀粒判別機の数値は、イネカメムシによる斑点米を取り除き測定した。
注４　蛋白質含量は静岡製機制GS2000で測定。
注５　外観品質は、1～3（1等相当）、4～6（2等相当）、7～8（3等相当）、9（規格外）

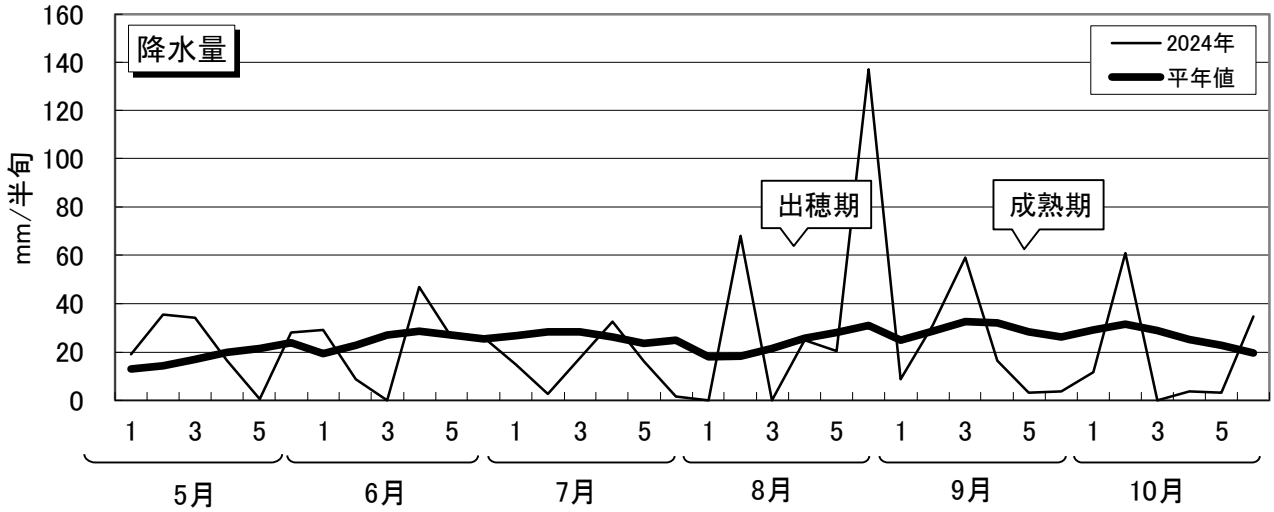
気象経過（令和6年5月～10月）

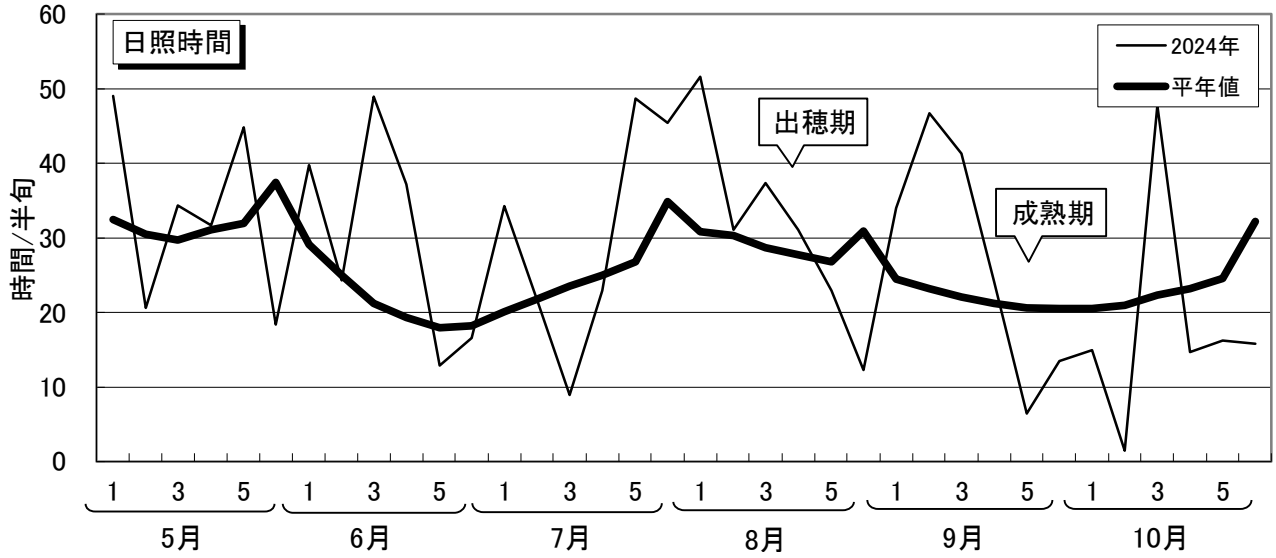
		平均気温					最高気温					最低気温					降水量					日照時間				
月	半旬	2024年	2023年	平年値	前年差	平年差	2024年	2023年	平年値	前年差	平年差	2024年	2023年	平年値	前年差	平年差	2024年	2023年	平年値	前年比	平年比	2024年	2023年	平年値	前年比	平年比
5月	1	18.3	18.3	17.2	0.0	1.1	26.0	25.8	23.5	0.2	2.5	11.3	11.3	12.0	0.0	(0.7)	19.0	4.5	12.8	422%	148%	49.1	55.8	32.4	88%	152%
		17.1	17.1	17.9	0.0	(0.8)	22.9	23.9	23.8	(1.0)	(0.9)	11.8	11.1	12.8	0.7	(1.0)	35.5	30.0	14.1	118%	252%	20.6	31.7	30.5	65%	68%
	3	18.5	16.4	18.4	2.1	0.1	24.4	21.0	24.2	3.4	0.2	12.6	12.6	13.4	0.0	(0.8)	34.0	15.5	16.9	219%	201%	34.3	19.5	29.7	176%	115%
		20.2	21.8	19.1	(1.6)	1.1	26.0	29.5	25.0	(3.5)	1.0	15.4	15.1	14.2	0.3	1.2	16.5	15.5	20.0	106%	83%	31.7	36.8	31.0	86%	102%
	5	22.1	18.3	19.9	3.8	2.2	28.4	23.6	25.9	4.8	2.5	16.7	13.5	15.1	3.2	1.6	0.5	66.5	21.5	1%	2%	44.8	27.6	31.9	162%	140%
		21.5	21.0	20.6	0.5	0.9	26.3	26.2	26.4	0.1	(0.1)	17.8	16.8	15.9	1.0	1.9	28.0	6.5	23.8	431%	118%	18.4	30.6	37.4	60%	49%
6月	1	19.5	21.3	21.1	(1.8)	(1.6)	25.4	26.6	26.7	(1.2)	(1.3)	15.7	16.0	16.7	(0.3)	(1.0)	29.0	103.0	19.1	28%	152%	39.8	35.0	29.1	114%	137%
		22.3	22.6	21.5	(0.3)	0.8	27.2	27.1	26.8	0.1	0.4	18.5	18.6	17.4	(0.1)	1.1	8.5	28.0	22.7	30%	37%	24.3	19.9	25.0	122%	97%
	3	25.4	22.5	22.0	2.9	3.4	32.3	25.4	27.0	6.9	5.3	19.9	20.5	18.1	(0.6)	1.8	0.0	45.0	26.9	0%	0%	48.9	8.1	21.2	604%	231%
		24.2	24.6	22.6	(0.4)	1.6	30.3	30.7	27.4	(0.4)	2.9	19.4	19.2	18.9	0.2	0.5	47.0	10.0	28.4	470%	165%	37.2	52.8	19.3	70%	193%
	5	24.6	22.7	23.2	1.9	1.4	29.2	27.2	27.8	2.0	1.4	20.1	18.8	19.6	1.3	0.5	26.0	74.0	27.0	35%	96%	12.8	27.2	17.9	47%	72%
		25.2	26.3	24.0	(1.1)	1.2	28.9	31.0	28.7	(2.1)	0.2	22.6	23.0	20.4	(0.4)	2.2	26.0	16.5	25.4	158%	102%	16.6	19.4	18.2	86%	91%
7月	1	28.2	26.5	24.7	1.7	3.5	33.3	31.4	29.6	1.9	3.7	24.1	22.5	21.1	1.6	3.0	14.5	3.5	26.6	414%	55%	34.2	30.7	20.1	111%	170%
		29.5	27.6	25.3	1.9	4.2	34.1	33.1	30.3	1.0	3.8	25.8	23.4	21.6	2.4	4.2	2.5	37.5	28.2	7%	9%	21.5	29.8	21.8	72%	99%
	3	25.0	27.8	25.8	(2.8)	(0.8)	27.8	33.5	30.9	(5.7)	(3.1)	22.9	24.0	22.1	(1.1)	0.8	17.5	14.5	28.2	121%	62%	8.9	24.6	23.5	36%	38%
		27.4	30.1	26.2	(2.7)	1.2	32.2	36.4	31.4	(4.2)	0.8	23.7	25.6	22.5	(1.9)	1.2	32.5	0.5	26.3	6500%	124%	23.0	53.4	25.0	43%	92%
	5	30.4	28.4	26.8	2.0	3.6	37.2	34.9	32.0	2.3	5.2	25.6	23.6	23.0	2.0	2.6	16.0	0.0	23.5	—	68%	48.7	49.5	26.8	98%	182%
		31.1	31.1	27.5	0.0	3.6	37.7	38.5	32.9	(0.8)	4.8	26.7	25.6	23.6	1.1	3.1	1.5	0.0	24.7	—	6%	45.4	66.7	34.9	68%	130%
8月	1	30.1	30.2	27.8	(0.1)	2.3	35.9	36.8	33.5	(0.9)	2.4	25.9	25.7	23.9	0.2	2.0	0.0	0.0	17.8	—	0%	51.6	47.6	30.8	108%	168%
		29.4	29.3	27.9	0.1	1.5	35.3	34.3	33.5	1.0	1.8	25.6	26.1	24.0	(0.5)	1.6	68.0	47.5	18.1	143%	376%	31.1	31.0	30.3	100%	103%
	3	31.0	29.2	27.6	1.8	3.4	36.8	34.5	33.1	2.3	3.7	26.9	25.7	23.8	1.2	3.1	0.0	16.0	21.5	0%	0%	37.3	35.9	28.7	104%	130%
		29.3	30.0	27.2	(0.7)	2.1	35.1	35.6	32.6	(0.5)	2.5	25.7	26.3	23.5	(0.6)	2.2	25.0	0.0	25.7	—	97%	31.0	36.5	27.7	85%	112%
	5	28.5	30.1	26.8	(1.6)	1.7	34.1	35.6	32.1	(1.5)	2.0	25.0	26.3	23.1	(1.3)	1.9	20.5	4.0	27.9	513%	73%	23.0	34.8	26.8	66%	86%
		27.6	30.0	26.3	(2.4)	1.3	32.1	35.8	31.5	(3.7)	0.6	24.9	25.8	22.7	(0.9)	2.2	137.0	0.0	31.0	—	442%	12.3	48.8	30.9	25%	40%
9月	1	27.0	29.0	25.7	(2.0)	1.3	31.6	34.3	30.8	(2.7)	0.8	23.6	25.2	22.2	(1.6)	1.4	8.5	14.5	24.8	59%	34%	34.0	32.0	24.4	106%	139%
		28.7	25.8	25.1	2.9	3.6	34.7	30.2	30.0	4.5	4.7	24.6	22.7	21.5	1.9	3.1	31.0	50.0	28.5	62%	109%	46.7	12.9	23.2	362%	201%
	3	29.5	28.4	24.1	1.1	5.4	35.8	34.0	29.0	1.8	6.8	25.8	24.8	20.6	1.0	5.2	59.0	0.5	32.4	11800%	182%	41.3	34.3	22.1	120%	187%
		27.8	28.4	23.0	(0.6)	4.8	32.9	34.3	27.7	(1.4)	5.2	24.2	24.6	19.4	(0.4)	4.8	16.5	28.5	31.9	58%	52%	24.1	28.7	21.2	84%	114%
	5	22.6	23.2	21.7	(0.6)	0.9	26.8	27.8	26.4	(1.0)	0.4	19.0	19.4	18.1	(0.4)	0.9	3.0	32.5	28.2	9%	11%	6.4	19.6	20.6	33%	31%
		23.7	25.1	20.9	(1.4)	2.8	27.6	29.9	25.5	(2.3)	2.1	20.9	21.7	17.2	(0.8)	3.7	3.5	0.0	26.1	—	13%	13.5	22.2	20.5	61%	66%
10月	1	22.9	20.7	20.1	2.2	2.8	26.5	24.6	24.8	1.9	1.7	19.4	17.3	16.5	2.1	2.9	11.5	29.0	28.9	40%	40%	15.0	18.2	20.5	82%	73%
		19.4	17.7	19.2	1.7	0.2	23.0	22.2	23.9	0.8	(0.9)	16.6	13.6	15.6	3.0	1.0	61.0	48.0	31.4	127%	194%	1.4	24.0	20.9	6%	7%
	3	20.2	17.4	18.2	2.8	2.0	26.1	22.9	23.0	3.2	3.1	15.0	12.7	14.4	2.3	0.6	0.0	27.0	28.8	0%	0%	47.8	39.2	22.3	122%	214%
		21.0	18.5	17.1	2.5	3.9	24.9	25.4	21.9	(0.5)	3.0	17.5	11.9	13.1	5.6	4.4	3.5	0.0	25.3	—	14%	14.6	48.3	23.2	30%	63%
	5	18.8	16.4	16.0	2.4	2.8	23.1	22.9	21.0	0.2	2.1	14.6	10.9	12.0	3.7	2.6	3.0	0.0	22.6	—	13%	16.2	40.7	24.6	40%	66%
		17.0	16.3	15.0	0.7	2.0	21.3	22.5	20.1	(1.2)	1.2	13.2	11.4	10.7	1.8	2.5	34.5	2.5	19.4	1380%	178%	15.8	42.5	32.2	37%	49%
5月		19.7	18.9	18.9	0.8	0.8	25.7	25.0	24.8	0.7	0.9	14.4	13.5	14.0	0.9	0.4	133.5	138.5	114.2	96%	117%	198.9	202.0	189.6	98%	105%
6月		23.5	23.3	22.4	0.2	1.1	28.9	28.0	27.4	0.9	1.5	19.4	19.3	18.5	0.1	0.9	136.5	276.5	142.3	49%	96%	179.6	162.4	131.1	111%	137%
7月		28.7	28.7	26.1	0.0	2.6	33.8	34.7	31.2	(0.9)	2.6	24.8	24.2	22.4	0.6	2.4	84.5	56.0	158.6	151%	53%	181.7	254.7	152.7	71%	119%
8月		29.3	29.8	27.3	(0.5)	2.0	34.8	35.5	32.7	(0.7)	2.1	25.6	26.0	23.5	(0.4)	2.1	250.5	67.5	143.9	371%	174%	186.3	234.6	175.5	79%	106%
9月		26.6	26.7	23.4	(0.1)	3.2	31.6	31.8	28.3	(0.2)	3.3	23.0	23.1	19.8	(0.1)	3.2	121.5	126.0	167.9	96%	72%	166.0	149.7	133.5	111%	124%
10月		19.8	17.8	17.6	2.0	2.2	24.1	23.4	22.4	0.7	1.7	16.0	12.9	13.7	3.1	2.3	113.5	106.5	160.6	107%	71%	110.8	212.9	142.4	52%	78%
5－9月		25.6	25.5	23.6	0.1	1.9	31.0	31.0	28.9	(0.0)	2.1	21.4	21.2	19.6	0.2	1.8	726.5	664.5	726.9	109%	100%	912.5	1003.4	782.4	91%	117%
5-10月		24.6	24.2	22.6	0.4	2.0	29.8	29.7	27.8	0.1	2.0	20.5	19.8	18.7	0.7	1.9	840.0	771.0	887.5	109%	95%	1023.3	1216.3	924.8	84%	111%
育苗期間（R6 5/14～6/4）		20.6	20.1	20.0	0.5	0.6	26.3	25.7	25.8	0.6	0.5	16.1	15.3	15.3	0.8	0.9	76.5	205.5	87.5	37%	87%	138.7	119.4	135.9	116%	102%
移植後～幼穂形成始期（R6 6/5～7/25）		26.1	25.9	24.2	0.2	2.0	31.2	31.0	29.1	0.1	2.0	22.1	21.8	20.4	0.3	1.7	190.5	229.5	267.2	83%	71%	289.7	326.0	224.3	89%	129%
幼穂形成期～出穂期（R6 7/26～8/16）		30.3	30.0	27.7	0.4	2.7	36.2	36.0	33.2	0.3	3.0	26.3	25.8	23.8	0.5	2.5	74.5	63.5	86.9	117%	86%	166.8	185.6	130.3	90%	128%
出穂期後～成熟期（R6 8/17～9/23）		27.9	28.5	25.2	(0.5)	2.8	33.3	33.9	30.2	(0.6)	3.1	24.4	24.8	21.6	(0.4)	2.9	295.5	129.5	214.8	228%	138%	214.4	225.2	183.1	95%	117%

注）館林地域気象観測所（アメダス）データを使用。平年値は1991年～2020年。

気象経過(令和6年5月～10月)







注）館林地域気象観測所（アメダス）データを使用。平年値は1991～2020年。

６　水田面積の推移

区分	群馬県					全国				
	耕地面積	水田			水田率	耕地面積	水田			水田率
	(a)	本地	畦畔	計 (b)	(b／a)	(a)	本地	畦畔	計 (b)	(b／a)
	ha	ha	ha	ha	%	千ha	千ha	千ha	千ha	%
S 30	117,623			34,385	32.5					
35	121,495	39,357	2,963	42,320	34.8	6,017	3,146	236	3,381	55.7
40	120,400	39,700	2,990	42,700	35.5	6,004	3,154	236	3,391	56.5
45	114,100	39,700	2,900	42,600	37.3	5,796	3,180	234	3,415	58.9
50	106,500	36,500	2,670	39,200	36.8	5,572	2,959	212	3,171	56.9
55	103,100	35,800	2,600	38,400	37.2	5,461	1,858	197	3,055	55.9
60	99,500	34,000	2,470	36,500	36.7	5,379	2,766	186	2,952	54.9
61	98,100	33,600	2,280	35,900	36.6	5,358	2,748	183	2,931	54.7
62	97,300	33,400	2,270	35,700	36.7	5,340	2,729	181	2,910	54.5
63	96,500	33,100	2,260	35,400	36.7	5,317	2,710	179	2,889	54.3
H1	95,200	32,800	2,230	35,000	36.8	5,279	2,692	177	2,868	54.3
2	93,900	32,500	2,210	34,700	37.0	5,243	2,672	175	2,846	54.3
3	92,700	32,000	2,180	34,200	36.9	5,204	2,652	173	2,825	54.3
4	91,900	31,800	2,170	33,990	36.9	5,165	2,631	171	2,802	54.2
5	90,600	31,300	2,150	33,400	36.9	5,124	2,612	170	2,782	54.3
6	89,500	31,000	2,130	33,100	37.0	5,083	2,596	168	2,764	54.4
7	88,700	30,800	2,120	32,900	37.1	5,038	2,579	166	2,745	54.5
8	87,900	30,400	2,090	32,500	37.0	4,994	2,560	164	2,724	54.5
9	86,700	30,100	2,080	32,200	37.1	4,949	2,539	162	2,701	54.6
10	85,700	29,900	2,060	32,000	37.3	4,905	2,519	160	2,679	54.6
11	84,700	29,700	2,050	31,700	37.4	4,866	2,510	158	2,659	54.6
12	83,800	29,500	2,030	31,500	37.6	4,830	2,485	156	2,641	54.7
13	82,900	29,300	2,010	31,300	37.8	4,794	2,469	155	2,624	54.7
14	81,700	28,900	1,980	30,880	37.8	4,762	2,454	153	2,607	54.4
15	80,400	28,400	1,950	30,300	37.7	4,736	2,440	152	2,592	54.7
16	79,200	27,900	1,930	29,800	37.6	4,714	2,425	151	2,575	54.6
17	78,500	27,500	1,910	29,400	37.5	4,692	2,410	146	2,556	54.5
18	77,900	27,300	1,900	29,200	37.5	4,671	2,398	145	2,543	54.4
19	77,400	27,100	1,880	29,000	37.5	4,650	2,386	143	2,530	54.4
20	76,900	26,800	1,870	28,700	37.3	4,628	2,373	143	2,516	54.4
21	76,300	26,600	1,850	28,400	37.2	4,609	2,364	142	2,506	54.4
22	75,400	26,300	1,820	28,100	37.3	4,593	2,355	141	2,496	54.3
23	74,500	26,000	1,790	27,800	37.3	4,561	2,334	140	2,474	54.2
24	73,900	25,800	1,770	27,570	37.3	4,549	2,329	140	2,469	54.3
25	73,300	25,700	1,760	27,400	37.4	4,537	2,326	140	2,465	54.3
26	72,600	25,500	1,750	27,200	37.5	4,518	2,320	138	2,458	54.4
27	71,900	25,300	1,740	27,100	37.7	4,496	2,310	136	2,446	54.4
28	70,900	25,100	1,720	26,800	37.8	4,471	2,296	135	2,432	54.4
29	69,500	24,700	1,680	26,400	38.0	4,444	2,284	134	2,418	54.4
30	68,400	24,400	1,640	26,100	38.2	4,420	2,273	132	2,405	54.4
R1	67,600	24,100	1,630	25,800	38.2	4,397	2,261	132	2,393	54.4
R2	66,800	23,700	1,600	25,300	37.9	4,372	2,248	131	2,379	54.4
R3	65,900	23,100	1,580	24,700	37.5	4,349	2,236	130	2,366	54.4
R4	64,900	22,700	1,550	24,200	37.3	4,325	2,223	129	2,352	54.4
R5	63,800	22,200	1,520	23,800	37.3	4,297	2,207	128	2,335	54.3
R6	63,200	22,000	1,500	23,500	37.2	4,272	2,192	127	2,319	54.3

注）農林水産省「耕地面積」による。

7　作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

（１）群馬県

項目	水陸稲合計		水稲					陸稲				
年次	作付面積	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	kg		ha	kg	t	kg	
30	52,958	183,495	35,721	394	140,580	368	107	15,312	231	35,340	171	135
35	53,628	183,660	39,172	393	154,100	366	107	14,479	204	29,600	185	111
40	50,100	155,800	39,600	351	139,000	383	92	10,500	160	16,800	203	79
45	39,900	148,600	36,000	390	140,400	373	105	3,870	211	8,170	182	116
50	34,300	145,400	33,000	434	143,200	397	109	1,300	166	2,160	191	87
55	28,800	104,700	28,100	368	103,400	411	90	650	197	1,280	187	105
60	27,900	128,900	27,300	468	127,800	415	113	600	178	1,070	183	97
61	27,300	123,200	26,700	456	121,800	419	109	639	224	1,430	183	122
62	24,700	115,700	24,000	475	114,000	423	112	697	242	1,690	183	132
63	24,200	95,300	23,400	401	93,800	429	93	803	184	1,480	187	98
Ｈ１	23,700	105,100	22,900	452	103,500	431	105	791	206	1,630	191	108
2	23,200	107,700	22,500	474	106,700	436	109	706	137	967	194	71
3	22,300	100,500	21,800	455	99,200	441	103	576	231	1,330	194	119
4	22,700	107,700	22,200	482	107,000	446	108	466	156	727	197	79
5	22,600	88,500	22,200	396	87,900	452	88	409	150	614	197	76
6	24,500	124,000	24,100	512	123,400	452	113	394	146	575	197	74
7	23,300	116,300	23,000	503	115,700	456	110	372	169	629	197	86
8	21,500	109,000	21,200	512	108,500	460	111	324	141	457	190	74
9	21,100	105,000	20,900	500	104,500	468	107	224	222	497	166	134
10	19,700	87,600	19,500	447	87,200	476	94	196	216	423	－	－
11	19,700	96,400	19,500	493	96,100	484	102	154	209	322	－	－
12	19,500	91,800	19,400	472	91,600	491	96	130	180	234	－	－
13	19,100	90,600	19,000	476	90,400	491	97	119	170	201	－	－
14	18,900	91,900	18,800	488	91,700	492	99	106	171	181	－	－
15	18,900	87,200	18,800	463	87,000	492	94	98	185	181	－	－
16	19,300	99,100	19,200	515	98,900	492	105	93	163	152	－	－
17	19,500	95,800	19,400	493	95,600	494	100	88	186	164	－	－
18	19,100	89,600	19,000	471	89,500	494	95	57	161	92	－	90
19	18,900	90,000	18,800	478	89,900	494	97	48	160	77	－	92
20	18,400	91,800	18,300	501	91,700	494	101	34	173	59	－	102
21	18,200	91,100	18,200	500	91,000	494	101	27	192	52	－	112
22	18,100	73,100	18,000	406	73,100	494	82	25	144	36	－	83
23	17,700	88,200	17,600	501	88,200	494	101	20	175	35	－	104
24	17,800	90,400	17,800	508	90,400	494	103	20	152	30	－	89
25	17,600	89,600	17,600	509	89,600	494	103	17	159	27	－	97
26	17,300	86,500	17,300	500	86,500	494	101	13	162	21	－	99
27	15,800	77,300	15,800	489	77,300	479	98	11	163	18	－	99
28	15,400	77,800	15,400	505	77,800	479	102	7	157	11	－	97
29	15,500	77,300	15,500	499	77,300	479	101	3	160	5	－	101
30	15,600	78,900	15,600	506	78,900	479	102	－	－	－	－	－
Ｒ１	15,500	75,300	15,500	486	75,300	482	98	－	－	－	－	－
Ｒ２	15,500	76,900	15,500	496	76,900	482	100	－	－	－	－	－
Ｒ３	14,900	73,300	14,900	492	73,300	482	99	－	－	－	－	－
Ｒ４	14,400	72,300	14,400	502	72,300	482	101	－	－	－	－	－
Ｒ５	13,900	70,100	13,900	504	70,100	482	102	－	－	－	－	－
Ｒ６	14,300	71,400	14,300	499	71,400	482	100	－	－	－	－	－

注）１．農林水産省「水陸稲の収穫量」による。
２．H18以降の陸稲作況指数は、参考値（10a当たり平均収量対比）。
３．作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
４．10a当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米重量。
H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
群馬県は1.80㎜のふるい目幅で算定。（26年産までは、1.70㎜で算定。）
５．群馬県陸稲の平成30年産からは統計資料無し

（２）全国

項目	水陸稲合計		水稲					陸稲				
年次	作付面積	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数	作付面積	10a当たり収量	収穫量	平年収量	作況指数
	千ha	千t	千ha	kg	千t	kg		千ha	kg	千t	kg	
30	3,222	12,385	3,045	396	12,073	335	118	177.2	175	311.6	－	－
35	3,308	12,858	3,124	401	12,539	380	108	184.0	173	319.9	－	－
※40	3,255	12,409	3,123	390	12,181	403	97	132.4	172	228.1	188	91
45	2,923	12,689	2,836	442	12,528	431	103	87.4	184	160.8	195	94
50	2,764	13,165	2,719	481	13,085	450	107	44.9	179	80.4	200	90
※55	2,377	9,751	2,350	412	9,692	471	87	27.7	215	58.6	202	106
60	2,342	11,662	2,318	501	11,613	481	104	23.6	206	48.5	205	100
61	2,303	11,647	2,303	508	11,592	484	105	22.5	244	54.8	206	118
62	2,146	10,627	2,123	498	10,571	487	102	23.0	243	56.0	209	116
63	2,110	9,935	2,087	474	9,888	490	97	22.8	205	46.8	211	97
Ｈ１	2,097	10,347	2,076	496	10,297	492	101	21.6	229	49.5	214	107
2	2,074	10,499	2,055	509	10,463	494	103	18.9	189	35.7	216	88
※3	2,049	9,604	2,033	470	9,565	497	95	16.1	243	39.2	217	112
4	2,106	10,573	2,092	504	10,546	498	101	13.7	196	26.9	219	89
※5	2,139	7,834	2,139	369	7,811	499	74	12.4	183	22.7	221	83
6	2,212	11,981	2,212	544	11,691	499	109	12.3	160	19.7	223	72
7	2,118	10,748	2,106	509	10,724	501	102	11.6	209	24.3	219	95
8	1,977	10,344	1,967	525	10,328	502	105	9.4	166	15.7	220	75
9	1,953	10,025	1,944	515	10,004	504	102	8.6	243	20.9	208	117
10	1,801	8,960	1,793	499	8,939	507	98	8.0	256	20.6	209	122
11	1,788	9,175	1,780	515	9,159	512	101	7.4	214	16.0	209	102
12	1,770	9,490	1,763	537	9,472	518	104	7.0	256	18.1	211	121
13	1,706	9,057	1,700	532	9,048	518	103	6.4	144	9.2	211	68
14	1,688	8,889	1,683	527	8,876	522	101	5.6	225	12.5	211	106
※15	1,665	7,792	1,660	469	7,779	524	90	5.0	250	12.5	214	117
16	1,701	8,730	1,697	514	8,721	525	98	4.7	200	9.4	217	92
17	1,706	9,074	1,702	532	9,062	527	101	4.5	266	11.9	－	－
18	1,688	8,556	1,684	507	8,546	529	96	4.1	246	10.1	－	106
19	1,673	8,714	1,669	522	8,705	529	99	3.6	257	9.4	－	108
20	1,627	8,823	1,624	543	8,815	530	102	3.2	265	8.5	－	111
21	1,624	8,474	1,621	522	8,466	530	98	3.0	276	8.3	－	110
22	1,628	8,483	1,625	522	8,478	530	98	3.0	189	5.5	－	72
23	1,576	8,402	1,574	533	8,397	530	101	2.4	220	5.2	－	88
24	1,581	8,523	1,579	540	8,519	530	102	2.1	172	3.6	－	68
25	1,599	8,607	1,597	539	8,603	530	102	1.7	249	4.3	－	104
26	1,575	8,439	1,573	536	8,435	530	101	1.4	257	3.6	－	107
27	1,506	7,989	1,505	531	7,986	517	100	1.2	233	2.7	－	97
28	1,479	8,044	1,478	544	8,042	517	103	0.9	218	2.1	－	94
29	1,466	7,824	1,465	534	7,822	517	100	0.8	236	1.9	－	106
30	1,470	7,782	1,470	529	7,780	519	98	0.8	232	1.7	－	100
Ｒ１	1,470	7,764	1,469	528	7,762	519	99	0.7	228	1.6	－	97
Ｒ２	1,462	7,765	1,462	531	7,763	512	99	0.6	236	1.5	－	100
Ｒ３	1,403	7,564	1,403	539	7,563	512	101	0.6	230	1.3	－	99
Ｒ４	1,355	7,270	1,355	536	7,269	512	100	0.5	216	1.0	－	93
Ｒ５	1,345	7,166	1,344	533	7,165	512	101	0.4	208	0.8	－	91
Ｒ６	1,359	7,346	1,359	540	7,345	513	101	0.3	256	0.8	－	112

注）年次欄の※印は冷害年を示す。

8　令和６年産市町村別水稲作付面積及び収量・収穫量

区分		水　稲（令和６年産）a			水　稲（令和５年産）b			同左増減　a-b		
		作付面積	10ａ当り収量	収穫量	作付面積	10ａ当り収量	収穫量	作付面積	10ａ当り収量	収穫量
		ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
県計	平27	15,800	489	77,300						
	平28	15,400	505	77,800						
	平29	15,500	499	77,300						
	平30	15,600	506	78,900						
	令元	15,500	486	75,300						
	令２	15,500	496	76,900						
	令３	14,900	492	73,300						
	令４	14,400	502	72,300						
	令５	13,900	504	70,100						
	令６	14,300	499	71,400						
前橋市		1,760	509	8,930	1,730	508	8,810	30	1	120
伊勢崎市		859	504	4,330	806	501	4,040	53	3	290
玉村町		301	506	1,520	307	504	1,550	-6	2	-30
渋川市		385	499	1,920	396	496	1,960	-11	3	-40
榛東村		96	474	455	105	471	495	-9	3	-40
吉岡町		99	479	474	104	475	494	-5	4	-20
高崎市		1,300	483	6,260	1,310	482	6,300	-10	1	-40
安中市		440	484	2,130	455	481	2,190	-15	3	-60
藤岡市		415	482	2,000	408	480	1,960	7	2	40
上野村		－	－	－	－	－	－			
神流町		－	－	－	－	－	－			
富岡市		290	476	1,380	304	475	1,440	-14	1	-60
下仁田町		10	463	46	10	461	46	0	2	0
南牧村		－	－	－	－	－	－			
甘楽町		74	478	354	78	476	371	-4	2	-17
中之条町		240	513	1,230	241	518	1,250	-1	-5	-20
長野原町		16	498	80	16	504	81	0	-6	-1
嬬恋村		41	486	199	41	490	201	0	-4	-2
草津町		－	－	－	－	－	－			
高山村		108	515	556	109	520	567	-1	-5	-11
東吾妻町		238	516	1,230	240	521	1,250	-2	-5	-20
沼田市		491	546	2,680	492	552	2,720	-1	-6	-40
片品村		43	464	200	43	477	205	0	-13	-5
川場村		149	545	812	150	552	828	-1	-7	-16
昭和村		29	515	149	29	520	151	0	-5	-2
みなかみ町		360	525	1,890	362	532	1,930	-2	-7	-40
桐生市		200	490	980	197	495	975	3	-5	5
みどり市		92	487	448	80	496	397	12	-9	51
太田市		1,420	493	6,980	1,240	499	6,160	180	-6	820
館林市		1,560	497	7,730	1,560	510	7,980	0	-13	-250
板倉町		1,410	494	6,980	1,310	509	6,660	100	-15	320
明和町		432	496	2,140	401	508	2,040	31	-12	100
千代田町		532	501	2,670	518	515	2,670	14	-14	0
大泉町		161	495	797	151	506	764	10	-11	33
邑楽町		776	500	3,880	746	513	3,830	30	-13	50

注）１．関東農政局群馬県拠点「水稲の市町村別作付面積及び収穫量」による。
　　２．ラウンドにより、県計値と市町村内訳の計が一致しないことがある。
　　３．作付面積は、青刈り用（飼料用米等含む）の面積を除いた面積である。

９　令和６年産全国水稲作付面積及び収量・収穫量

全国・都道府県	水稲					（参考）				
	作付面積（子実用）	前年対比	10ａ当り収量	収穫量（子実用）	前年対比	主食用作付面積	収穫量（主食用）	10ａ当り平年収量	10ａ当り収量	作況指数
	ha	%	kg	t	%	ha	t	kg	kg	
全国	1,359,000	101	540	7,345,000	103	1,259,000	6,792,000	513	519	101
北海道	95,000	102	592	562,400	104	83,700	495,500	544	562	103
青森	42,400	105	623	264,200	106	37,200	231,800	578	598	103
岩手	45,500	101	569	258,900	104	43,100	245,200	517	546	106
宮城	62,800	103	583	366,100	106	58,400	340,500	516	550	107
秋田	84,200	101	582	490,000	107	72,200	420,200	542	552	102
山形	60,800	100	583	354,500	99	52,400	305,500	570	553	97
福島	62,700	107	569	356,800	109	56,500	321,500	534	546	102
茨城	62,500	105	542	338,800	107	59,900	324,700	506	523	103
栃木	53,000	103	540	286,200	101	49,000	264,600	515	521	101
群馬	**14,300**	**103**	**499**	**71,400**	**102**	**12,800**	**63,900**	**482**	**483**	**100**
埼玉	29,600	104	476	140,900	102	28,400	135,200	479	463	97
千葉	50,600	106	569	287,900	108	48,300	274,800	533	559	105
東京	107	96	414	443	95	107	443	404	405	100
神奈川	2,840	100	481	13,700	96	2,840	13,700	475	463	97
新潟	116,200	100	536	622,800	105	101,400	543,500	524	515	98
富山	35,000	99	540	189,000	102	31,200	168,500	519	515	99
石川	22,300	95	521	116,200	96	21,200	110,500	498	495	99
福井	23,500	101	531	124,800	107	21,900	116,300	483	494	102
山梨	4,680	99	534	25,000	97	4,590	24,500	516	518	100
長野	30,300	99	620	187,900	100	29,000	179,800	599	604	101
岐阜	21,100	102	483	101,900	102	19,600	94,700	475	474	100
静岡	14,500	96	484	70,200	90	14,400	69,700	499	472	95
愛知	26,200	102	497	130,200	105	25,000	124,300	484	480	99
三重	24,900	99	485	120,800	96	24,500	118,800	478	468	98
滋賀	28,400	100	517	146,800	103	27,400	141,700	483	484	100
京都	13,600	99	527	71,700	103	13,000	68,500	492	512	104
大阪	4,290	97	483	20,700	93	4,290	20,700	478	472	99
兵庫	34,000	99	491	166,900	98	32,200	158,100	478	475	99
奈良	8,000	97	526	42,100	99	7,960	41,900	500	517	103
和歌山	5,680	98	506	28,700	98	5,680	28,700	491	500	102
鳥取	11,800	99	502	59,200	103	11,600	58,200	495	491	99
島根	15,900	99	505	80,300	97	15,700	79,300	484	485	100
岡山	28,000	101	510	142,800	100	27,200	138,700	499	496	99
広島	20,600	98	526	108,400	96	20,100	105,700	508	515	101
山口	16,800	98	513	86,200	99	15,800	81,100	481	497	103
徳島	9,890	101	470	46,500	102	9,790	46,000	462	462	100
香川	9,820	96	491	48,200	95	9,770	48,000	479	481	100
愛媛	12,700	99	502	63,800	99	12,700	63,800	482	491	102
高知	10,300	100	453	46,700	100	10,100	45,800	445	444	100
福岡	32,600	99	467	152,200	97	32,200	150,400	452	442	98
佐賀	22,400	101	505	113,100	98	22,000	111,100	487	482	99
長崎	9,420	94	487	45,900	94	9,360	45,600	465	472	102
熊本	29,700	99	516	153,300	99	28,800	148,600	479	487	102
大分	18,000	98	491	88,400	98	17,800	87,400	454	459	101
宮崎	14,500	99	481	69,700	98	12,400	59,600	482	467	97
鹿児島	17,100	99	470	80,400	96	15,600	73,300	470	454	97
沖縄	599	104	328	1,960	106	557	1,830	305	321	105

注）１．農林水産省「水陸稲の収穫量」
２．作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等含む）の面積を除いた面積。
３．主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む）から加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積。
４．（参考）10a当り平年収量及び収量は、農家等が使用している篩目幅で選別したもの。

１０　群馬県における昭和60年以降の水稲地域別作柄概況の推移

年次	作付面積（ｈａ）				10a当たり収量（kg）				収穫量（ｔ）			
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛
51	33,100	13,600	3,160	16,300	374	378	278	390	123,800	51,400	8,800	63,600
55	28,100	11,200	2,600	14,300	368	366	338	375	103,400	41,000	8,790	53,600
60	27,300	11,100	2,540	13,700	468	449	472	482	127,800	49,800	12,000	66,000
元	22,900	9,170	2,150	11,600	452	446	441	458	103,500	40,900	9,480	53,100
2	22,500	9,020	2,150	11,300	474	468	489	477	106,700	42,200	10,500	53,900
3	21,800	8,770	2,120	10,900	455	450	472	456	99,200	39,500	10,000	49,700
4	22,200	8,990	2,150	11,100	482	481	464	485	107,000	43,200	9,990	53,100
5	22,200	8,990	2,160	11,100	396	400	249	422	87,900	36,000	5,380	46,800
6	24,100	10,000	2,260	11,800	512	508	525	513	123,400	50,800	11,900	60,700
7	23,000	9,430	2,200	11,300	503	516	473	500	115,700	48,600	10,400	56,700
8	21,200	8,500	2,130	10,500	512	504	515	519	108,500	42,800	11,000	54,700
9	20,900	8,380	2,120	10,400	500	495	525	499	104,500	41,500	11,100	51,900
10	19,500	7,740	2,000	9,770	447	441	469	447	87,180	34,200	9,380	43,600
11	19,500	7,720	1,980	9,800	493	486	501	498	96,100	37,500	9,920	48,800
12	19,400	7,590	1,970	9,810	472	456	518	476	91,600	34,600	10,200	46,700
13	19,000	7,470	1,940	9,620	476	467	520	475	90,400	34,900	10,100	46,700
14	18,800	8,960	1,920	7,930	488	486	514	484	91,700	43,500	9,840	38,400
15	18,800	8,970	1,920	7,900	463	459	473	466	87,000	41,100	9,070	36,800
16	19,200	9,260	1,930	7,980	515	506	538	521	98,900	46,900	10,400	41,600
17	19,400	9,100	1,980	8,360	493	501	528	479	95,600	45,600	10,500	40,000
18	19,000	8,980	1,970	8,050	471	466	503	470	89,500	41,800	9,920	37,800
19	18,800	9,010	1,970	7,830	478	468	522	479	89,900	42,200	10,300	37,500
20	18,300	8,630	1,940	7,760	501	493	522	504	91,700	42,500	10,100	39,100
21	18,200	8,540	1,950	7,730	500	491	516	503	91,000	42,000	10,100	38,900
22	18,000	8,460	1,950	7,640	406	342	524	446	73,100	28,900	10,200	34,100
23	17,600	8,340	1,930	7,370	501	492	532	504	88,200	40,900	10,300	37,100
24	17,800	8,290	1,930	7,610	508	487	542	523	90,400	40,300	10,400	39,700
25	17,600	8,070	1,920	7,640	509	488	548	521	89,600	39,400	10,500	39,800
26	17,300	7,820	1,900	7,600	500	490	489	514	86,500	38,300	9,310	39,100
27	15,800	6,910	1,880	6,980	489	484	510	490	77,300	33,500	9,590	34,200
28	15,400	6,820	1,850	6,740	505	497	518	508	77,800	33,900	9,600	34,300
29	15,500	6,730	1,820	6,910	499	493	505	503	77,300	33,200	9,210	34,800
30	15,600	6,830	1,790	6,950	506	501	523	507	78,900	34,200	9,340	35,300
元	15,500	6,800	1,770	6,970	486	481	509	485	75,300	32,700	9,010	33,800
2	15,500	6,830	1,770	6,930	496	490	530	493	76,900	33,500	9,380	34,200
3	14,900	6,620	1,750	6,520	492	484	509	495	73,300	32,000	8,910	32,300
4	14,400	6,320	1,730	6,340	502	492	528	506	72,300	31,100	9,130	32,100
5	13,900	6,010	1,720	6,200	504	495	533	508	70,100	29,700	9,170	31,500
6	14,300	6,020	1,720	6,580	499	495	525	496	71,400	29,800	9,030	32,600

注）１．農林水産省「作物調査」による。
　　２．平成21年以降は関東農政局群馬県拠点「水稲の市町村別作付面積と収穫量」による。
　　３．10a当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米重量。
　　H27から平年収量及び作況指数は、実際に農家が使用しているふるい目幅で算出した数値。
　　群馬県は1.80㎜のふるい目幅で算定。（26年産までは、1.70㎜で算定。）

年次	10a当たり平年収量（kg）				作況指数				摘要
	県計	中毛	北毛	東毛	県計	中毛	北毛	東毛	
51	405	404	400	407	92	94	70	96	冷害と穂いもち病による稔実不足
55	411	413	401	413	90	89	84	91	冷害、いもち病、日照不足。
60	415	418	403	414	113	107	117	116	梅雨明け後～9月中旬までの好天気。
元	431	428	420	435	105	104	105	105	8月以降の好気象、気象・病気等の被害少。
2	436	432	430	440	109	108	114	108	登熟期の高温・低湿・乳白粒の発生。
3	441	436	436	447	103	103	108	102	9月上旬の高温と中旬以降の曇雨天による粒の充実阻害、乳白粒の発生。
4	446	440	444	451	108	109	105	108	8月中旬以降の高温多照の好天候。
5	452	445	449	456	88	90	55	93	低温・寡照・多雨の影響で生育遅延・出穂遅れ、稔実歩合や粒の肥大・充実も不良、いもち病の発生。
6	452	446	449	458	113	114	117	112	7･8月の平均気温は観測史上1位。
7	456	452	454	463	110	114	104	108	
8	460	456	457	467	111	111	113	111	登熟期の日較差が大きく、稔実・肥大が良好。
9	468	465	468	470	107	106	112	106	
10	476	474	477	478	94	93	98	94	8月下旬以降の天候不順と、台風5号等による倒伏から品質不良。
11	484	481	489	486	102	101	102	102	
12	491	482	503	495	96	95	103	96	9月2･3日の高温と乾燥風により乳白粒の多発。
13	491	482	503	495	97	97	103	96	8月天候不順、台風11・15号による褐変籾の発生や台風通過後の高温・低湿による乳白米等の発生。
14	492	484	507	498	99	100	101	97	
15	492	484	507	498	94	95	93	94	低温・寡照の影響により出穂･成熟遅れ、粒の肥大･充実やや不良、いもち病の発生、品質は概ね良好。
16	492	485	511	496	105	104	105	105	6月下旬～8月中旬高温･多照により分げつ旺盛、有効穂数･全もみ数やや多い。登熟やや良。
17	494	487	520	496	100	103	102	97	高温や高夜温の影響により乳白粒・心白粒等が発生、東毛でイナズマヨコバイ大発生。
18	494	487	520	496	95	96	97	95	梅雨明けが10日程度遅れ、分げつが抑制された。登熟期の天候には恵まれたが作柄はやや不良。
19	494	487	520	496	97	96	100	97	くず米が多くやや減収した。高温の影響かゴロピカリの１等比率が低下した。
20	494	487	520	496	101	101	100	102	登熟良好。
21	494	487	520	496	101	101	99	101	
22	494	487	520	496	82	70	101	90	高温の影響により、白未熟粒等が発生し、規格外米が大量発生した。
23	494	487	520	496	101	101	102	102	台風による倒伏や9月下旬～10月上旬の低温により粒の肥大・充実が緩慢だったが、もみ数が多かった。
24	494	487	520	496	103	100	104	105	早期栽培は、全般に白未熟粒がみられた。普通期栽培では早期栽培より程度は軽かった。
25	494	487	520	496	103	100	105	105	
26	494	487	520	496	101	101	94	104	早植栽培地帯で、出穂後の低温・日照不足により死米、青未熟粒が発生した。
27	479	470	509	481	98	98	98	97	登熟期間の低温･日照不足により、死米や青未熟粒が発生し、収量・品質が低下した。
28	479	469	510	480	102	102	101	102	8月～9月の日照不足により白未熟粒の発生が見られたが、品質は平年より優れる。
29	499	469	511	480	101	101	97	101	7月～8月は日照不足。10月は長雨・台風により大幅な刈り遅れや倒伏が発生したが、品質は優れる。
30	479	470	510	480	102	103	101	102	7月の高温の影響で白未熟粒、胴割粒が多く、1等米比率が低い。
元	482	473	510	484	98	98	98	97	7月の低温、日照不足で生育が遅れたが、梅雨明け以降回復した。品質は一部で白未熟粒の発生が見られた。
2	482	473	510	484	100	100	102	99	7月の日照不足の影響で穂数が少なかった。8月の高温の影響により早期・早植栽培の一部で白未熟粒等が多く発生した。
3	482	472	511	484	99	99	98	99	8月中旬・9月上旬の低温・降雨の影響により、全域で穂いもちが多く発生した。
4	482	472	510	484	101	100	101	101	高温の影響により白未熟粒が平年より多く、全域で紋枯病、内穎褐変病が多かった。
5	482	472	510	484	102	102	103	103	高温の影響により白未熟粒（乳・心白粒、背白粒、基白粒）、胴割粒の発生が多く、１等米比率が低下した。
6	482	472	510	484	100	101	101	99	高温の影響により白未熟粒が平年より多く、全域で紋枯病が多く見られた。一部でイネカメムシによる被害が見られた。

４．作柄表示地帯区分

中毛：前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、玉村町

北毛：沼田市、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

東毛：桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

１１　田植の進捗状況等の推移

（１）年度別状況

項目／年度	水田面積（本地面積）	水稲作付面積	左のうち 直播面積	左のうち 移植面積（A）	時期別 5月15日 面積（B）	5月15日 B／A	6月1日 面積（B）	6月1日 B／A	6月15日 面積（B）	6月15日 B／A
	ha	ha	ha	ha	ha	%	ha	%	ha	%
昭和45	39,700	36,000	438	35,496	－	－	3,448	9.7	－	－
50	36,500	34,300	2,748	30,399	－	－	3,033	10.0	－	－
55	35,800	28,100	368	27,824	306	1.1	2,368	8.5	－	－
60	34,000	27,300	141	27,459	197	0.7	2,968	10.8	7,249	26.4
平成元年	32,800	22,900	148	22,452	176	0.8	2,970	13.2	7,667	34.1
2	32,500	22,500	165	22,035	262	1.2	3,358	15.2	6,824	31.0
3	32,000	21,800	154	21,646	265	1.2	2,951	13.6	8,090	37.4
4	31,800	22,200	128	22,572	229	1.0	3,179	14.1	9,333	41.3
5	31,300	22,200	100	22,100	309	1.4	2,149	9.7	9,221	41.7
6	31,000	24,100	100	24,100	539	2.2	3,525	14.6	11,127	46.2
7	30,800	23,000	133	23,000	815	3.5	3,562	15.5	10,694	46.5
8	30,400	21,200	128	21,072	927	4.4	3,372	16.0	8,914	42.3
9	30,100	20,900	89	20,811	868	4.2	4,235	20.3	10,665	51.2
10	29,900	19,500	83	19,417	874	4.5	4,235	21.8	10,194	52.5
11	29,700	19,500	83	19,431	791	4.1	4,349	22.4	9,684	49.8
12	29,500	19,400	75	19,308	850	4.4	4,463	23.1	10,993	56.9
13	29,300	19,000	73	18,925	806	4.3	4,613	24.4	10,560	55.8
14	28,900	18,800	71	18,729	900	4.8	4,034	21.5	9,479	50.4
15	28,400	18,800	66	18,734	921	4.9	4,474	23.9	9,701	51.6
16	27,900	19,200	60	19,140	1,138	5.9	5,145	26.8	10,522	54.8
17	27,500	19,400	54	19,346	1,125	5.8	4,889	25.9	9,933	50.1
18	27,300	19,000	48	18,952	1,042	5.5	4,909	25.9	9,495	50.1
19	27,100	18,800	47	18,753	842	4.5	4,733	25.2	9,748	52.0
20	26,800	18,300	47	18,253	922	5.1	4,723	25.9	9,770	53.5
21	26,600	18,200	44	18,156	871	4.8	4,829	26.6	9,718	53.5
22	26,300	18,000	41	17,959	844	4.7	4,472	24.9	9,482	52.8
23	26,000	17,600	44	17,556	876	5.0	4,695	26.7	9,354	53.3
24	25,800	17,800	43	17,757	1,015	5.7	4,640	26.1	9,321	52.5
25	25,700	17,600	38	17,562	1,583	9.0	4,288	24.4	9,206	52.4
26	25,500	17,300	50	17,250	1,518	8.8	3,761	21.8	9,281	53.8
27	25,300	15,800	34	15,766	1,283	8.1	3,681	23.4	8,985	57.0
28	25,100	15,400	40	15,360	1,186	7.7	3,715	24.2	8,720	56.8
29	24,700	15,500	38	15,462	1,128	7.3	3,768	24.4	8,624	55.8
30	24,400	15,600	33	15,567	1,117	7.2	3,883	24.9	8,773	56.4
令和元年	24,100	15,500	33	15,467	1,024	6.6	3,759	24.3	8,640	55.9
2	23,700	15,500	36	15,464	1,036	6.7	3,773	24.4	8,768	56.7
3	23,100	14,900	42	14,858	1,025	6.9	3,789	25.5	8,573	57.7
4	22,700	14,400	45	14,400	984	6.8	3,612	25.1	7,976	55.4
5	22,200	13,900	71	13,524	895	6.6	3,394	25.2	7,493	55.7
6	22,000	14,300	122	13,463	981	7.3	3,363	25.0	7,438	55.2

（２）地域別の状況（令和６年産）

農業事務所別	農業指導センター別	令和６年水稲作付面積推計	左のうち 直播面積	左のうち 移植面積（A）	時期別進捗状況 5月15日 面積（B）	5月15日 B／A	6月1日 面積（B）	6月1日 B／A	6月15日 面積（B）	6月15日 B／A
		ha	ha	ha	ha	%	ha	%	ha	%
中部	中部	2,131	28	2,096	8	0.4%	230	10.8%	720	34.4%
	渋川地区	595		595	2	0.3%	200	33.6%	480	80.7%
	伊勢崎地区	1,276	22	1,254	0	0.0%	11	1.1%	35	3.5%
	計	4,002	50	3,945	10	0.2%	441	11.1%	1,235	31.4%
西部	西部	1,821		1,821	4	0.2%	210	11.5%	930	51.1%
	藤岡地区	641		641	0	0.0%	15	2.3%	225	35.1%
	富岡地区	385	3	382	6	1.6%	22	6.5%	267	70.1%
	計	2,847	3	2,844	10	0.4%	247	8.8%	1,422	50.1%
吾妻		594	1	593	60	10.1%	570	96.1%	593	100.0%
利根沼田		853	10	843	280	34.0%	800	95.0%	843	100.0%
東部	東部	1,487	38	1,449	6	0.4%	95	6.4%	875	60.5%
	桐生地区	371		371	10	2.7%	140	37.7%	340	91.6%
	館林地区	3,438	20	3,418	605	17.8%	1,070	31.5%	2,130	62.5%
	計	5,296	58	5,238	621	11.9%	1,305	24.9%	3,345	64.0%
合計		13,592	122	13,463	981	7.3%	3,363	25.0%	7,438	55.3%

注）１．米麦畜産課資料による。地域別作付面積推計は、地域別作付予定面積及び農林水産統計「令和６年産水稲の作付面積及び収穫量」より算定。数値はラウンドしており、合計と一致しない。

２．平成5年以前の6月1日及び7月1日現在については、それぞれ5月31日、6月30日現在の調査数値である。

３．平成22年以前の7月15日現在については、7月10日現在での調査数値である。

４．平成25年度の5月15日現在については、5月20日現在での調査数値である。

進捗状況								植付完了	項目／年度
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A		
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%		
13,098	36.9	26,433	74.5	34,373	96.8	35,484	99.9	7月14日	45
20,820	68.5	28,758	94.6	30,236	99.5	30,399	100.0	7月6日	50
20,105	72.3	25,998	93.4	27,443	98.6	27,824	100.0	7月10日	55
21,046	76.6	26,807	97.6	27,408	99.8	27,459	100.0	7月10日	60
14,334	63.8	21,758	96.9	22,431	99.9	22,452	100.0	7月10日	平成元年
17,946	81.4	21,582	97.9	22,026	99.9	22,035	100.0	7月10日	2
20,290	93.7	21,591	99.7	21,646	100.0	21,646	100.0	7月4日	3
17,722	78.5	22,184	98.3	22,548	99.9	22,572	100.0	7月10日	4
17,315	78.3	21,578	97.6	21,992	99.5	22,100	100.0	7月10日	5
21,745	90.2	23,883	99.1	24,100	100.0	24,100	100.0	7月5日	6
18,817	81.8	22,397	97.4	22,976	99.9	23,000	100.0	7月10日	7
14,877	70.6	20,229	96.0	21,051	99.9	21,072	100.0	7月10日	8
19,220	92.4	20,705	99.5	20,811	100.0	20,811	100.0	7月5日	9
18,563	95.6	19,320	99.5	19,398	99.9	19,417	100.0	7月10日	10
18,600	95.7	19,362	99.6	19,431	100.0	19,431	100.0	7月5日	11
17,935	92.9	19,223	99.6	19,308	100.0	19,308	100.0	7月5日	12
17,768	93.9	18,871	99.7	18,925	100.0	18,925	100.0	7月5日	13
17,579	93.5	18,612	99.0	18,800	100.0	18,800	100.0	7月5日	14
16,506	87.8	18,574	98.8	18,706	99.5	18,800	100.0	7月10日	15
17,939	93.4	19,063	99.3	19,190	99.9	19,200	100.0	7月10日	16
18,126	76.5	18,643	96.1	19,361	99.8	19,400	100.0	7月10日	17
14,498	76.5	18,099	95.5	18,914	99.8	18,952	100.0	7月10日	18
17,314	92.3	18,658	99.5	18,714	99.8	18,753	100.0	7月9日	19
16,344	89.5	18,161	99.5	18,253	100.0	18,253	100.0	7月5日	20
17,194	94.7	18,120	99.8	18,156	100.0	18,156	100.0	7月5日	21
15,552	86.6	17,779	99.0	17,941	99.9	17,959	100.0	7月8日	22
13,629	77.6	17,004	96.9	17,537	99.9	17,556	100.0	7月13日	23
13,633	76.8	16,961	95.6	17,742	99.9	17,757	100.0	7月12日	24
14,759	84.0	17,321	98.6	17,541	99.9	17,558	100.0	7月12日	25
14,813	85.9	17,026	98.7	17,233	99.9	17,250	100.0	7月8日	26
14,305	90.7	15,651	99.3	15,757	99.9	15,766	100.0	7月13日	27
13,922	90.6	15,125	98.5	15,265	99.4	15,360	100.0	7月13日	28
13,705	88.6	15,192	98.3	15,407	99.6	15,462	100.0	7月18日	29
13,710	88.1	15,371	98.7	15,484	99.5	15,567	100.0	7月14日	30
13,351	86.3	15,044	97.3	15,362	99.3	15,467	100.0	7月12日	令和元年
13,485	87.2	15,124	97.8	15,371	99.4	15,461	100.0	7月15日	2
		14,353	96.6			14,858	100.0	7月15日	3
		13,754	95.5			14,398	100.0	7月15日	4
		13,109	97.4			13,929	100.0	7月23日	5
		13,098	97.3			13,463	100.0	7月12日	6

時期別進捗状況								植付完了	農業指導センター別
6月25日		7月1日		7月5日		7月15日			
面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A	面積（B）	B／A		
ha	%	ha	%	ha	%	ha	%		
		1,911	91.0%			2,096	100.0%	7月12日	中部
		580	97.5%			595	100.0%	7月5日	渋川地区
		1,200	95.8%			1,254	100.0%	7月10日	伊勢崎地区
		3,691	93.5%			3,945	100.0%		計
		1,784	98.0%			1,821	100.0%	7月10日	西部
		625	97.5%			641	100.0%	7月12日	藤岡地区
		363	95.1%			382	100.0%	7月9日	富岡地区
		2,772	97.5%			2,844	100.0%		計
		593	100.0%			593	100.0%	6月15日	吾妻
		843	100.0%			843	100.0%	6月12日	利根沼田
		1,440	99.4%			1,449	100.0%	7月10日	東部
		371	100.0%			371	100.0%	7月1日	桐生地区
		3,388	99.1%			3,418	100.0%	7月10日	館林地区
		5,199	99.3%			5,238	100.0%		計
		13,098	97.3%			13,463	100.0%		合計

１２　群馬県新規需要米等の取組計画認定状況

区分		新規需要米						
		飼料用	米粉用	輸出用	バイオエタノール用	酒造用	稲発酵粗飼料用(WCS)	青刈り稲及びわら専用稲
24	数量(t)	2,162	897	2	－	－		
	面積(ha)	440	183	0	－	－	407	0
25	数量(t)	2,132	857	2	－	－		
	面積(ha)	428	175	0	－	－	421	0
26	数量(t)	3,229	939	1	－	－		
	面積(ha)	654	191	0	－	－	462	3
27	数量(t)	8,659	1,248	2	－	－		
	面積(ha)	1,753	254	0	－	－	556	3
28	数量(t)	9,096	1,202	1	－	－		
	面積(ha)	1,844	244	0	－	－	590	3
29	数量(t)	7,580	1,120	1	－	－		
	面積(ha)	1,541	228	0	－	－	556	2
30	数量(t)	6,112	1,602	14				
	面積(ha)	1,243	324	3			519	－
元	数量(t)	4,936	1,661	68				
	面積(ha)	1,003	337	14			528	－
2	数量(t)	4,752	1,610	67				
	面積(ha)	959	325	14			514	－
3	数量(t)	6,543	1,828	21				
	面積(ha)	1,321	369	4			539	－
4	数量(t)	7,805	1,842	1				
	面積(ha)	1,575	372	0			584	－
5	数量(t)	8,229	824	1				
	面積(ha)	1,661	168	0			621	－
6	数量(t)	5,050	1,043	11				
	面積(ha)	1,018	213	2			645	－

注）農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」「加工用米の取組計画認定状況」による。

種子	その他その用途が主食用米の需給に影響を及ぼさないもの	合計(A)	加工用米 うるち米	加工用米 もち米	合計(B)	新規需要米等 総計(A+B)
6	−	3,067	4,524	−	4,524	7,591
1	**−**	**1,031**	**905**	**−**	**905**	**1,936**
8	−	2,998	4,849	−	4,849	7,847
2	**−**	**1,026**	**970**	**−**	**970**	**1,996**
10	−	4,180	6,153	−	6,153	10,333
2	**−**	**1,311**	**1,216**	**−**	**1,216**	**2,527**
−	−	9,909	5,709	24	5,733	15,642
−	**−**	**2,566**	**1,142**	**5**	**1,147**	**3,713**
−	−	10,300	5,680	−	5,680	15,980
−	**−**	**2,681**	**1,137**	**−**	**1,137**	**3,818**
−	−	8,701	6,946	−	6,946	15,647
−	**−**	**2,327**	**1,390**	**−**	**1,390**	**3,717**
−	−	7,728	7,395	−	7,395	15,123
−	**−**	**2,089**	**1,480**	**−**	**1,480**	**3,569**
−	−	6,665	7,367	−	7,367	14,032
−	**−**	**1,882**	**1,473**	**−**	**1,473**	**3,355**
−	−	6,429	6,598	−	6,598	13,027
−	**−**	**1,812**	**1,309**	**−**	**1,309**	**3,121**
−	−	8,392	6,801	−	6,801	15,193
−	**−**	**2,233**	**1,350**	**−**	**1,350**	**3,583**
−	−	9,648	7,249	−	7,249	16,897
−	**−**	**2,531**	**1,439**	**−**	**1,439**	**3,970**
−	−	9,054	6,993	−	6,993	16,047
−	**−**	**2,450**	**1,389**	**−**	**1,389**	**3,839**
−	−	6,104	6,816	−	6,816	12,920
−	**−**	**1,878**	**1,355**	**−**	**1,355**	**3,233**

１３　水稲うるち品種別作付面積の推移

（１）群馬県

年次	27			28			29			30			元		
順位	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %
1	あさひの夢	6,050	38.3	あさひの夢	5,910	38.4	あさひの夢	6,220	40.1	あさひの夢	6,040	38.7	あさひの夢	6,220	40.1
2	コシヒカリ	3,840	24.3	コシヒカリ	3,750	24.3	コシヒカリ	3,660	23.6	コシヒカリ	3,600	23.1	コシヒカリ	3,610	23.3
3	ひとめぼれ	2,070	13.1	ひとめぼれ	2,020	13.1	ひとめぼれ	1,990	12.9	ひとめぼれ	1,950	12.5	ひとめぼれ	2,010	13.0
4	ゆめまつり	1,410	8.9	ゆめまつり	1,580	10.2	ゆめまつり	1,770	11.4	ゆめまつり	1,670	10.6	ゆめまつり	1,530	9.9
5	ゴロピカリ	880	5.6	ゴロピカリ	670	4.4	ゴロピカリ	460	3.0	ゴロピカリ	380	2.5	ゴロピカリ	280	1.8
6	キヌヒカリ	260	1.7	キヌヒカリ	260	1.7	キヌヒカリ	270	1.7	キヌヒカリ	260	1.7	キヌヒカリ	170	1.1
7	朝の光	160	1.021	朝の光	150	1.0	朝の光	140	0.9	朝の光	140	0.9	朝の光	20	0.1
8															
9															
	その他	1,130	7.1	その他	1,060	6.8	その他	990	6.4	その他	1,560	10.0	その他	1,570	10.1
計		15,800	100		15,400	100		15,500	100		15,600	100		15,500	100

年次	2			3			4			5			6		
順位	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %	品種名	作付面積 ｈａ	比率 %
1	あさひの夢	6,500	41.9	あさひの夢	6,710	45.0	あさひの夢	6,340	44.1	あさひの夢	5,740	41.3	あさひの夢	6,150	43.0
2	コシヒカリ	3,660	23.6	コシヒカリ	3,460	23.2	コシヒカリ	3,390	23.6	コシヒカリ	3,260	23.4	コシヒカリ	3,240	22.7
3	ひとめぼれ	1,880	12.1	ひとめぼれ	1,860	12.5	ひとめぼれ	1,820	12.6	ひとめぼれ	1,730	12.4	ひとめぼれ	1,740	12.2
4	ゆめまつり	1,610	10.4	ゆめまつり	1,515	10.2	ゆめまつり	1,410	9.8	ゆめまつり	1,230	8.9	ゆめまつり	920	6.4
5	キヌヒカリ	250	1.6	キヌヒカリ	220	1.5	にじのきらめき	220	1.5	にじのきらめき	550	4.0	にじのきらめき	790	5.5
6	ゴロピカリ	200	1.3	ゴロピカリ	150	1.0	キヌヒカリ	200	1.4	キヌヒカリ	180	1.3	キヌヒカリ	180	1.3
7	朝の光	60	0.4	にじのきらめき	95	0.6	ゴロピカリ	130	0.9	ゴロピカリ	110	0.8	ゴロピカリ	100	0.7
8															
9															
	その他	1,340	8.6	その他	890	6.0	その他	880	6.1	その他	1,090	7.9	その他	1,170	8.2
計		15,500	100		14,900	100		14,400	100		13,900	100		14,300	100

注）１．作付面積は、農林水産統計「水稲の作付面積（子実用）」の数値を基に作付比率から算出し、ラウンドした数値。（子実用：青刈(飼料用米含む)面積除く）
（※飼料用米への用途変更等で差付け面積比率の年次間変動が大きい場合がある。）　下線の実践は奨励品種、点線は認定品種。その他には糯品種含む。
２．平成25～30、令和２～６年産の作付比率は水稲共済・水田一体化データに基づく推計値。令和元年産は技術支援課調べ。

（２）全国（品種別作付比率）

年次	元		2		3		4		5	
順位	品種名	比率 %	品種名	比率 %	品種名	比率 %	品種名	比率 %	品種名	比率 %
1	コシヒカリ	33.9	コシヒカリ	33.7	コシヒカリ	33.5	コシヒカリ	33.4	コシヒカリ	33.1
2	ひとめぼれ	9.4	ひとめぼれ	9.1	ひとめぼれ	8.8	ひとめぼれ	8.5	ひとめぼれ	8.3
3	ヒノヒカリ	8.4	ヒノヒカリ	8.3	ヒノヒカリ	8.3	ヒノヒカリ	8.1	ヒノヒカリ	7.4
4	あきたこまち	6.7	あきたこまち	6.8	あきたこまち	6.9	あきたこまち	6.7	あきたこまち	6.7
5	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.4	ななつぼし	3.0	ななつぼし	3.2	ななつぼし	3.3
6	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.8	はえぬき	2.9	はえぬき	2.8
7	まっしぐら	2.2	まっしぐら	2.5	まっしぐら	2.5	まっしぐら	2.4	まっしぐら	2.5
8	キヌヒカリ	2.1	キヌヒカリ	1.9	キヌヒカリ	1.9	キヌヒカリ	1.9	ゆめぴりか	1.9
9	あさひの夢	1.7	きぬむすめ	1.6	きぬむすめ	1.7	ゆめぴりか	1.8	きぬむすめ	1.8
10	ゆめぴりか	1.6	ゆめぴりか	1.6	こしいぶき	1.5	きぬむすめ	1.8	キヌヒカリ	1.8
11	きぬむすめ	1.5	あさひの夢	1.5	ゆめぴりか	1.5	こしいぶき	1.5	こしいぶき	1.4
12	こしいぶき	1.4	こしいぶき	1.4	つや姫	1.3	つや姫	1.4	つや姫	1.4
13	つや姫	1.2	つや姫	1.2	あさひの夢	1.2	あさひの夢	1.3	あさひの夢	1.2
14	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.0	夢つくし	1.1	夢つくし	1.1
15	ふさこがね	0.9	ふさこがね	0.9	ふさこがね	0.9	天のつぶ	1.0	天のつぶ	1.0
16	つがるロマン	0.8	あいちのかおり	0.9	天のつぶ	0.9	ふさこがね	0.9	ふさこがね	1.0
17	あいちのかおり	0.8	天のつぶ	0.8	あいちのかおり	0.8	あいちのかおり	0.8	あいちのかおり	0.8
18	彩のかがやき	0.7	あきさかり	0.7	あきさかり	0.8	あきさかり	0.8	あきさかり	0.7
19	天のつぶ	0.7	彩のかがやき	0.7	きらら３９７	0.7	彩のかがやき	0.7	とちぎの星	0.7
20	きらら３９７	0.7	きらら３９７	0.7	彩のかがやき	0.7	ハツシモ	0.6	彩のかがやき	0.7
計		81.9		81.5		80.7		80.8		79.6

注）１．米穀機構「水稲の品種別作付動向について」
２．令和６年産は、令和７年２月末現在で調査されていない。

１４　稲作農家数等の推移（農林業センサス）

区分 年	総農家数 戸	経営耕地面積 ha	田のある農家数 戸	水田面積 ha	稲収穫農家数 戸	稲収穫面積 ha	水稲		
							収穫農家数 戸	収穫面積 ha	販売農家数 戸
1950 (S25)	130,066	106,165		33,157			94,851	31,575	
1955 (S30)	129,180	108,233		33,027	－	－	－	－	－
1960 (S35)	130,015	112,506	101,803	36,661		49,431	101,723	35,987	91,397
1970 (S45)	118,764	101,775	96,724	38,174		42,281	95,608	37,348	70,382
1975 (S50)	109,456	91,201	88,826	34,105		33,381	84,935	31,625	56,552
1980 (S55)	101,953	85,006	82,712	32,991		28,211	77,269	27,476	52,751
1985 (S60)	93,364	78,230	74,855	30,500		25,539	68,806	25,018	45,011
1990 (H 2)	82,601	71,999	66,682	29,126	50,948	20,609	50,444	20,056	36,660
1995 (H 7)	72,979	65,115	58,950	26,465	44,738	21,266	41,514	20,907	33,114
2000 (H12)	65,565	58,346	40,388	24,554	37,523	17,317	37,523	17,317	27,532
2005 (H17)	62,527	52,263	32,048	20,518	29,514	15,759	29,514	15,759	21,768
2010 (H22)	57,252	49,080	26,231	20,560	23,825	15,564	23,825	15,564	17,613
2015 (H27)	50,084	44,001	20,145	19,501	18,394	16,198	18,394	16,198	13,483
2020 (R２)	42,275	40,374	13,788	17,631	－	－	－	－	9,795

注)S30、S35の面積は次により換算した。１反＝0.0991735ha。
注）水稲販売農家数は飼料用除く

１５　群馬県における米穀の年次別検査成績

（１）水稲うるち玄米　　（単位：トン）

年産 構成比	種別 検査数	水稲うるち玄米 等級内訳 1等	2等	3等	等外	規格外
60	74,371 (100.0)	50,040 (67.3)	18,201 (24.5)	2,570 (3.5)	3,545 (4.8)	15 (0.0)
5	30,152 (100.0)	26,771 (88.8)	1,095 (3.6)	139 (0.5)	2,131 (7.1)	15 (0.1)
10	23,648 (100.0)	2,492 (10.5)	6,771 (28.6)	10,868 (46.0)	546 (2.3)	2,971 (12.6)
11	22,514 (100.0)	15,077 (67.0)	6,832 (30.3)	599 (2.7)		6 (0.0)
12	20,065 (100.0)	3,879 (19.3)	12,040 (60.0)	3,940 (19.6)		207 (1.0)
13	18,692 (100.0)	10,667 (57.1)	5,281 (28.3)	2,607 (13.9)		137 (0.7)
14	23,242 (100.0)	8,039 (34.6)	12,317 (53.0)	2,671 (11.5)		215 (0.9)
15	25,137 (100.0)	20,005 (79.6)	4,939 (19.6)	184 (0.7)		10 (0.0)
16	32,584 (100.0)	26,602 (81.6)	5,642 (17.3)	306 (0.9)		35 (0.1)
17	28,910 (100.0)	7,304 (25.3)	19,155 (66.3)	2,215 (7.7)		232 (0.8)
18	26,179 (100.0)	18,730 (71.5)	7,145 (27.3)	272 (1.0)		32 (0.1)
19	27,153 (100.0)	15,858 (58.4)	10,710 (39.4)	564 (2.1)		21 (0.1)
20	29,715 (100.0)	20,599 (69.3)	8,701 (29.3)	376 (1.3)		39 (0.1)
21	30,605 (100.0)	22,867 (74.7)	7,517 (24.6)	203 (0.7)		18 (0.1)
22	31,481 (100.0)	904 (2.9)	5,780 (18.4)	13,126 (41.7)		11,670 (37.1)
23	26,208 (100.0)	12,301 (46.9)	10,495 (40.1)	3,310 (12.6)		102 (0.4)
24	29,002 (100.0)	15,890 (54.8)	10,005 (34.5)	2,999 (10.3)		108 (0.4)
25	38,042 (100.0)	15,633 (41.1)	17,864 (47.0)	4,383 (11.5)		132.0 (0.3)
26	40,253 (100.0)	35,541 (88.3)	4,068 (10.1)	609 (1.5)		35 (0.1)
27	30,950 (100.0)	24,884 (80.4)	5,564 (18.0)	468 (1.5)		34 (0.1)
28	32,467 (100.0)	28,750 (88.6)	3,546 (10.9)	143 (0.4)		28 (0.1)
29	38,432 (100.0)	35,420 (92.2)	2,747 (7.1)	258 (0.7)		8 (0.0)
30	37,131 (100.0)	33,060 (89.0)	3,581 (9.6)	467 (1.3)		23 (0.1)
元	35,675 (100.0)	32,165 (90.2)	3,239 (9.1)	264 (0.7)		7 (0.0)
2	35,708 (100.0)	29,701 (83.2)	5,575 (15.6)	430 (1.2)		2 (0.0)
3	34,925 (100.0)	32,134 (92.0)	2,650 (7.6)	133 (0.4)		8 (0.0)
4	35,720 (100.0)	32,470 (90.9)	2,940 (8.2)	301 (0.8)		10 (0.0)
5	30,948 (100.0)	17,659 (57.1)	11,340 (36.6)	1,894 (6.1)		55 (0.2)
6	24,313 (100.0)	16,916 (69.6)	5,757 (23.7)	1,590 (6.5)		50 (0.2)

注）１．農林水産省資料による。
　　２．令和６年産の数値は、令和６年１２月末時点のものである。
　　３．（　）は等級割合。

（２）水稲もち玄米　　（単位：トン）

年産構成比	種別	水稲もち玄米				
	検査数	等級内訳				
		１等	２等	３等	等外	規格外
60	297 (100.0)	56 (18.7)	174 (58.5)	61 (20.6)	2 (0.6)	5 (1.5)
5	122 (100.0)	50 (41.4)	55 (44.8)	11 (9.3)	5 (4.3)	0 (0.2)
10	99 (100.0)	5 (4.7)	62 (62.4)	29 (29.0)		4 (3.9)
11	82 (100.0)	21 (25.7)	48 (58.2)	13 (15.6)		0 (0.6)
12	77 (100.0)	6 (8.0)	38 (49.9)	32 (41.4)		1 (0.7)
13	72 (100.0)	16 (22.5)	39 (54.6)	16 (22.8)		0 (0.2)
14	48 (100.0)	8 (17.5)	29 (61.7)	10 (20.2)		0 (0.6)
15	36 (100.0)	5 (14.9)	20 (54.4)	10 (26.6)		1 (4.1)
16	78 (100.0)	20 (25.7)	43 (54.3)	14 (17.4)		2 (2.6)
17	81 (100.0)	9 (10.6)	57 (70.2)	13 (15.6)		3 (3.6)
18	93 (100.0)	17 (18.5)	50 (53.2)	25 (26.7)		1 (1.5)
19	45 (100.0)	4 (9.8)	29 (64.6)	11 (23.6)		1 (2.0)
20	67 (100.0)	11 (16.4)	38 (57.1)	18 (26.3)		0 (0.2)
21	79 (100.0)	41 (51.2)	31 (38.9)	7 (8.9)		1 (0.9)
22	96 (100.0)	5 (5.0)	55 (57.4)	30 (31.3)		6 (6.3)
23	166 (100.0)	14 (8.6)	130 (78.4)	21 (12.7)		0 (0.3)
24	169 (100.0)	28 (16.7)	98 (57.8)	40 (23.9)		3 (1.7)
25	106 (100.0)	19 (17.6)	55 (52.3)	29 (27.4)		3 (2.7)
26	75 (100.0)	22 (28.9)	38 (50.7)	15 (19.6)		1 (0.8)
27	120 (100.0)	27 (22.8)	67 (55.9)	25 (20.9)		1 (0.4)
28	118 (100.0)	26 (22.4)	66 (55.9)	21 (18.1)		4 (3.5)
29	103 (100.0)	35 (33.7)	51 (49.5)	16 (15.3)		2 (1.5)
30	77 (100.0)	22 (29.0)	40 (52.2)	14 (17.8)		1 (1.0)
元	67 (100.0)	18 (26.6)	29 (43.4)	19 (28.6)		1 (1.5)
2	67 (100.0)	10 (14.9)	24 (35.8)	32 (47.8)		1 (1.5)
3	54 (100.0)	16 (30.4)	22 (40.7)	15 (28.0)		0 (0.9)
4	55 (100.0)	16 (28.8)	18 (32.6)	20 (37.4)		1 (1.2)
5	63 (100.0)	21 (33.7)	18 (28.8)	23 (36.9)		0 (0.7)
6	40 (100.0)	13 (32.1)	17 (43.8)	9 (22.3)		1 (1.9)

注）１．農林水産省資料による。
　　２．令和６年産の数値は、令和６年12月末現在のものである。
　　３．（　）は等級割合。

（３）醸造用玄米　　（単位：トン）

年産構成比	種別	醸造用玄米					
	検査量 トン	等級内訳					
		特上	特等	1等	2等	3等	規格外
5	255 (100.0)			196 (76.9)	39 (15.3)	20 (7.8)	
10	210 (100.0)			110 (52.2)	72 (34.3)	28 (13.4)	
11	159 (100.0)			86 (54.4)	63 (39.6)	9 (5.9)	
12	138 (100.0)		3 (2.3)	59 (42.6)	48 (34.9)	28 (20.3)	
13	120 (100.0)	2 (1.2)	15 (12.6)	36 (30.2)	61 (51.0)	6 (5.0)	
14	122 (100.0)		3 (2.4)	52 (42.5)	56 (46.1)	11 (8.9)	
15	111 (100.0)			38 (34.2)	53 (47.3)	21 (18.5)	
16	123 (100.0)			73 (59.3)	46 (37.4)	4 (3.3)	
17	159 (100.0)			6 (3.7)	134 (84.6)	19 (11.7)	
18	119 (100.0)			84 (70.6)	26 (21.7)	9 (7.7)	
19	95 (100.0)			57 (59.7)	30 (31.9)	8 (8.4)	
20	111 (100.0)			17 (15.7)	90 (81.2)	3 (3.1)	
21	115 (100.0)			5 (4.6)	93 (81.0)	17 (14.4)	
22	98 (100.0)		6 (5.9)	3 (3.5)	10 (10.7)	78 (79.9)	
23	105 (100.0)			90 (85.8)	8 (7.4)	7 (6.4)	0 (0.4)
24	105 (100.0)		6 (5.9)	8 (7.4)	91 (86.5)	0 (0.1)	
25	124.0 (100.0)			85 (68.1)	26 (21.1)	13 (10.7)	0 (0.0)
26	139 (100.0)		2 (1.1)	6 (4.4)	108 (77.3)	24 (17.2)	
27	121 (100.0)			12 (9.9)	94 (77.8)	14 (12.0)	0 (0.3)
28	120 (100.0)			17 (13.8)	78 (65.0)	26 (21.3)	
29	132 (100.0)		1 (1.1)	62 (47.2)	56 (42.0)	13 (9.7)	
30	130 (100.0)			90 (69.0)	32 (24.7)	8 (6.4)	
元	139 (100.0)		4 (2.7)	91 (65.6)	30 (21.6)	14 (9.8)	0 (0.3)
2	88 (100.0)			45 (51.5)	31 (35.8)	11 (12.7)	
3	126 (100.0)			85 (67.3)	30 (24.1)	11 (8.6)	
4	142 (100.0)		2 (1.7)	74 (52.5)	44 (31.1)	21 (14.7)	
5	152 (100.0)			100 (65.7)	38 (25.4)	14 (8.9)	
6	180 (100.0)		2 (1.3)	73 (40.7)	52 (28.6)	53 (29.4)	0 (0.0)

注）１．　農林水産省資料による。
　　２．　令和６年産の数値は、令和６年12月末現在のものである。
　　３．　（　）は等級割合。

１６　米の生産費及び収益性　（１０ａ当たり）

（１）群馬県		関東・東山地域平均								
項目 ＼ 年次		26	27	28	29	30	元	2	3	4
生産費（円）	種苗費	2,955	3,284	3,387	3,263	3,131	3,587	3,089	2,950	3,552
	肥料費	8,854	7,757	8,115	7,267	7,590	7,797	7,820	7,849	9,322
	農薬費	6,282	5,881	6,125	6,242	6,646	6,596	6,690	6,606	6,911
	光熱動力費	5,867	4,613	4,086	4,465	4,917	4,948	4,795	5,492	5,911
	その他諸材料費	2,154	1,925	1,848	2,084	2,122	2,192	2,196	2,217	2,037
	土地改良及び水利費	3,381	3,815	3,759	4,295	3,954	4,000	4,529	4,391	3,969
	貸借料及び料金	9,610	10,241	9,851	9,701	10,154	9,507	10,053	10,854	9,797
	物件税及び公課諸負担	1,682	2,215	2,233	2,357	2,005	2,233	1,740	1,977	1,737
	建物費	2,207	3,974	3,850	5,019	4,312	4,705	4,591	4,091	5,533
	自動車及び農機具費	24,016	33,376	30,632	31,894	28,161	33,890	30,201	29,225	27,018
	生産管理費	973	328	333	318	322	294	541	481	416
	労働費	43,976	37,233	37,256	38,260	39,968	39,300	39,122	39,383	37,815
	費用合計	111,957	114,642	111,475	115,165	113,282	119,049	115,367	115,516	114,018
	副産物価額	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575	1,568	1,760
	生産費	111,643	113,787	109,516	111,379	110,993	117,176	113,792	113,948	112,258
	支払利子	－	62	53	72	85	91	85	62	156
	支払地代	4,212	5,181	5,510	5,871	5,472	5,041	4,943	4,446	5,260
	支払利子・地代算入生産費	115,855	119,030	115,079	117,322	116,550	122,308	118,820	118,456	117,674
	自己資本利子	4,296	5,935	5,664	5,810	5,280	6,130	5,744	5,348	5,588
	自作地地代	4,871	10,946	9,872	9,557	9,712	10,019	9,841	9,360	8,231
	全算入生産費	125,022	135,911	130,615	132,689	131,542	138,457	134,405	133,164	131,493
	60ｋｇ当たり全算入生産費	15,739	13,288	15,270	13,431	15,442	16,990	16,266	15,546	15,581
収益性	主産物数量(kg)	476	510	516	498	511	488	495	514	506
	主産物価額(円)	77,254	94,078	105,468	111,642	114,893	108,742	103,972	86,317	92,817
	副産物価額(円)	314	855	1,959	3,786	2,289	1,873	1,575	1,568	1,760
	粗収益(円)	77,568	94,933	107,427	115,428	117,182	110,615	105,547	87,885	94,577
	生産費総額(円)	125,336	136,766	132,574	136,475	133,831	140,330	135,980	134,732	133,253
	利潤(円)	△ 47,768	△ 41,833	△ 25,147	△ 21,047	△ 16,649	△ 29,715	△ 30,433	△ 46,847	△ 38,676
	所得(円)	3,163	9,845	25,166	29,516	35,052	21,897	20,000	3,474	9,982
	家族労働報酬(円)	△ 3,004	△ 7,036	9,630	14,149	20,060	5,748	4,947	1,398	△ 3,837
	家族労働時間(時間)	29.35	22.81	22.64	22.55	23.02	21.81	21.39	22.16	20.84
	１日当たり家族労働報酬(円)	－	－	3,403	5,020	6,971	2,108	1,651	－	－

注）１．農林水産統計年報「米生産費調査」による。令和５年度の全国数値は速報値
２．米生産費統計は、主産地における「販売農家」の結果である。
「販売農家」とは、「玄米を600kg以上販売し、かつ平年作に対する増減収率が±20%未満の農家」である。
３．収益性は次のとおり算出している。①粗収益＝主産物価額＋副産物価額、②生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代、③所得＝粗収益－〔生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代）〕、④家族労働報酬＝粗収益－（生産費総額－家族労働費）、⑤１日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×８時間（１日換算）
４．27年産からは、関東・東山平均の数値。

（２）全国

項目 ＼ 年次		26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
生産費（円）	種苗費	3,693	3,691	3,695	3,697	3,756	3,707	3,542	3,788	4,000	4,050
	肥料費	9,520	9,318	9,313	8,872	8,942	9,065	9,030	9,091	9,810	12,564
	農薬費	7,630	7,640	7,464	7,639	7,570	7,670	7,774	7,864	7,664	8,051
	光熱動力費	5,095	4,362	3,844	4,227	4,693	4,745	4,517	5,101	5,567	5,743
	その他諸材料費	1,819	1,939	1,942	1,904	1,927	1,987	1,972	1,924	1,944	2,058
	土地改良及び水利費	4,444	4,468	4,313	4,213	4,191	4,333	4,545	4,335	3,932	4,029
	貸借料及び料金	12,576	12,200	11,953	11,989	11,569	11,495	11,147	11,407	12,359	11,606
	物件税及び公課諸負担	2,316	2,297	2,297	2,363	2,157	2,241	2,044	2,093	1,928	1,949
	建物費	4,502	4,170	4,146	4,292	3,973	3,640	3,834	4,009	4,019	3,800
	自動車及び農機具費	27,947	28,812	27,734	28,544	28,011	29,172	28,912	27,909	27,662	28,212
	生産管理費	392	414	426	455	396	394	460	433	439	451
	労働費	35,396	34,731	34,525	35,028	34,854	34,247	34,729	33,506	33,478	34,474
	費用合計	115,330	114,042	111,652	113,223	112,039	112,696	112,506	111,460	112,802	116,987
	副産物価額	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050	2,228	2,515
	生産費	114,268	112,719	109,471	109,729	109,446	109,995	109,989	109,410	110,574	114,472
	支払利子	307	306	288	281	229	164	146	176	211	172
	支払地代	4,710	5,034	5,128	4,779	4,999	5,289	5,309	5,206	4,725	4,839
	支払利子・地代算入生産費	119,285	118,059	114,887	114,789	114,674	115,448	115,444	114,792	115,510	119,483
	自己資本利子	5,319	5,166	4,992	5,104	4,834	5,141	5,161	5,144	5,052	5,166
	自作地地代	10,581	10,069	9,706	9,444	9,216	8,916	8,581	8,209	8,370	8,214
	全算入生産費	135,185	133,294	129,585	129,337	128,724	129,505	129,186	128,145	128,932	132,863
	60kg当たり全算入生産費	15,416	15,390	14,584	15,147	15,352	15,155	15,046	14,758	15,273	15,948
収益性	主産物数量(kg)	526	519	533	512	504	512	516	520	506	－
	主産物価額(円)	92,562	99,320	110,953	112,933	113,210	116,331	111,495	95,673	99,071	－
	副産物価額(円)	1,062	1,323	2,181	3,494	2,593	2,701	2,517	2,050	2,228	2,515
	粗収益(円)	93,624	100,643	113,134	116,427	115,803	119,032	114,012	97,723	101,299	－
	生産費総額(円)	136,247	134,617	131,766	132,831	131,317	132,206	131,703	130,195	131,160	135,378
	利潤(円)	△ 42,623	△ 33,974	△ 18,632	△ 16,404	△ 15,514	△ 13,174	△ 17,691	△ 32,472	△ 29,861	－
	所得(円)	6,476	13,558	28,245	30,418	30,732	32,568	27,751	11,439	14,140	－
	家族労働報酬(円)	△ 9,424	△ 1,677	13,547	15,870	16,682	18,511	14,009	△ 1,914	718	－
	家族労働時間(時間)	23.09	22.36	21.97	21.61	21.49	20.78	20.66	20.15	20.70	19.85
	1日当たり家族労働報酬(円)	－	－	4,933	5,875	6,210	7,126	5,425	－	294	－

Ⅱ　麦「ニーズに応じた高品質麦の安定生産への取組」

１　基本方針

（１）実需者ニーズに応じた品種選定や計画的かつ安定的な生産の推進
（２）基本技術の励行による高品質麦の生産
（３）は種前契約の徹底や実需者との連携強化
（４）共同乾燥調製貯蔵施設等の効率的な運営と保管管理の体制強化
（５）経営所得安定対策等の活用による二毛作体系の推進
（６）ＧＡＰ（農業生産工程管理）の導入・実践
（７）地産地消の取組等、新たな需要づくり
（８）種子生産者の確保と生産体制の強化
（９）スマート農業技術の普及

２　麦の生産目標

令和７年産作付計画等を次のとおりとする。

表１　麦種別作付計画　（ｈａ，ｔ）

区分＼麦種	小　麦	二条大麦	六条大麦	計
令和６年産作付面積	5300	1,680	490	7,470
令和６年産収穫量	23,300	5,640	1,520	30,460
令和７年産作付計画面積	5,193	1,680	449	7,370
令和７年産目標収穫量	21,561	5,489	1,649	29,400

注）令和７年産作付計画面積および目標収穫量は県集荷団体の契約予定数量を基にした数字。
　　ただし二条大麦の作付計画面積は米麦畜産課による推計値。

表２　小麦品質ランク区分評価　（単位：％）

項目＼ランク区分等	検査等級１等比率	A	B	C	D
令和５年産実績(確定)	80.0	６０	３８	1	0
令和６年産実績	87.9	５５	４３	2	0
令和７年産目標	90 以上	８０	２０	0	0

注）令和６年産実績は令和６年 10 月末現在。
　　ランクは日本めん用小麦の結果（数量比率）。

３　重点推進目標

(1) 需要に応じた麦づくり

ア　小　　麦・六条大麦

(ｱ)　実需者のニーズに対応した品種作付を行う。

(ｲ)　実需者の求める品質および生産量を確保し、安定的な供給を目指す。

イ　二条大麦（ビール大麦）

(ｱ)　実需者の求める醸造適性および産地における生産性を考慮した品種作付けを行う。

(ｲ)　オオムギ縞萎縮病の常発地域では、「サチホゴールデン」「アスカゴールデン」等の抵抗性品種の作付を行う。

ウ　需要拡大等への取組

多様な加工用途への積極的な対応を図るため、県産麦に対する実需者の意見・要望の聞き取りを行い、需要拡大に向けた取組を促進する。また、新たな需要作りとして、地産地

消や６次産業化等への取組を推進する。

(2) 安全で高品質な麦づくり

ア　小麦では、日本麺用「きぬの波」「つるぴかり」「さとのそら」等は、ランク区分基準のタンパク質含量9.7～11.3%、パン・中華麺用「ゆめかおり」は、ランク区分基準のタンパク質含量11.5%～14.0%を基本とし、実需者が求めるタンパク質含量を目標に栽培管理を徹底する。

イ　六条大麦「シュンライ」は、主食用の用途に適した硝子率や白度を目指し、平坦二毛作地帯の水田作を基本として作付する。麦茶用では、タンパク質含量10.5%以上を目標とし、実需者の要望に応えた生産を行う。

ウ　二条大麦（ビール用）については、発芽勢（98%以上）の確保、適正タンパク質含量（10.0～11.0%の範囲内）及び整粒歩合（2.5㎜以上95%以上）を確保する。

エ　生産物の安全性を確保するため、放射性物質の低減対策の徹底を図るとともに、消費者へ正確な情報を提供し、県内農産物の安心・安全について理解促進を図る。また、赤かび病（ＤＯＮ）や残留農薬等に対する安全性を生産者・生産者団体が主体的に確認する。

オ　異種穀粒や異物混入を防止する。特にカラスノエンドウやソバの混入防止を徹底する。

カ　貯蔵保管時の水分含量は12.5%以下とし、虫の発生等による品質低下防止に努める。

(3) 生産・流通対策

ア　種子更新率の向上と地域に適した麦種・品種の作付けを基本に、追肥や麦踏み等の基本技術の励行、適期収穫、適切な乾燥調製等を実施する。また、湿害対策を実施する。

イ　縞萎縮病については、抵抗性品種の導入や麦種を転換する等の耕種的防除対策を実施し、被害の発生を防止する。

ウ　赤かび病については、発生防止のための適期防除を徹底する。万一発生した場合には、被害粒の混入を防止するなどの適切な措置をとり、被害を最小限に留める。

エ　共同乾燥調製貯蔵施設等の環境・保管管理体制を強化し、品質低下防止に努める。また、担い手の利用を踏まえた効率的な運営を図る。

オ　圃場管理システムやＧＰＳを活用したスマート農業機械の導入等を推進するとともに、新規需要米等と組み合わせた二毛作体系により、生産性向上と作付拡大を図る。

(4) 担い手育成対策

ア　担い手の育成・支援

水田を中心とした土地利用型農業の担い手である認定農業者や集落営農組織による規模拡大や法人化等の経営体質強化へ向けた取組を積極的に支援する。

イ　集落営農組織の経営体質強化

各集落営農組織の進捗状況に応じて、全組織を対象に法人化の支援を行うとともに、既に法人化した組織に対しても、引き続き、法人運営等に関してフォローアップを行う。

ウ　農地集積の促進

農地中間管理機構を活用し、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化に向けた取組を支援する。

(5) ＧＡＰ(農業生産工程管理)の導入と実践

麦の適正な生産管理を図るため、ＧＡＰの導入・実践を推進する。

ア　ＧＡＰ（農業生産工程管理：Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことである。

ＧＡＰを取り入れることにより、結果として食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保を図る。

イ　ほ場条件の確認、農薬の適正使用、施肥管理等の記帳管理等を行う。

ウ　乾燥調製貯蔵施設や管理貯蔵施設等の作業の記録や保管管理体制を強化する。

エ　整理、整頓、清掃、清潔、習慣づけの５Ｓを実践する。

(6) 種子の安定供給と種子生産者の確保

安定した麦生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。種子生産体制の強化・健全化に努めるとともに、新規種子生産者を確保し、種子の安定生産を図る。

4　関連施策

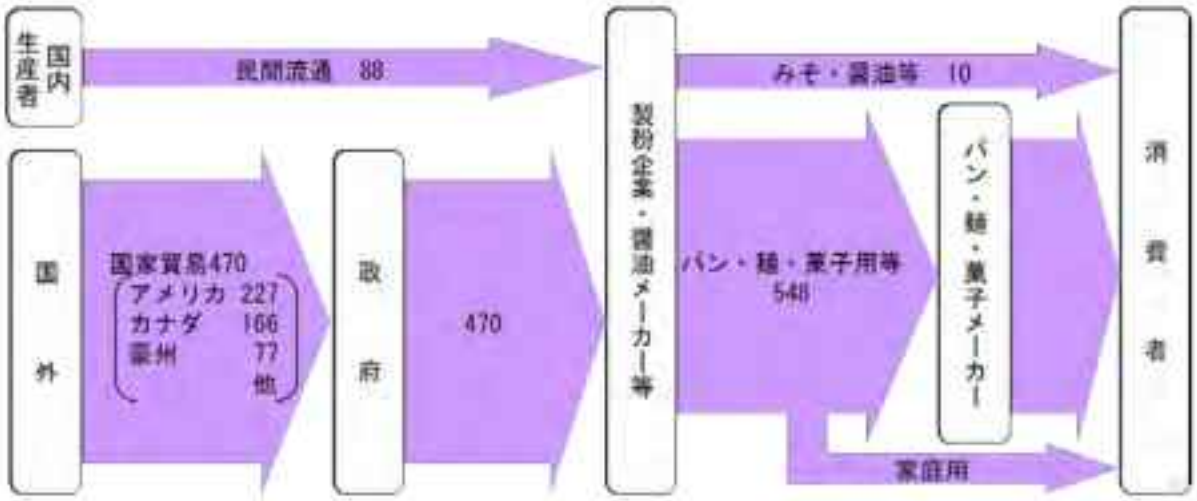
・農業経営力向上事業（県単）
・ぐんま型水田フル活用推進事業（県単）
・経営所得安定対策（国庫）
・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）
・新基本計画実装・農業構造転換支援事業（国庫）

５　麦の需要に関する動向

（農林水産省「麦の参考資料」（令和６年３月公表）より抜粋）

（１）麦の流通の概要

麦は需要量の約８割を外国産麦の輸入で賄っています。国内産食糧用麦は民間流通により取引されており、外国産食糧用麦は政府が国家貿易により計画的に輸入し、需要者に売り渡しています。



（単位：万トン）

図１　食糧用小麦の流通の現状（平成３０年度～令和４年度の平均数量）

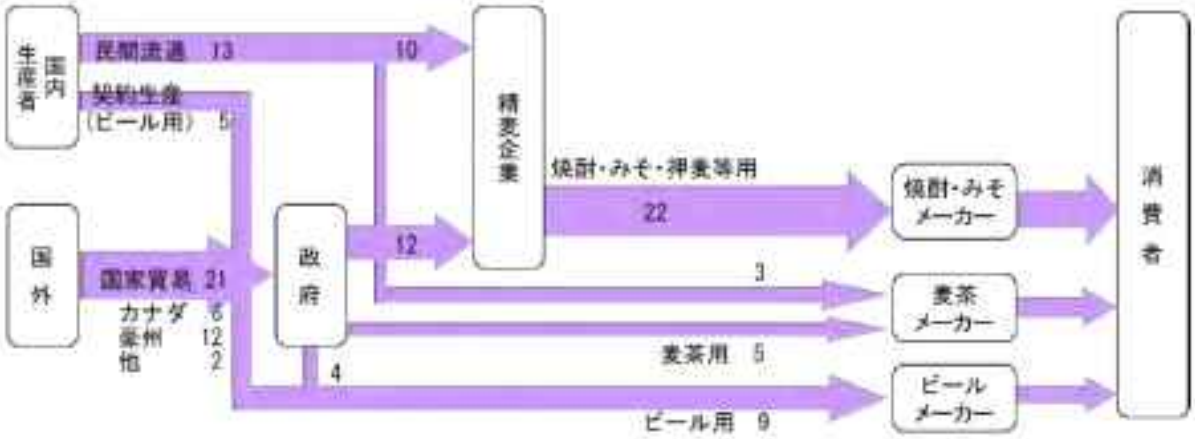


図２　食糧用大麦及びはだか麦の流通の現状（平成３０年度～令和４年度の平均数量）

（２）国内麦の取引の概要

国内産食糧用麦は、加工原料としての商品特性から、需要に応じて計画的に生産できるよう、は種前契約に基づく取引が行われています。

まず、取引の指標となる透明性のある適正な価格を形成するため、は種前に販売予定数量の３～４割（具体の比率は民間流通地方連絡協議会の協議を踏まえ決定）について入札が行われます。残りは相対取引が行われており、その価格については、入札で形成された指標価格（落札加重平均価格）を基本として、取引当事者間で決められています（図３）。

また、取引を円滑に進めるため、生産者、需要者等で構成される民間流通連絡協議会において、取引に必要な情報交換、取引に係る基本事項の見直し等が行われています（表１）。

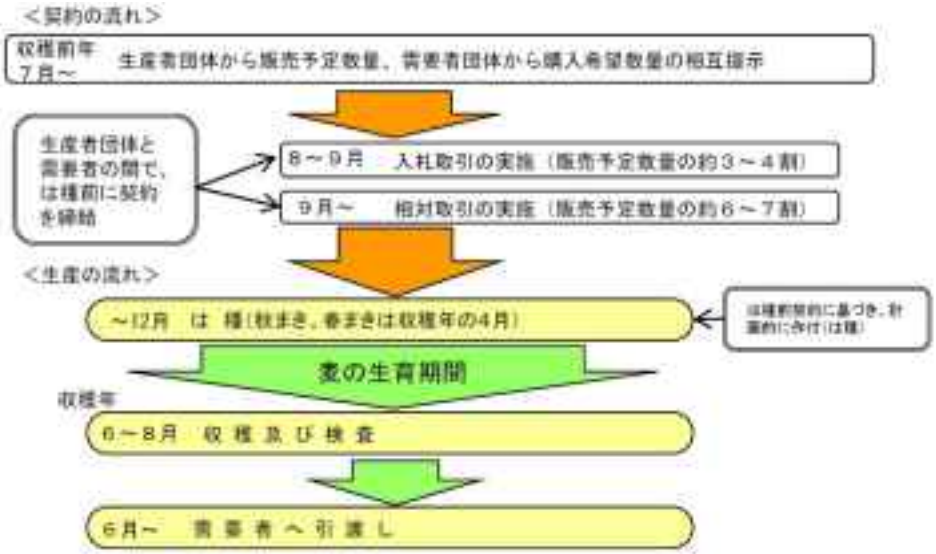


図３　国内産食糧用麦の基本的な流通フロー

表１　国内産食糧用麦の入札の仕組み

項　目	概　　要	見直しの変遷
実施主体	一般社団法人 全国麦改良協会	
実施時期	は種前に２回実施（８～９月）	平成13年産から１回→２回へ見直し
上場数量	産地銘柄別に販売予定数量が小麦３千トン以上、大麦・はだか麦１千トン以上の銘柄について、その30～40%を上場（ほかに希望上場あり）	令和元年産から30%→30～40%へ見直し
基準価格	小麦は前年産の落札加重平均価格に当年産の入札実施時点での外国産麦の政府売渡価格の変動率を乗じた価格、大麦・はだか麦は前年産の落札加重平均価格	小麦の外国産麦との連動は平成24年産から実施
値幅制限	基準価格の±10%	小麦 平成12年産～16年産：±5% 平成17年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±30% 平成24年産～　：±10% 大麦・はだか麦 平成12年産～18年産：±5% 平成19年産～21年産：±7% 平成22年産：±10% 平成23年産：±15% 平成24年産～　±10%
取引価格の事後調整（小麦のみ）	外国産食糧用小麦の政府売渡価格の改定（4、10月）に合わせて、は種前の入札又は相対により契約された価格に外国産食糧用小麦の政府売渡価格の変動率を乗じて取引価格を改定	平成23年産から実施
申込限度数量	買い手別に 上場数量×買受実績シェア×1.45	小麦は平成17年産から、大麦及びはだか麦は平成19年産から 1.35→1.45へ見直し
相対取引	入札で形成された指標価格を基本に、生産者団体と需要者の間で協議・決定	平成19年産から過去の実績シェアに基づく取引ルールを廃止
再入札	第１回入札及び第２回入札において、落札残数量が発生した場合は、売り手の希望により再度入札に付すか相対による契約を行うかいずれかの方法をとることができる。	平成25年産から売り手の申し出により、再入札における入札の値幅を設定できること等を規定。

（３）外国産食糧用小麦の政府売渡

外国産食糧用小麦の政府売渡については、平成 19 年４月以降、買入価格（買付価格＋港湾諸経費）に、マークアップ（政府管理経費及び国内産小麦の生産振興対策に充当）を上乗せした価格で売り渡す「相場連動制」に移行しました（表２、図４）。

表２　政府売渡価格改定ルール

項　　目	基本的なルール
価格改定	年２回（４月期、10月期）
買付価格算定期間	直近６か月間

図４　政府売渡価格の構成

また、外国産食糧用小麦の売渡しについては、平成 22 年 10 月以降、輸入した小麦を直ちに製粉企業等に販売し、製粉企業等が一定期間備蓄することになっています。（即時販売方式）

即時販売方式の導入後は、製粉企業等が 2.3 か月分の外国産食糧用小麦の備蓄を行った場合、国が 1.8 か月分の保管経費を助成しています（図５）。

また、不測の事態が生じた場合には、国は、製粉企業等に対して、備蓄する外国産食糧用小麦の取崩しの指示等を行います。

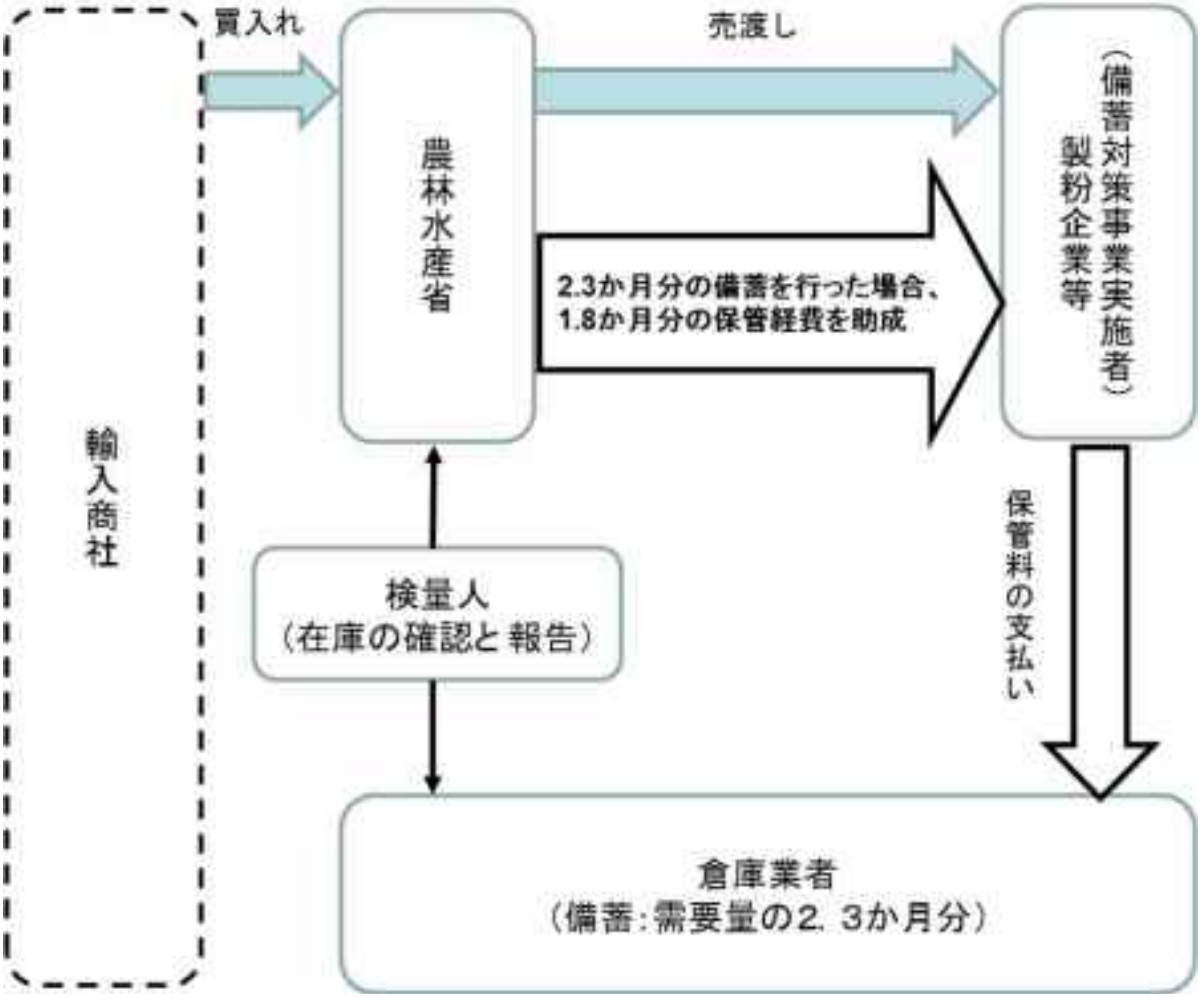


図５　食糧麦備蓄対策事業のスキーム

６　令和７年産民間流通麦入札結果

価格は税別

産地	銘　柄	基準価格 円／トン	指標価格 円／トン	指標価格 円/60kg	参考 対比	上場数量 t	申込数量 t	落札数量 t	落札残 t	申込 倍率
小麦										
北海道	春よ恋	72,440	65,199	3,912	90.0	13,960	3,800	3,800	10,160	0.3
北海道	きたほなみ	58,107	57,632	3,458	99.2	138,630	186,850	138,630	0	1.3
北海道	ゆめちから	59,133	56,707	3,402	95.9	35,280	39,690	32,350	2,930	1.1
北海道	はるきらり	57,268	51,542	3,093	90.0	2,280	20	20	2,260	0.0
岩手	ゆきちから	56,315	53,865	3,232	95.6	1,360	2,060	1,360	0	1.5
宮城	夏黄金	68,129	63,000	3,780	92.5	740	370	370	370	0.5
茨城	さとのそら	58,025	54,533	3,272	94.0	3,540	4,890	3,540	0	1.4
群馬	**つるぴかり**	**74,851**	**70,340**	**4,220**	**94.0**	**1,340**	**930**	**900**	**440**	**0.7**
群馬	**さとのそら**	**60,695**	**59,965**	**3,598**	**98.8**	**4,450**	**7,180**	**4,230**	**220**	**1.6**
埼玉	あやひかり	65,672	65,843	3,951	100.3	1,670	2,700	1,650	20	1.6
埼玉	さとのそら	62,847	58,699	3,522	93.4	4,490	2,090	2,090	2,400	0.5
岐阜	イワイノダイチ	57,353	54,852	3,291	95.6	1,430	430	430	1,000	0.3
岐阜	さとのそら	57,525	52,380	3,143	91.1	1,340	1,020	1,020	320	0.8
愛知	きぬあかり	61,854	51,903	3,114	83.9	6,970	3,510	3,510	3,460	0.5
愛知	ゆめあかり	59,672	55,477	3,329	93.0	1,410	1,950	1,410	0	1.4
滋賀	ふくさやか	56,561	54,481	3,269	96.3	1,370	3,070	1,370	0	2.2
滋賀	びわほなみ	62,365	56,529	3,392	90.6	4,760	5,060	4,580	180	1.1
香川	さぬきの夢２００９	50,818	55,899	3,354	110.0	2,110	3,180	2,110	0	1.5
福岡	シロガネコムギ	61,148	57,702	3,462	94.4	7,430	7,690	6,410	1,020	1.0
福岡	チクゴイズミ	60,291	65,746	3,945	109.0	5,380	10,060	5,380	0	1.9
福岡	ミナミノカオリ	55,319	60,850	3,651	110.0	1,910	2,350	1,910	0	1.2
佐賀	シロガネコムギ	60,523	61,205	3,672	101.1	8,460	11,660	7,930	530	1.4
佐賀	チクゴイズミ	60,692	65,295	3,918	107.6	3,670	7,730	3,670	0	2.1
佐賀	はる風ふわり	55,788	54,642	3,279	97.9	1,430	2,010	1,430	0	1.4
大分	チクゴイズミ	60,198	63,868	3,832	106.1	1,240	1,970	1,240	0	1.6
－	－－－合計－－－	59,003	58,017	3,481	98.3	256,650	312,270	231,340	25,310	1.2
六条大麦										
宮　城	シュンライ	35,885	37,231	2,234	103.7	340	620	340	0	1.8
宮　城	ホワイトファイバー	42,723	44,923	2,695	105.1	620	860	620	0	1.4
茨　城	カシマムギ	46,638	47,105	2,826	101.0	140	160	140	0	1.1
茨　城	カシマゴール	41,490	45,639	2,738	110.0	800	750	740	60	0.9
栃　木	シュンライ	39,281	41,262	2,476	105.0	1,210	2,060	1,210	0	1.7
群　馬	**シュンライ**	**37,994**	**39,923**	**2,395**	**105.1**	**460**	**1,140**	**460**	**0**	**2.5**
富　山	ファイバースノウ	44,728	45,337	2,720	101.4	2,890	3,750	2,890	0	1.3
石　川	ファイバースノウ	43,649	44,094	2,646	101.0	1,360	2,490	1,360	0	1.8
福　井	ファイバースノウ	45,164	45,403	2,724	100.5	2,820	3,410	2,820	0	1.2
福　井	はねうまもち	54,198	57,592	3,456	106.3	1,020	1,560	1,020	0	1.5
長　野	ファイバースノウ	38,058	40,354	2,421	106.0	270	590	270	0	2.2
滋　賀	ファイバースノウ	36,199	39,818	2,389	110.0	430	810	430	0	1.9
滋　賀	ファイバースノウ	39,208	43,128	2,588	110.0	1,050	860	860	190	0.8
兵　庫	シュンライ	40,515	43,202	2,592	106.6	490	830	490	0	1.7
－	－－－合計－－－	43,342	44,925	2,696	103.7	13,900	19,890	13,650	250	1.4
二条大麦										
茨　城	ミカモゴールデン	33,571	36,928	2,216	110.0	660	610	530	130	0.9
栃　木	ニューサチホゴールデン	32,705	35,930	2,156	109.9	1,190	1,880	1,100	90	1.6
島　根	サチホゴールデン	38,894	41,973	2,518	107.9	330	250	240	90	0.8
岡　山	スカイゴールデン	42,754	47,029	2,822	110.0	520	640	520	0	1.2
岡　山	サチホゴールデン	43,425	47,767	2,866	110.0	990	1,710	990	0	1.7
佐　賀	サチホゴールデン	46,939	51,632	3,098	110.0	2,510	5,350	2,510	0	2.1
佐　賀	はるか二条	47,918	52,709	3,163	110.0	8,110	10,150	8,110	0	1.3
－	－－－合計－－－	45,340	49,856	2,991	110.0	14,310	20,590	14,000	310	1.4
裸麦										
香　川	イチバンボシ	31,022	33,580	2,015	108.2	520	550	520	0	1.1
愛　媛	ハルヒメボシ	33,016	35,388	2,123	107.2	1,600	1,920	1,600	0	1.2
大　分	ハルアカネ	32,856	35,799	2,148	109.0	630	780	540	90	1.2
－	－－－合計－－－	32,594	35,118	2,107	107.7	2,750	3,250	2,660	90	1.2

【参　考】銘柄別政府売渡価格　　単価：円/トン

産　地　銘　柄	略　称	標準売渡価格 R6.10以降	標準売渡価格 R7.4以降	用　途
小麦				
アメリカ産（ダーク）ノーザン・スプリング	ＤＮＳ	－	－	パン等の準強力粉
カナダ産ウエスタン・レッド・スプリングＮＯ１	１ＣＷ	－	－	パン等に最適な強力粉
アメリカ産ハード・レッド・ウィンター	ＨＲＷ	－	－	パン等の強力粉
オーストラリア産スタンダード・ホワイト	ＡＳＷ	－	－	麺用粉等の中力粉
アメリカ産ウエスタン・ホワイト	ＷＷ	－	－	菓子等の薄力粉
５銘柄加重平均（税込み）		66,610	63,570	（対前期比▲4.6%）

注１）カナダ産アンバー・デュラム小麦、カナダ産ウェスタン・シックスロウ、オーストラリア産プライム・ハード
　　オーストラリア産ツーロウは、ＳＢＳ方式。

注２）H22.10以降について、銘柄ごとの売渡価格は公表しないこととなった。

7　毎年の生産量・品質に基づく交付金ランク区分基準について

（1）ランク区分について

平成 16 年産までの麦作経営安定資金、契約生産奨励金については、銘柄別、等級別に単価の差を設定してきたが、区分Ｉ（Ａ）の銘柄が全体の８５％を占めるなど、実需者のニーズが反映された助成体系ではなかった。

このため、実需者が求める良品質麦の生産を促進する観点から、平成 17 年産麦から麦作経営安定資金及び契約生産奨励金については、各用途麦別の品質評価項目による品質評価を反映させた助成体系へ移行した。

この助成体系を毎年の生産量・品質に基づく交付金に継承し、生産者の品質向上に対する生産努力を価格に反映する助成とした。

さらに 19 年産から、日本めん用小麦の品質評価基準について、需要者が望む基準値まで段階的に近づけていく観点から、基準の引上げが行われた。

（2）ランク区分基準

日本めん用小麦、パン・中華めん用小麦、醸造用小麦、主食等用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦及び麦茶用小粒大麦・大粒大麦・はだか麦別に次の基準を適用し、区分毎に、基準いずれかを満たすものとする。

区分	基　　準
A	・品質評価項目の基準値を３つ以上達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
B	・品質評価項目の基準値を２つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦
C	・品質評価項目の基準値を１つ達成し、かつ、許容値を全て達成している麦 ・品質評価項目の基準値を２つ以上達成しているものの、許容値を達成していない麦
D	A～Cランクのいずれにも該当しない麦

（3）品質評価項目とその基準値、許容値

ア　日本めん用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんぱく (低アミロース品種等)	9.7%以上 11.3%以下	8.5%以上 12.5%以下 (8.0%以上 13.0%以下)
灰分	1.60%以下	1.65%以下
容積重	840g/ℓ以上	──
フォーリングナンバー	300 以上	200 以上

注）低アミロース品種等は、きぬの波・つるぴかり

イ　パン・中華めん用小麦

評価項目	基準値	許容値
たんぱく	11.5%以上 14.0%以下	10.0%以上 15.5%以下
灰分	1.75%以下	1.80%以下
容積重	833g/ℓ以上	―
フォーリングナンバー	300 以上	200 以上

ウ　醸造用小麦

評価項目		基準値	許容値
たんぱく	Ⅰ	11.5%以上 12.0%未満	10.0%以上
	Ⅱ	12.0%以上 13.5%未満	
	Ⅲ	13.5%以上	
容積重		760g/ℓ以上	―

注）たんぱくⅠは品質評価項目の基準値を１つ達成、たんぱくⅡは２つ達成、たんぱくⅢは３つ達成したものとする。

エ　主食等用小粒（六条）大麦・はだか麦

評価項目	基準値	許容値
容積重	小粒（六条）大麦　690g/ℓ以上 はだか麦　840g/ℓ以上	―
細麦率	小粒（六条）大麦　2.2mm（篩）下に2.0%以下 はだか麦　2.0mm（篩）下に2.0%以下	―
白度	小粒（六条）大麦　43 以上 はだか麦　43 以上 基準歩留：小粒（六条）大麦 55% はだか麦　60% 農産物検査時から１ヶ月経過したサンプル	40 以上 40 以上
硝子率	小粒（六条）大麦　40%以下 はだか麦　50%以下	50%以下 60%以下

オ　主食等用大粒（二条）大麦

評価項目	基準値	許容値
容積重	709g/ℓ以上	―
細麦率	2.5mm（篩）下に3.0%以下	―
白度	40 以上 基準歩留：55% 農産物検査時から１ヶ月経過したサンプル	37 以上
正常粒率	80%以上（65%歩留時） 1.8mm（篩）上（砕粒を除く）	70%以上

カ　麦茶用小粒（六条）・大粒（二条）大麦・はだか麦

評価項目		基準値	許容値
たんぱく	Ⅰ	7.5%以上　9.0%未満	6.5%以上
	Ⅱ	9.0%以上　10.5%未満	
	Ⅲ	10.5%以上	
細麦率		小粒（六条）大麦　2.0mm（篩）下に2.0%以下 大粒（二条）大麦　2.2mm（篩）下に2.0%以下 はだか麦　2.0mm（篩）下に2.0%以下	―

注）たんぱくⅠは品質評価項目の基準値を１つ達成、たんぱくⅡは２つ達成、たんぱくⅢは３つ達成したものとする。

８　令和６年産群馬県産麦品質評価結果

（１）日本めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（ｔ）	ロット数	数量（ｔ）	ロット		数量（ｔ）	
					数	比率(%)	数量（ｔ）	比率(%)
A	5	10,832	4	717	9	30	11,548	55
B	12	9,073	2	32	14	47	9,105	43
C	4	373	3	121	7	23	494	2
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	21	20,278	9	870	30	100	21,147	100

系統別	ＪＡ等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重（ｇ/ℓ）	ﾌｫｰﾘﾝｸﾞﾅﾝﾊﾞｰ	ランク
全農	前橋市	さとのそら	4,340	10.1	1.48	844	377	A
全農	前橋市	つるぴかり	1,036	9.1	1.55	831	379	B
全農	前橋市	きぬの波	43	8.0	1.51	827	400	B
全農	佐波伊勢崎	さとのそら	5,342	10.5	1.54	839	371	A
全農	佐波伊勢崎	つるぴかり	869	8.9	1.55	832	379	B
全農	佐波伊勢崎	きぬの波	100	9.4	1.46	854	374	A
全農	高崎市	さとのそら	976	9.3	1.46	812	384	B
全農	高崎市	きぬの波	915	8.7	1.47	834	397	B
全農	多野藤岡	さとのそら	829	9.2	1.49	826	398	B
全農	多野藤岡	きぬの波	123	8.5	1.42	846	397	A
全農	多野藤岡	つるぴかり	25	7.5	1.60	796	373	C
全農	新田みどり	さとのそら	924	9.6	1.56	794	375	B
全農	新田みどり	さとのそら		9.5	1.50	818	372	B
全農	太田市	さとのそら	1,392	9.1	1.51	817	380	B
全農	邑楽館林	さとのそら	927	9.9	1.58	813	420	A
全農	邑楽館林	つるぴかり	1,906	9.3	1.58	824	397	B
全農	はぐくみ	さとのそら	77	9.4	1.49	825	371	B
全農	碓氷安中	つるぴかり	106	8.6	1.47	804	352	B
全農	甘楽富岡	さとのそら	175	8.7	1.65	823	400	C
全農	赤城橘	さとのそら	1	10.6	1.67	833	445	C
全農	北群渋川	さとのそら	172	7.8	1.55	816	386	C
全集	関商店	さとのそら	112	9.7	1.55	830	384	A
全集	関商店	つるぴかり	69	9.1	1.67	849	379	C
全集	鈴木商店	さとのそら	415	10.3	1.50	824	376	A
全集	鈴木商店	つるぴかり	34	7.9	1.59	803	384	C
全集	米庄商店	さとのそら	14	8.8	1.55	803	392	B
全集	藤岡中央食販	さとのそら	19	8.4	1.52	820	389	C
全集	麻生商店	さとのそら	117	10.2	1.60	845	388	A
全集	新井敏一	さとのそら	17	9.4	1.59	815	374	B
全集	吹上商事	さとのそら	73	10.9	1.55	837	396	A

（2）パン・中華めん用小麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（t）	ロット数	数量（t）	ロット		数量（t）	
					数	比率(%)	数量（t）	比率(%)
A	8	973	3	95	11	100	1,068	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	8	973	3	95	11	100	1,068	100

系統別	ＪＡ等名	銘柄	数量(t)	たんぱく(%)	灰分(%)	容積重（g/ℓ）	ﾌｫｰﾘﾝｸﾞﾅﾝﾊﾞｰ	ランク
全農	前橋市	ゆめかおり	176	12.7	1.43	805	448	A
全農	佐波伊勢崎	ゆめかおり	503	11.3	1.40	856	451	A
全農	高崎市	ゆめかおり	0	10.5	1.39	847	417	A
全農	多野藤岡	ゆめかおり	113	10.2	1.45	858	429	A
全農	新田みどり	ゆめかおり	22	12.2	1.43	849	402	A
全農	はぐくみ	ゆめかおり	22	11.0	1.48	838	388	A
全農	甘楽富岡	ゆめかおり	23	11.3	1.51	866	437	A
全農	北群渋川	ゆめかおり	114	12.3	1.51	868	445	A
全集	関商店	ゆめかおり	13	11.6	1.48	828	463	A
全集	鈴木商店	ゆめかおり	22	13.4	1.41	842	435	A
全集	麻生商店	ゆめかおり	60	12.1	1.49	866	473	A

（3）主食用小粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（t）	ロット数	数量（t）	ロット		数量（t）	
					数	比率(%)	数量（t）	比率(%)
A	1	82	2	23	3	27	105	8
B	1	308	0	0	1	9	308	23
C	4	449	0	0	4	36	449	33
D	2	408	1	85	3	27	493	36
分析総数	8	1,247	3	108	11	100	1355	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重（g/ℓ）	細麦率(%)	白度(%)	硝子率(%)	ランク
全農	前橋市	シュンライ	370	667	6.1	39	54	D
全農	佐波伊勢崎	シュンライ	82	671	0.5	43	36	A
全農	高崎市	シュンライ	308	699	1.8	41	49	B
全農	太田市	シュンライ	38	671	1.6	38	42	D
全農	邑楽館林	シュンライ	352	667	1.2	42	45	C
全農	はぐくみ	シュンライ	40	704	0.4	40	57	C
全農	赤城橘	シュンライ	2	741	1.4	42	58	C
全農	北群渋川	シュンライ	54	714	0.0	42	57	C
全集	関商店	シュンライ	9	690	2.0	46	40	A
全集	鈴木商店	シュンライ	85	668	0.8	41	62	D
全集	麻生商店	シュンライ	14	667	1.8	43	39	A

（4）主食用大粒大麦

ランク	全農分		集連分		合計			
	ロット数	数量（t）	ロット数	数量（t）	ロット		数量（t）	
					数	比率(%)	数量（t）	比率(%)
A	2	68	0	0	2	100	68	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0
分析総数	2	68	0	0	2	100	68	100

系統別	JA等名	銘柄	数量(t)	容積重（g/ℓ）	細麦率(%)	白度(%)	正常粒率(%)	ランク
全農	佐波伊勢崎	サチホゴールデン	33	741	0.4	44	98	A
全農	新田みどり	サチホゴールデン	35	719	2.6	43	98	A

９　令和６年産 麦類生育基本調査結果

農業技術センター　稲麦研究センター

＜小麦「さとのそら」の生育概要＞
播種後２月までの高温により、幼穂形成始期、節間伸長開始期は平年より早まった。3 月は低温の日が多かったが 4 月以降高温となり、出穂期は平年より 5 日、成熟期は平年より 6 日早まった。
収量は 512 g/m^2 で平年比 110 %と多かった。多収の要因としては、千粒重が 35.2 g で平年比 92 %と小さかったが、1 穂稔実粒数と上麦粒数歩合が平年並であり、有効穂数が 570 本/m^2 で平年比 121 %と非常に多かったことが考えられた。外観品質は良好で、検査等級 1 等であった。

１．試験条件
（１）供試品種　さとのそら
（２）土壌条件　淡色多湿黒ボク土（標高 118 m）、水田裏作
（３）試験規模　1 区 48 m^2、2 反復
（４）耕種概要　播種期：令和 5 年 11 月 15 日
播種量：100 粒/m^2、播種法：畦間 60 cm、播幅 12 cm、2 条寄せ畝テープシーダー
施肥量：基肥 N 量 0.6 kg/a（燐加安 486 号）
追肥 N 量 0.2 kg/a（硫安）（令和 6 年 3 月 4 日）

２．試験結果
（１）気象経過（播種期 11 月 15 日～成熟期 6 月 1 日）（図 1）
平均気温は、播種後 2 月まで平年より高く（平年差+ 1.6℃）、2 月中旬は特に高かった（平年差+ 5.0℃）。3 月は平年より低い日が多かったが、4 月は記録的高温となり（平年差+ 3.2℃）、5 月～成熟期も高かった（平年差+ 0.9℃）。
降水量は、生育期間中の合計が 429 mm で平年比 128 %と多かった。1 月下旬と 2 月上旬にまとまった降雨があり、旬別で 2 月下旬～3 月上旬、3 月下旬～4 月上旬、5 月上旬が平年を上回った。
日照時間は、生育期間中の合計が 1383 時間で平年比 103 %であった。

（２）生育経過と収穫物調査結果（表 1、図 2、図 3、表 2）
出芽は良好であった。幼穂形成始期は 2 月 20 日（- 11 日）で平年より大幅に早まり、節間伸長開始期も 3 月 14 日（- 7 日）で平年より早まった。出穂期は 4 月 16 日（- 5 日）、成熟期は 6 月 1 日（- 6 日）で、平年より早まった。
稈長は 87 cm（+ 7.6 cm）で平年より長く、穂長は 9.3 cm（+ 0.4 cm）で平年よりやや長かった。
収量は 512 g/m^2（110 %）で平年より多く、上麦重歩合は 99.2 %（+ 0.2）でやや高かった。収量構成要素では、千粒重は 35.2 g（92 %）で平年より小さかったが、1 穂稔実粒数 33.9 粒/穂（99 %）と上麦粒数歩合 97.9 %（±0.0）は概ね平年並であり、有効穂数が 570 本/m^2（121 %）で平年より非常に多かった。
外観品質は良好で、検査等級 1 等であった。
注）（ ）内は過去 10 カ年平均値との比較

【参考：二条大麦「サチホゴールデン」】（表 3）
出穂期は 4 月 5 日（- 4 日）、成熟期は 5 月 19 日（- 5 日）で、ともに平年より早まった。稈長は 86 cm（- 6 cm）で平年より短く、穂長は 6.1 cm（+ 0.1 cm）でほぼ平年並であった。
収量は 315 g/m^2（73 %）で平年より少なく、上麦重歩合は 82.0 %（- 5.0）で平年より低かった。収量構成要素では、穂数は 567 本/m^2（85 %）で少なく、千粒重は 45.5 g（94 %）で小さかった。
外観品質は、退色粒、裂皮粒、未熟粒が発生したが、検査等級 2 等（ビール大麦）で平年より優れた。
注）（ ）内は過去 10 カ年平均値との比較

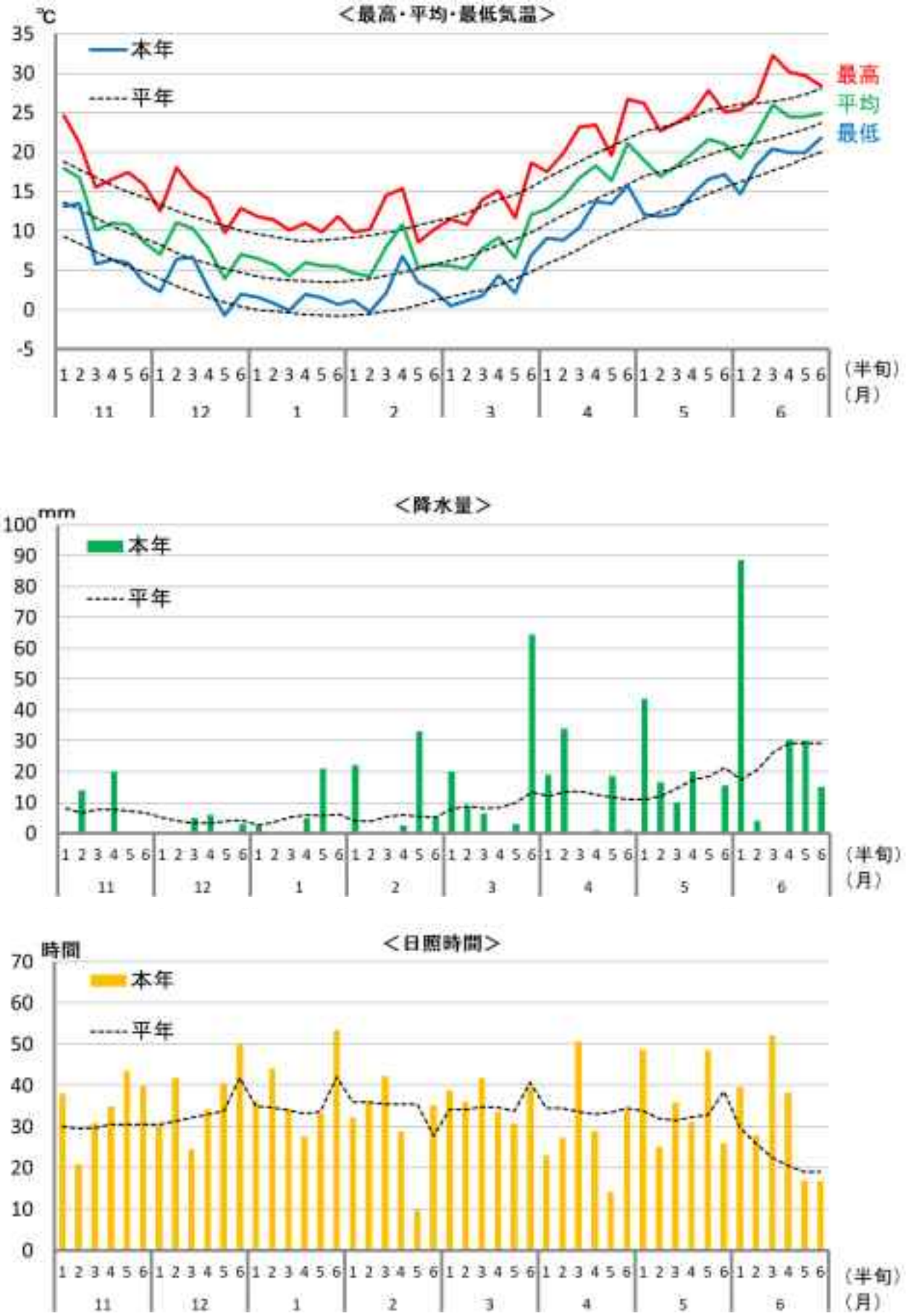


図 1　気象経過（令和 5 年 11 月 1 半旬～令和 6 年 6 月 6 半旬）

注）前橋地方気象台の気象データを使用。平年値は 1991 年～2020 年。

表 1　令和 6 年産小麦生育基本調査結果概要（前年・平均比較）

項目			本年	前年比・差	平均比・差
生育状況	出芽日数	（日）	12	＋3	＋0.4
	幼穂形成始期	（月/日）	2/20	－12	－11
	節間伸長開始期	（月/日）	3/14	－2	－7
	出穂期	（月/日）	4/16	＋3	－5
	成熟期	（月/日）	6/1	＋1	－6
	稈長	（cm）	87	＋5.5	＋7.6
	穂長	（cm）	9.3	＋0.3	＋0.4
収量構成要素	有効穂数	（本/㎡）	570	129%	121%
	1穂当り稔実粒数	（粒）	33.9	101%	99%
	上麦粒数歩合	（%）	97.9	2.5	0.0
	上麦千粒重	（g）	35.2	93%	92%
	上麦重	（g／㎡）	512	128%	110%
品質	検査等級	（等）	1	−1	−0.2

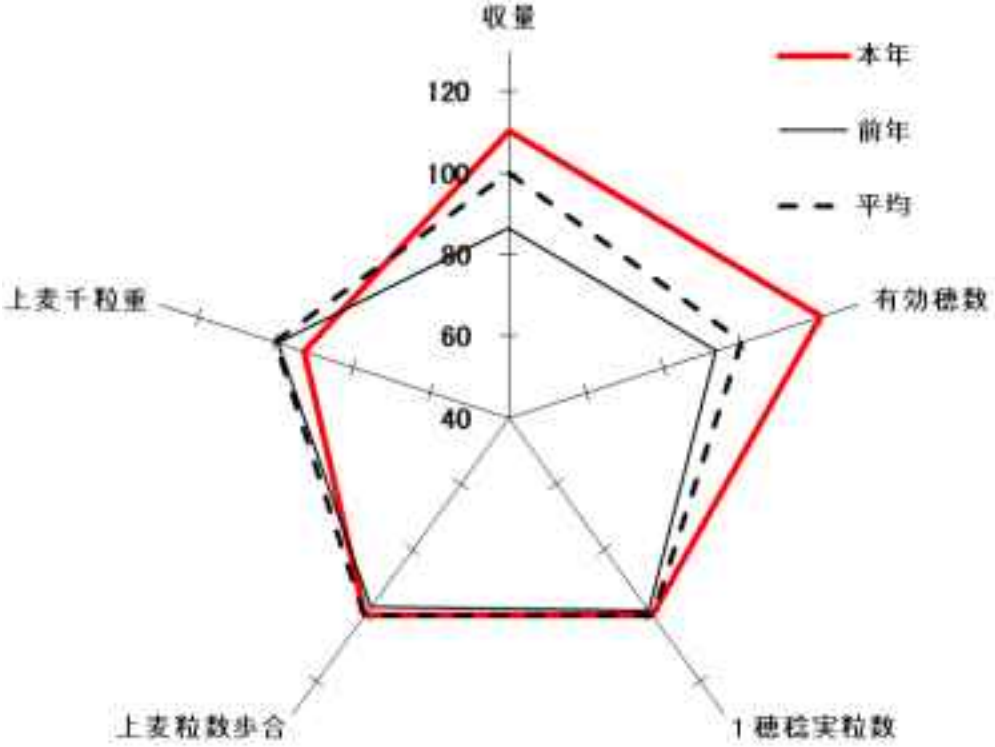


図 2　収量構成要素（前年・平均比較）

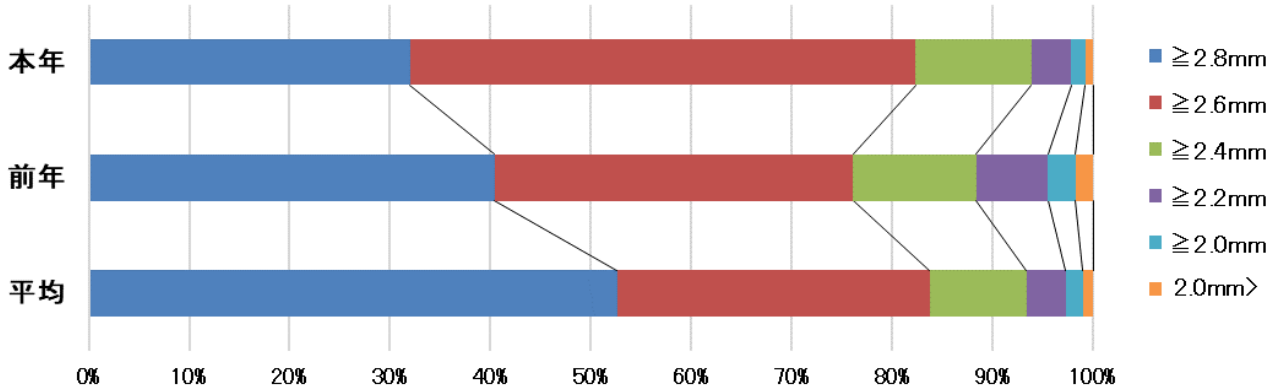


図 3　粒厚分布（前年・平均比較）

表 2 令和 6 年産小麦生育基本調査結果

品種名			さとのそら		
試験圃			水田		
比較年次			本年	前年	平均(10カ年)
播種日			11/15	11/16	11/15
発芽	出芽日数	(日)	12	9	12
	発芽の良否		良	良	良
生育状況	12月20日調査	草丈 (cm)	8.5	9.0	8.1
		偽茎長 (cm)	0.3	0.4	-
		㎡当り茎数(本)	116	116	115
	1月20日調査	草丈 (cm)	9.4	8.7	8.2
		偽茎長 (cm)	0.4	1.4	-
		㎡当り茎数(本)	360	340	303
	2月10日調査	草丈 (cm)	10.9	8.4	8.5
		偽茎長 (cm)	1.8	1.8	-
		㎡当り茎数(本)	673	553	492
	3月1日調査	草丈 (cm)	20.0	12.5	12.2
		偽茎長 (cm)	4.4	2.1	-
		㎡当り茎数(本)	1061	999	869
	3月20日調査	草丈 (cm)	35.4	29.8	26.0
		偽茎長 (cm)	13.7	11.0	-
		㎡当り茎数(本)	949	861	965
	4月10日調査	草丈 (cm)	63.6	73.2	56.8
		㎡当り茎数(本)	660	579	709
	幼穂形成始期	(月/日)	2/20	3/4	3/3
		偽茎長 (cm)	3.4	4.8	-
	節間伸長開始期 ①	(月/日)	3/14	3/16	3/21
		偽茎長 (cm)	7.9	8.5	-
	出穂期 ②	(月/日)	4/16	4/13	4/21
	穂揃日数	(日)	2	2	3
	①～②までの日数	(日)	33	28	31
	成熟期	(月/日)	6/1	5/31	6/7
	登熟日数	(日)	46	48	48
	稈長	(cm)	87	81	79
	穂長	(cm)	9.3	9.0	8.9
収量構成要素	全穂数	(本/㎡)	578	446	477
	有効穂数	(本/㎡)	570	442	473
	有効穂数歩合	(%)	98.6	99.3	99.2
	1穂当り稔実粒数	(粒)	33.9	33.5	34.3
	上麦粒数歩合	(%)	97.9	95.4	97.9
	上麦千粒重	(g)	35.2	37.8	38.1
収量	㎡当り上麦重	(g)	512	401	464
	1穂当り上麦重	(g)	0.90	0.91	0.99
	上麦重歩合	(%)	99.2	98.3	99.0
品質	原粒蛋白質含有率	(%)	8.2	9.2	9.3
	容積重	(g/L)	776	801	801
	ﾌｫｰﾘﾝｸﾞﾅﾝﾊﾞｰ値		358	407	389
	灰分含有率	(%)	1.44	1.48	1.58
	検査等級		1	2	1.2
被害発生状況			-	・凍霜害被害：微 ・色沢不良、粒不揃い	-

※ 上麦：2.0mm以上とし、品質については上麦を調査。㎡当り上麦重、上麦千粒重・・水分12.5%換算
※ 原粒蛋白質含有率：Inframatic 9500 (Perten)による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)
※ 原粒灰分：550℃燃焼による灰分含有率(水分13.5%換算)

表 3 令和 6 年産二条大麦生育基本調査結果

品種名		サチホゴールデン		
試験圃		水田		
比較年次		本年	前年	平均※
播種日		11/15	11/16	11/15
発芽	出芽日数(日)	12	9	10
	発芽の良否	良	良	良
生育状況	12月20日調査 草丈 (cm)	9.4	12.0	8.5
	偽茎長 (cm)	0.5	0.5	-
	㎡当り茎数(本)	277	218	195
	1月20日調査 草丈 (cm)	13.2	11.6	11.9
	偽茎長 (cm)	0.9	1.3	-
	㎡当り茎数(本)	662	656	663
	2月20日調査 草丈 (cm)	23.9	18.6	18.3
	偽茎長 (cm)	6.3	4.2	-
	㎡当り茎数(本)	1163	1056	931
	3月20日調査 草丈 (cm)	44.6	57.0	49.4
	㎡当り茎数(本)	753	746	842
	幼穂形成始期 (月/日)	1/29	2/6	2/5
	偽茎長 (cm)	2.5	2.3	-
	節間伸長開始期① (月/日)	2/22	3/7	3/8
	偽茎長 (cm)	6.9	7.8	-
	出穂期 ② (月/日)	4/5	3/30	4/9
	①～②までの日数 (日)	43	23	30
	成熟期 (月/日)	5/19	5/17	5/24
	登熟日数 (日)	44	48	46
	稈長 (cm)	86	95	92
	穂長 (cm)	6.1	6.8	6.5
収量構成要素	全穂数 (本/㎡)	567	574	667
	1穂当り稔実粒数 (粒)	23.6	24.5	23.3
	稔実粒数歩合 (%)	98.8	99.1	96.5
	上麦千粒重 (g)	45.5	50.7	48.4
	上麦重歩合 (%)	82.0	80.1	87.1
収量	㎡当り上麦重 (g)	315	350	433
	1穂当り収量 (g)	0.56	0.61	0.66
品質	原粒蛋白質含有率 (%)	8.3	9.6	10.2
	容積重 (g/L)	727	762	737
	検査等級 ビール大麦	2	規格外	等外上
	大粒大麦	-	1	-
被害発生状況		退色粒、裂皮粒、未熟粒	色沢不良、裂皮・凸腹粒	-

※ 上麦:2.5mm以上とし、品質については上麦を調査。㎡当り上麦重、上麦千粒重・・水分12.5%換算
※ 原粒蛋白質含有率:Inframatic 9500 (Perten)による原粒の近赤外分析。(水分13.5%換算)
※ 幼穂形成始期までのデータおよび一穂当稔実粒数、稔実粒数歩合はH30～R5年産の6ヶ年平均値、それ以外はH26～R5年産の10ヶ年平均値。

１０　作付面積、10a当たり収量及び収穫量等の推移

（１）群馬県

区分	４　麦　合　計		小　　麦					二　条　大　麦				
年度	作付面積 ha	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	70,700	148,400	45,700	198	220	90	90,100					
30	66,000	200,600	38,900	298	262	114	116,100					
35	63,900	172,000	36,700	248	281	88	91,000	645	271	－	－	1,740
40	43,600	111,300	32,300	248	279	89	80,100	1,150	289	335	86	3,320
45	23,400	79,600	19,300	341	323	106	65,800	1,730	340	341	100	5,880
50	11,300	42,000	9,450	375	335	112	35,400	1,430	358	346	103	5,120
51	12,100	34,600	10,200	283	345	82	28,900	1,550	279	346	81	4,320
52	12,500	48,500	10,500	389	345	113	40,800	1,800	366	346	106	6,590
53	14,300	50,800	11,700	359	350	103	42,000	2,340	332	346	96	7,770
54	15,600	62,100	12,600	394	350	113	49,600	2,740	415	346	120	11,400
55	16,400	57,400	13,500	351	361	97	47,400	2,620	329	351	94	8,620
56	16,500	67,400	13,600	408	361	113	55,500	2,610	393	351	112	10,300
57	16,300	62,300	13,300	389	375	104	51,700	2,590	345	361	96	8,940
58	16,400	69,800	13,300	439	378	116	58,400	2,580	363	361	101	9,370
59	16,700	64,000	13,600	380	385	99	51,700	2,500	404	363	111	10,100
60	16,500	67,900	13,200	418	393	106	55,200	2,710	371	370	100	10,100
61	16,700	71,000	13,100	429	399	108	56,200	2,920	411	376	109	12,000
62	16,800	67,200	12,900	393	405	97	50,700	3,230	416	382	109	13,400
63	16,900	75,800	12,900	447	408	110	57,700	3,250	446	390	114	14,500
H１	17,000	73,600	12,900	428	414	103	55,200	3,380	444	394	113	15,000
2	16,200	69,100	11,900	428	420	102	50,900	3,470	425	402	106	14,700
3	15,100	58,400	11,100	390	423	92	43,300	3,340	378	412	92	12,600
4	14,100	57,300	10,500	398	426	93	41,800	3,110	431	416	104	13,400
5	13,300	58,700	9,840	430	426	101	42,300	3,130	467	416	112	14,600
6	12,700	54,600	9,330	416	426	98	38,800	3,110	463	426	109	14,400
7	12,300	57,000	9,020	462	426	108	41,700	3,040	460	431	107	14,000
8	11,900	54,600	8,690	455	428	106	39,500	2,900	471	435	108	13,700
9	11,400	49,800	8,360	439	439	100	36,700	2,720	435	444	98	11,800
10	11,200	41,500	8,420	387	441	88	32,600	2,440	337	454	74	8,220
11	10,400	42,400	8,090	406	441	92	32,800	2,040	420	456	92	8,570
12	10,100	45,200	7,950	444	441	101	35,300	1,880	470	459	102	8,840
13	10,200	43,400	8,070	422	441	96	34,100	1,840	445	459	97	8,190
14	10,100	47,100	8,130	467	441	106	38,000	1,640	459	459	100	7,530
15	10,100	46,500	8,190	468	441	106	38,300	1,570	435	459	95	6,830
16	9,690	32,700	7,950	338	441	77	26,900	1,430	325	459	71	4,650
17	9,320	38,500	7,680	417	425	98	32,000	1,310	390	419	93	5,110
18	9,220	39,500	7,610	440	431	102	33,500	1,250	381	430	89	4,760
19	7,890	30,200	6,310	393	438	90	24,800	1,220	337	422	80	4,110
20	7,920	33,000	6,340	418	428	98	26,500	1,200	408	398	103	4,900
21	7,900	31,900	6,260	411	427	96	25,700	1,210	396	390	102	4,590
22	7,660	25,900	5,960	337	416	81	20,100	1,250	348	382	91	4,350
23	7,640	29,200	5,860	386	395	98	22,600	1,290	362	370	98	4,670
24	7,810	32,600	5,890	451	405	111	26,600	1,400	315	375	84	4,410
25	7,830	32,900	5,860	433	410	106	25,400	1,470	368	365	101	5,410
26	7,720	29,400	5,750	410	408	100	23,600	1,470	309	362	85	4,540
27	7,590	30,800	5,580	421	412	102	23,500	1,480	364	358	102	5,390
28	7,640	30,400	5,580	424	412	103	23,700	1,530	336	351	96	5,140
29	7,670	31,800	5,570	436	415	105	24,300	1,570	367	345	106	5,760
30	7,760	29,800	5,680	406	425	96	23,100	1,580	322	349	92	5,090
R１	7,650	30,200	5,570	412	425	97	22,900	1,580	351	341	103	5,550
2	7,650	29,800	5,500	403	420	96	22,200	1,630	357	348	103	5,820
3	7,630	29,500	5,430	386	415	93	21,000	1,670	403	346	116	6,730
4	7,530	29,900	5,380	416	413	101	22,400	1,640	354	355	100	5,810
5	7,560	30,400	5,330	420	413	102	22,400	1,720	366	353	104	6,300
6	7,471	30,464	5,300	439	413	106	23,300	1,680	336	359	94	5,640

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和６年産については第１報）

（注）１．昭和３０年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。
２．平成１７年から平年収量ではなく平均収量（直近７カ年の内、最高及び最低を除いた５カ年の平均値）。
３．平成１７年から作況指数ではなく平均収量対比となった。
４．四捨五入の関係で、４麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六　条　大　麦					は　だ　か　麦				
年度	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t	作付面積 ha	10a当収量 kg	平年収量 kg	作況指数 (平年対比)	収穫量 t
S25	21,700	238	239	100	51,600	3,340	220	－	－	6,720
30	21,400	318	302	105	67,900	5,660	293	278	106	16,600
35	24,700	303	316	96	74,600	1,810	257	300	86	4,670
40	9,780	275	275	100	26,900	343	278	316	88	954
45	2,210	334	330	101	7,380	176	315	300	105	554
50	364	367	345	106	1,340	41	339	307	110	139
51	389	316	349	91	1,230	41	295	317	93	121
52	254	385	349	110	978	32	363	323	112	116
53	265	351	355	99	930	35	323	334	97	113
54	250	403	355	114	1,010	24	379	334	113	91
55	335	388	365	106	1,300	22	327	340	96	72
56	358	434	365	119	1,550	16	363	340	107	58
57	440	377	379	99	1,660	7	314			22
58	522	393	384	102	2,050	3	356			12
59	529	420	390	108	2,220	0	291			1
60	630	413	398	104	2,600	0	322			1
61	644	430	405	106	2,770	0	316			0
62	694	442	412	107	3,070	0	300			0
63	762	472	420	112	3,600	0	317			0
H1	757	446	428	104	3,380	0	332	－	－	0
2	773	446	431	103	3,450	－	－	－	－	－
3	618	403	437	92	2,490	－	－	－	－	－
4	466	460	441	104	2,140	－	－	－	－	－
5	369	496	441	112	1,830	－	－	－	－	－
6	306	468	454	103	1,430	－	－	－	－	－
7	272	467	456	102	1,270	－	－	－	－	－
8	276	494	456	108	1,360	－	－	－	－	－
9	280	457	462	99	1,280	－	－	－	－	－
10	287	253	463	55	726	－	－	－	－	－
11	252	419	463	90	1,060	－	－	－	－	－
12	226	474	461	103	1,070	－	－	－	－	－
13	261	434	457	95	1,130	－	－	－	－	－
14	334	457	457	100	1,530	－	－	－	－	－
15	307	442	455	97	1,360	－	－	－	－	－
16	312	355	453	…	1,110	－	－	－	－	－
17	328	409	421	97	1,340	－	－	－	－	－
18	355	355	432	82	1,260	－	－	－	－	－
19	364	354	419	84	1,290	－	－	－	－	－
20	376	412	399	103	1,550	－	－	－	－	－
21	422	381	395	96	1,610	－	－	－	－	－
22	460	324	382	85	1,490	－	－	－	－	－
23	489	389	371	105	1,900	－	－	－	－	－
24	523	310	378	82	1,620	－	－	－	－	－
25	504	409	361	122	2,060	－	－	－	－	－
26	498	259	371	70	1,290	－	－	－	－	－
27	523	360	363	99	1,880	－	－	－	－	－
28	532	310	353	88	1,650	－	－	－	－	－
29	527	328	339	97	1,730	－	－	－	－	－
30	491	325	339	96	1,600	3	200	－	－	6
R1	494	360	327	110	1,780	5	257	－	－	13
2	515	341	337	101	1,760	3	184	－	－	6
3	520	342	333	103	1,780	3	293	214	137	9
4	506	332	340	98	1,680	1	298	234	127	3
5	509	331	334	99	1,680	1	283	250	113	3
6	490	310	335	93	1,520	1	395	258	153	4

作柄と作況指数　　良：１０６以上
やや良：１０２～１０５
平年並み：９９～１０１
やや不良：９５～９８
不良：９４以下

（２）全国

区分	４　麦　合　計		小　　麦					二　条　大　麦				
年度	作付面積	収穫量	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量
	千ha	千ｔ	千ha	kg	kg		千ｔ	千ha	kg	kg		千ｔ
S25	1,784	3,298	794	175			1,338					
30	1,659	3,875	663	221			1,468					
35	1,440	3,831	602	254			1,531	83	279			231
40	898	2,521	476	270			1,287	113	281			318
45	455	1,046	229	207	275	75	474	99	271	307	88	269
50	168	462	90	269	280	96	241	50	276	296	93	137
51	169	433	89	250	283	88	222	53	254	292	87	135
52	164	442	86	275	285	96	236	53	252	293	86	135
53	208	693	112	327	284	115	367	70	342	295	116	239
54	265	948	149	363	286	127	541	84	352	296	119	294
55	313	968	191	305	298	102	583	85	317	302	105	269
56	347	970	224	262	303	86	587	83	318	305	104	264
57	351	1,132	228	326	305	107	742	82	317	307	103	259
58	353	1,075	229	303	311	97	695	84	297	311	95	249
59	349	1,136	232	319	316	101	741	82	262	313	116	295
60	347	1,252	234	374	319	117	874	80	331	319	104	264
61	353	1,220	246	357	328	109	876	76	329	324	102	249
62	383	1,217	271	319	337	95	864	76	312	329	95	237
63	396	1,420	282	362	338	107	1,021	74	356	332	107	265
H1	397	1,356	284	347	343	101	985	76	344	335	103	260
2	366	1,297	260	365	348	105	952	74	344	338	102	254
3	334	1,042	239	318	356	89	759	68	303	344	88	207
4	299	1,045	215	354	367	96	759	63	357	345	103	225
5	261	921	184	347	369	112	638	61	375	348	112	228
6	214	790	152	372	380	109	565	55	362	353	109	200
7	210	662	151	293	379	77	444	51	375	354	106	192
8	216	711	159	302	377	80	478	46	411	358	115	190
9	215	766	158	364	376	97	573	44	337	365	92	148
10	217	713	162	351	375	94	570	39	273	368	74	107
11	221	788	169	345	377	92	583	37	411	368	112	151
12	237	903	183	376	377	100	688	37	419	370	113	154
13	257	906	197	355	355	95	700	40	351	351	94	139
14	272	1,045	207	401	371	108	828	41	334	374	89	136
15	276	1,054	212	403	370	109	856	40	312	370	84	123
16	272	1,056	213	404	371	109	860	37	347	369	94	129
17	268	1,062	214	411	377	109	877	35	358	354	101	125
18	272	1,011	218	383	391	98	837	34	347	365	95	118
19	264	1,105	210	434	395	110	910	32	373	352	106	129
20	265	1,100	209	423	403	105	882	35	410	345	119	145
21	266	854	208	324	412	79	675	36	321	353	91	116
22	266	729	207	274	408	67	568	37	285	354	81	104
23	272	912	212	353	388	91	746	38	317	348	91	119
24	270	1,027	209	409	378	108	855	38	292	341	86	112
25	270	995	210	386	379	101	811	38	311	331	91	117
26	273	1,019	213	399	379	105	849	38	287	325	88	108
27	274	1,181	213	471	371	127	1,004	38	298	313	95	113
28	276	947	214	363	371	98	778	38	276	305	90	105
29	274	1,087	212	426	384	111	905	38	308	295	104	118
30	273	941	212	362	399	91	768	38	315	301	105	121
R1	273	1,260	212	490	399	123	1,037	38	386	301	128	147
2	276	1,171	213	447	411	109	949	39	368	306	121	145
3	283	1,311	220	490	423	116	1,078	38	409	317	129	156
4	290	1,220	227	434	441	98	987	38	396	337	118	150
5	296	1,326	232	472	434	109	1,094	39	389	356	109	151
6	297	1,208	232	442	455	97	1,023	40	297	372	80	119

資料：農林水産統計「麦類（子実用）の作付面積及び収穫量」（確報）による。（令和６年産については第1報）

（注）１．昭和３０年以前の六条大麦は、二条大麦を含む値である。

２．平成１７年から平年収量ではなく平均収量（直近７カ年の内、最高及び最低を除いた５カ年の平均値）。

３．平成１７年から作況指数ではなく平均収量対比となった。

４．四捨五入の関係で、４麦合計と内訳が一致しない場合がある。

区分	六　条　大　麦					はだかｍ麦				
年度	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量	作付面積	10a当収量	平年収量	作況指数	収穫量
	千ha	kg	kg		千ｔ	千ha	kg	kg		千ｔ
S25	429	209			897	591	180			1,063
30	434	265			1,148	562	224			1,260
35	319	305			975	436	251			1,095
40	132	305			403	177	290			513
45	46	320	337	98	148	80	193	269	72	155
50	11	334	334	105	37	17	271	274	99	47
51	11	328	326	101	35	17	244	278	88	40
52	10	336	335	100	33	15	261	280	93	39
53	11	336	332	101	37	15	330	284	116	50
54	15	347	325	107	54	17	352	286	123	59
55	19	325	326	100	63	18	296	294	101	53
56	23	286	318	90	67	16	327	299	109	53
57	26	312	317	98	82	15	326	306	107	48
58	27	343	321	107	91	14	291	311	94	39
59	24	241	326	74	58	11	383	313	122	43
60	23	331	327	101	76	10	366	321	114	38
61	22	295	330	89	65	10	314	332	95	30
62	27	330	324	102	89	8	317	337	94	27
63	31	339	318	107	105	9	340	340	100	29
H１	29	298	314	95	86	9	296	348	85	25
2	25	282	316	89	69	8	298	349	85	23
3	21	300	313	96	63	6	225	347	65	14
4	17	291	314	93	49	4	296	343	78	12
5	13	328	316	112	44	3	375	335	112	12
6	4	345	345	109	14	3	356	337	109	12
7	4	324	347	93	12	4	358	334	107	14
8	7	374	330	113	26	4	438	337	130	18
9	9	334	338	99	29	5	332	340	98	17
10	10	253	341	74	26	5	199	345	58	11
11	10	338	339	100	35	5	392	345	114	19
12	11	336	337	100	38	5	409	350	117	22
13	15	320	320	95	48	6	328	328	92	20
14	18	347	341	102	61	6	325	357	91	20
15	18	312	345	90	57	6	312	356	88	18
16	18	291	338	86	51	5	306	352	87	16
17	16	309	319	97	48	5	267	334	80	12
18	15	278	327	85	43	4	303	337	90	13
19	16	334	318	105	53	4	356	315	113	14
20	17	333	311	107	56	4	370	311	119	16
21	18	301	310	97	53	4	253	315	80	11
22	17	261	307	85	45	5	252	309	82	12
23	17	222	299	74	39	5	267	295	91	14
24	17	280	289	97	48	5	247	290	85	12
25	17	305	291	105	52	5	291	288	101	15
26	17	271	294	92	47	5	282	284	99	15
27	18	290	286	101	53	5	215	270	80	11
28	18	293	281	104	53	5	199	255	78	10
29	18	283	278	102	51	5	256	251	102	13
30	17	224	285	79	39	5	252	252	100	14
R１	18	315	285	111	56	6	351	250	140	20
2	18	314	290	108	57	6	322	260	124	20
3	18	304	292	104	55	7	320	266	120	22
4	19	336	298	113	65	6	291	275	106	17
5	20	329	304	108	64	6	301	290	104	17
6	20	278	310	90	54	5	227	299	76	12

作柄と作況指数　　良：　１０６以上
やや良：　１０２～１０５
平年並み：　９９～１０１
やや不良：　９５～９８
不良：　９４以下

１１　令和４、５年産市町村別麦類10ａ当たり収量、収穫量

市町村別	４　麦　計				小　麦					
	作付面積(ha)		収穫量(ｔ)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(ｔ)	
	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産
前橋市	1,546	1,541	7,077	6,904	1,270	1,240	452	457	5,750	5,670
高崎市	639	630	2,571	2,378	530	525	402	376	2,130	1,970
桐生市	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
伊勢崎市	1,259	1,248	5,717	5,234	1,190	1,180	461	425	5,480	5,020
太田市	629	619	2,690	2,590	629	619	427	418	2,690	2,590
沼田市	1	1	3	3	1	1	300	300	3	3
館林市	760	768	2,290	2,799	117	112	294	396	344	443
渋川市	105	105	355	324	72	76	367	332	264	252
藤岡市	296	299	1,050	1,040	296	299	353	349	1,050	1,040
富岡市	5	5	20	21	5	5	400	420	20	21
安中市	38	35	159	137	38	35	418	391	159	137
みどり市	0	0	0	0	x	x	x	x	x	x
榛東村	0	4	0	13	x	4	x	325	x	13
吉岡町	26	10	71	26	10	10	250	260	25	26
上野村	0	0	0	1	0	0	225	171	0	1
神流町	－	0	－	0	－	x	－	x	－	x
下仁田町	0	0	0	0	0	0	282	263	0	0
南牧村	－	0	－	0	－	x	－	x	－	x
甘楽町	42	40	116	143	42	40	276	358	116	143
中之条町	4	4	11	13	4	4	275	325	11	13
長野原町	0	0	0	0	0	0	195	205	0	0
嬬恋村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高山村	0	0	0	0	0	x	210	x	0	x
東吾妻町	2	2	4	4	2	2	200	200	4	4
片品村	0	0	0	0	0	x	145	x	0	x
川場村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
昭和村	0	0	0	0	0	x	224	x	0	x
みなかみ町	3	0	9	0	3	x	300	x	9	x
玉村町	595	566	2,854	2,403	527	503	487	430	2,570	2,160
板倉町	199	197	433	795	199	197	218	404	433	795
明和町	114	108	368	398	65	70	326	376	212	263
千代田町	434	466	1,429	1,726	93	94	278	416	259	391
大泉町	33	53	101	198	13	15	246	427	32	64
邑楽町	681	721	2,526	2,797	243	275	423	448	1,030	1,230
県計	7,530	7,560	29,900	30,400	5,380	5,330	416	420	22,400	22,400

注）農林水産関係市町村別統計による。令和６年産については、令和７年２月末現在、公表されていない。

市町村別	二条大麦						六条大麦					
	作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(ｔ)		作付面積(ha)		10a当たり収量(kg)		収穫量(ｔ)	
	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産	R４年産	５年産
前橋市	183	198	511	438	935	868	93	103	422	355	392	366
高崎市	x	x	x	x	x	x	109	105	405	389	441	408
桐生市	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
伊勢崎市	15	16	407	406	61	65	54	52	326	287	176	149
太田市	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
沼田市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
館林市	547	572	311	360	1,700	2,060	96	84	256	352	246	296
渋川市	－	－	－	－	－	－	33	29	276	248	91	72
藤岡市	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
富岡市	x	x	x	x	x	x	－	－	－	－	－	－
安中市	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
みどり市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
榛東村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
吉岡町	－	－	－	－	－	－	16	x	288	x	46	x
上野村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神流町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
下仁田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
南牧村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
甘楽町	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
中之条町	－	－	－	－	－	－	x	x	x	x	x	x
長野原町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
嬬恋村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高山村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東吾妻町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
片品村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川場村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
昭和村	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
みなかみ町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
玉村町	59	52	417	392	246	204	9	11	422	355	38	39
板倉町	x	x	x	x	x	x	－	－	－	－	－	－
明和村	37	27	332	356	123	96	12	11	275	355	33	39
千代田町	308	329	347	361	1,070	1,190	33	43	303	337	100	145
大泉町	20	38	345	353	69	134	－	－	－	－	－	－
邑楽町	436	444	341	352	1,490	1,560	2	2	300	350	6	7
県計	1,640	1,720	354	366	5,810	6,300	506	509	332	331	1,680	1,680

１２　令和６年産４麦の作付面積及び収穫量

(1)　小　　麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	231,600	442	1,023,000	△ 100	100	94	△ 71,000	94	97	455
(全国農業地域)										
北海道	131,800	537	707,800	△ 500	100	99	△ 9,300	99	104	517
都府県	99,800	315	314,800	300	100	83	△ 62,100	84	85	369
東　北	6,820	287	19,600	90	101	112	2,300	113	113	254
北　陸	607	260	1,580	77	115	104	260	120	123	211
関東・東山	21,400	373	79,800	0	100	103	2,300	103	103	361
東　海	18,000	334	60,200	300	102	78	△ 15,500	80	84	396
近　畿	9,200	288	26,500	280	103	85	△ 3,800	87	93	311
中　国	3,200	288	9,220	70	102	83	△ 1,680	85	83	347
四　国	3,000	274	8,210	△ 110	96	74	△ 3,290	71	72	380
九　州	37,500	293	109,700	△ 400	99	73	△ 42,700	72	74	398
沖縄	10	143	14	2	125	105	3	127	112	128
(都道府県)										
北海道	131,800	537	707,800	△ 500	100	99	△ 9,300	99	104	517
青森	747	285	2,130	△ 54	93	116	160	108	119	239
岩手	3,880	244	9,470	20	101	120	1,600	120	115	213
宮城	1,180	436	5,140	20	102	101	130	103	107	407
秋田	310	325	1,010	△ 28	92	114	50	105	123	265
山形	136	206	280	34	133	78	12	104	85	241
福島	560	279	1,560	92	120	106	330	127	121	231
茨城	4,770	318	15,200	△ 120	98	101	△ 200	99	106	300
栃木	2,610	320	8,350	130	105	92	△ 280	97	88	362
群馬	**5,300**	**439**	**23,300**	**△ 30**	**99**	**105**	**900**	**104**	**106**	**413**
埼玉	5,550	395	21,900	0	100	100	△ 100	100	102	387
千葉	807	329	2,660	50	107	95	40	102	105	312
東京	10	210	21	△ 1	91	128	3	117	102	205
神奈川	38	232	88	△ 1	97	109	5	106	89	260
新潟	186	329	612	22	113	107	108	121	136	242
富山	61	203	124	11	122	130	46	159	112	181
石川	105	159	167	△ 7	94	103	△ 7	96	78	205
福井	255	267	681	51	125	96	114	120	136	197
山梨	88	288	253	9	111	94	10	104	92	313
長野	2,270	354	8,040	0	100	131	1,890	131	113	314
岐阜	3,680	296	10,900	90	103	84	△ 1,800	86	88	336
静岡	624	202	1,260	△ 95	87	79	△ 590	68	80	252
愛知	6,100	473	28,900	140	102	82	△ 5,400	84	91	518
三重	7,570	252	19,100	130	102	70	△ 7,700	71	75	338
滋賀	7,030	310	21,800	250	104	87	△ 2,400	90	95	328
京都	210	156	328	2	101	85	△ 55	86	88	178
大阪	1	150	2	0	100	133	0	100	113	133
兵庫	1,790	223	3,990	△ 10	99	76	△ 1,280	76	85	261
奈良	146	256	374	18	114	81	△ 33	92	94	273
和歌山	14	285	40	10	350	170	33	571	202	141
鳥取	99	287	284	13	115	87	1	100	89	324
島根	132	166	219	△ 36	79	84	△ 114	66	89	187
岡山	1,080	352	3,800	70	107	85	△ 400	90	84	417
広島	248	177	439	18	108	73	△ 122	78	87	203
山口	1,640	273	4,480	0	100	81	△ 1,060	81	81	338
徳島	79	278	220	2	103	81	△ 43	84	89	314
香川	2,550	262	6,680	△ 80	97	74	△ 2,630	72	69	381
愛媛	373	348	1,300	△ 32	92	75	△ 580	69	92	378
高知	4	113	5	0	100	78	△ 1	83	75	151
福岡	16,400	323	53,000	△ 100	99	76	△ 17,000	76	77	422
佐賀	11,900	304	36,200	△ 300	98	73	△ 14,700	71	73	414
長崎	672	256	1,720	△ 28	96	83	△ 430	80	84	305
熊本	5,410	233	12,600	80	102	65	△ 6,500	66	66	354
大分	2,920	203	5,930	△ 30	99	61	△ 3,860	61	64	315
宮崎	121	119	144	6	105	42	△ 184	44	50	239
鹿児島	67	143	96	5	108	68	△ 34	74	76	188
沖縄	10	143	14	2	125	105	3	127	112	128

注：１　農林水産統計「令和６年産麦類（子実用）の作付面積（全国）及び収穫量（都府県）」による。
　　２　「（参考）10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（原則として直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値をいう。ただし、直近７か年全ての10ａ当たり収量が確保できない場合は、６か年又は５か年の最高及び最低を除いた平均とし、４か年又は３か年の場合は、単純平均である。）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率である。なお、直近７か年のうち、３か年分の10ａ当たり収量のデータが確保できない場合は、10ａ当たり平均収量を作成していない（以下各統計表において同じ。）。
　　３　全国農業地域別（都府県を除く。）の10ａ当たり平均収量は、各都道府県の10ａ当たり平均収量に当年の作付面積を乗じて求めた収穫量（平均収穫量）を全国農業地域別に積み上げ、当年の全国農業地域別作付面積で除して算出している（以下各統計表において同じ。）。

(2)　二条大麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	40,100	297	119,000	1,200	103	76	△32,300	79	80	372
(全国農業地域)										
北海道	1,680	398	6,690	△ 30	98	111	580	109	102	390
都府県	38,400	292	112,300	1,200	103	75	△32,900	77	79	371
東　北	47	340	160	△ 5	90	116	8	105	130	262
北　陸	2	150	3	0	100	60	△ 2	60	100	150
関東・東山	11,800	352	41,500	△ 200	98	90	△ 5,300	89	95	369
東　海	x	182	x	x	x	51	x	x	102	179
近　畿	145	279	405	△ 5	97	88	△ 71	85	88	318
中　国	3,240	294	9,520	50	102	79	△ 2,280	81	82	358
四　国	x	285	x	x	x	92	x	x	87	327
九　州	22,900	263	60,200	1,200	106	67	△25,500	70	70	374
沖縄	3	137	4	△ 3	50	149	△ 2	67	169	81
(都道府県)										
北海道	1,680	398	6,690	△ 30	98	111	580	109	102	390
青森	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−
岩手	x	x	x	x	x	x	x	x	x	287
宮城	22	423	93	x	x	x	x	x	122	348
秋田	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	202
山形	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
福島	22	255	56	△ 13	63	116	△ 21	73	152	168
茨城	940	196	1,840	△ 2	100	82	△ 400	82	77	255
栃木	8,470	369	31,300	△ 100	99	90	△ 4,000	89	97	381
群馬	**1,680**	**336**	**5,640**	**△ 40**	**98**	**92**	**△ 660**	**90**	**94**	**359**
埼玉	727	368	2,680	13	102	91	△ 210	93	95	386
千葉	x	x	x	x	x	x	x	x	x	189
東京	1	237	2	0	100	119	0	100	117	202
神奈川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	144
新潟	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
富山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	152
石川	x	x	x	x	x	x	x	x	x	138
福井	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
山梨	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−
長野	17	234	40	1	106	97	1	103	89	263
岐阜	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
静岡	25	156	39	5	125	45	△ 31	56	79	198
愛知	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
三重	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
滋賀	62	349	216	2	103	88	△ 22	91	84	416
京都	81	232	188	△ 7	92	87	△ 48	80	94	248
大阪	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
兵庫	2	83	1	0	100	69	△ 1	50	73	113
奈良	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
和歌山	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
鳥取	92	313	288	△ 2	98	99	△ 10	97	103	303
島根	518	255	1,320	△ 11	98	68	△ 670	66	80	317
岡山	2,210	320	7,070	△ 100	96	84	△ 1,730	80	82	388
広島	49	151	74	18	158	78	14	123	124	122
山口	379	202	766	154	168	69	107	116	71	284
徳島	37	203	75	△ 2	95	102	△ 3	96	67	301
香川	121	311	376	100	576	65	276	376	93	333
愛媛	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−
高知	6	291	17	1	120	64	△ 6	74	80	362
福岡	6,150	300	18,500	290	105	75	△ 5,100	78	78	386
佐賀	10,100	283	28,600	500	105	63	△14,200	67	69	411
長崎	1,220	228	2,780	60	105	68	△ 1,080	72	67	342
熊本	2,920	192	5,610	80	103	66	△ 2,630	68	63	304
大分	2,070	193	4,000	150	108	58	△ 2,360	63	64	303
宮崎	68	34	23	4	106	12	△ 161	13	11	309
鹿児島	372	194	722	66	122	91	70	111	77	251
沖縄	3	137	4	△ 3	50	149	△ 2	67	169	81

(3)　六条大麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	19,500	278	54,200	△ 100	99	84	△10,200	84	90	310
(全国農業地域)										
北海道	20	402	80	6	143	91	18	129	110	367
都府県	19,500	277	54,100	△ 100	99	84	△10,300	84	89	311
東　北	1,660	342	5,680	30	102	94	△ 220	96	100	343
北　陸	10,700	282	30,200	0	100	83	△ 6,000	83	92	307
関東・東山	4,450	234	10,400	△ 140	97	79	△ 3,200	76	77	303
東　海	x	190	x	x	x	70	x	x	70	273
近　畿	2,090	326	6,820	20	101	95	△ 310	96	96	338
中　国	x	196	x	x	x	81	x	x	91	216
四　国	x	77	x	x	x	x	x	x	38	205
九　州	55	107	59	7	115	49	△ 46	56	61	176
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
(都道府県)										
北海道	20	402	80	6	143	91	18	129	110	367
青森	x	x	x	x	x	x	x	x	x	366
岩手	83	305	253	1	101	126	54	127	123	247
宮城	1,480	341	5,050	30	102	93	△ 260	95	97	350
秋田	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
山形	14	136	19	x	x	x	x	x	105	129
福島	9	200	18	△ 7	56	91	△ 17	51	97	206
茨城	1,360	178	2,420	△ 100	93	73	△ 1,140	68	73	243
栃木	1,670	209	3,490	△ 50	97	71	△ 1,580	69	70	300
群馬	**490**	**310**	**1,520**	**△ 19**	**96**	**94**	**△ 160**	**90**	**93**	**335**
埼玉	156	299	466	14	110	66	△ 177	72	74	406
千葉	43	272	117	4	110	76	△ 22	84	81	337
東京	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
神奈川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	324
新潟	165	235	388	0	100	82	△ 82	83	85	275
富山	3,660	316	11,600	60	102	86	△ 1,600	88	104	305
石川	1,850	329	6,090	70	104	92	△ 300	95	95	346
福井	5,070	239	12,100	△ 70	99	76	△ 4,000	75	82	292
山梨	40	173	69	1	103	78	△ 17	80	79	220
長野	689	331	2,280	7	101	92	△ 160	93	86	386
岐阜	243	136	330	△ 29	89	72	△ 187	64	70	195
静岡	x	x	x	x	x	x	x	x	x	146
愛知	96	296	284	6	107	64	△ 131	68	69	429
三重	67	237	159	△ 19	78	71	△ 130	55	71	332
滋賀	1,560	358	5,580	0	100	100	10	100	103	347
京都	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
大阪	x	x	x	x	x	x	x	x	x	96
兵庫	534	233	1,240	26	105	76	△ 320	79	75	309
奈良	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	154
和歌山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	133
鳥取	x	x	x	x	x	x	x	x	x	122
島根	9	211	19	△ 3	75	118	△ 2	90	154	137
岡山	1	148	1	△ 1	50	73	△ 3	25	99	149
広島	88	198	174	4	105	78	△ 40	81	87	228
山口	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
徳島	x	x	x	x	x	x	x	x	x	205
香川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
愛媛	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
高知	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
福岡	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−
佐賀	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
長崎	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
熊本	10	170	17	0	100	63	△ 10	63	55	308
大分	8	25	2	1	114	9	△ 17	11	7	334
宮崎	−	−	−	x	x	x	x	x	−	117
鹿児島	11	146	16	1	110	77	△ 3	84	41	354
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−

(4)　はだか麦

全国農業地域・都道府県	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	作付面積 対比	10 a 当たり収量 対比	収穫量 対差	収穫量 対比	(参考) 10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	5,460	227	12,400	△ 60	99	75	△4,200	75	76	299
(全国農業地域)										
北海道	55	296	163	△ 14	80	118	△ 10	94	118	251
都府県	5,400	228	12,300	△ 50	99	76	△4,100	75	76	300
東　北	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	…
北　陸	x	x	x	x	x	x	x	x	x	152
関東・東山	342	270	923	x	x	96	x	x	94	287
東　海	x	217	x	x	x	80	x	x	80	272
近　畿	x	234	x	x	x	90	x	x	94	249
中　国	535	219	1,170	△ 40	93	86	△ 290	80	84	260
四　国	2,470	240	5,940	220	110	78	△ 980	86	74	323
九　州	1,750	201	3,520	△ 170	91	63	△2,570	58	66	306
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
(都道府県)										
北海道	55	296	163	△ 14	80	118	△ 10	94	118	251
青森	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
岩手	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
宮城	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
秋田	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
山形	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	90
福島	x	x	x	x	x	x	x	x	x	134
茨城	223	255	569	△ 30	88	99	△ 81	88	91	281
栃木	22	213	47	△ 19	54	67	△ 83	36	79	270
群馬	1	395	4	0	100	140	1	133	153	258
埼玉	95	316	300	19	125	92	39	115	103	306
千葉	x	x	x	x	x	x	x	x	x	264
東京	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	250
神奈川	x	x	x	x	x	x	x	x	x	198
新潟	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
富山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	152
石川	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
福井	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	…
山梨	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
長野	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
岐阜	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
静岡	x	x	x	x	x	x	x	x	x	199
愛知	8	163	13	△ 5	62	49	△ 30	30	67	245
三重	10	260	26	△ 17	37	108	△ 39	40	89	291
滋賀	87	357	311	△ 8	92	98	△ 36	90	95	374
京都	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−
大阪	−	−	−	x	x	x	x	x	−	122
兵庫	194	179	347	△ 8	96	85	△ 79	81	93	193
奈良	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	−	162
和歌山	x	x	x	x	x	x	x	x	x	121
鳥取	4	204	8	1	133	94	1	114	101	201
島根	20	295	59	△ 2	91	79	△ 23	72	106	277
岡山	250	305	763	15	106	92	△ 15	98	94	323
広島	33	152	50	△ 22	60	78	△ 58	46	80	190
山口	228	129	294	△ 32	88	69	△ 192	60	65	198
徳島	8	189	15	△ 7	53	101	△ 13	54	107	177
香川	675	280	1,890	△ 86	89	93	△ 410	82	88	317
愛媛	1,790	225	4,030	320	122	72	△ 560	88	69	325
高知	2	74	1	△ 1	67	55	△ 3	25	40	183
福岡	481	259	1,250	△ 4	99	76	△ 410	75	75	346
佐賀	145	224	325	△ 125	54	60	△ 675	33	60	374
長崎	120	175	210	△ 80	60	72	△ 278	43	90	194
熊本	109	115	125	8	108	52	△ 100	56	50	230
大分	857	181	1,550	38	105	56	△1,120	58	60	304
宮崎	9	68	6	△ 2	82	58	△ 7	46	49	138
鹿児島	32	166	53	2	107	166	23	177	98	169
沖縄	−	−	−	−	nc	nc	−	nc	nc	−

１３　品種別作付面積の推移（群馬県）

区分	品種名	平成26年産		平成27年産		平成28年産		平成29年産		平成30年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
小麦	つるぴかり	900	16	950	17	1,030	19	1,000	18	1,030	18
	きぬの波	340	6	470	8	470	9	500	9	470	8
	ダブル8号	370	7	360	6	360	6	350	6	330	6
	さとのそら	4,140	72	3,800	68	3,720	67	3,720	67	3,850	68
	計	5,750	100	5,580	100	5,580	100	5,570	100	5,680	100
二条大麦	あまぎ二条	210	14	―	―	―	―	―	―	―	―
	ミカモゴールデン	790	54	780	52	650	43	760	48	640	41
	サチホゴールデン	470	32	700	48	880	57	780	50	890	57
	アスカゴールデン	―	―	―	―	―	―	30	2	40	2
	計	1,470	100	1,480	100	1,530	100	1,570	100	1,570	100
六条大麦	シュンライ	426	86	448	86	443	83	488	93	491	100
	さやかぜ	35	7	36	7	43	8	39	7	―	-
	セツゲンモチ	36	7	39	7	46	9	-	-	―	-
	計	498	100	523	100	532	100	527	100	491	100
麦計		7,720	―	7,590	―	7,640	―	7,670	―	7,760	-

区分	品種名	令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産	
		作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率	作付面積	比率
		ha	%	ha	%	ha	%	ha	%	ha	%
小麦	つるぴかり	970	17	1,000	18	900	17	950	18	930	17
	きぬの波	460	8	430	8	440	8	350	6	260	5
	ゆめかおり(ダブル8号)	310	6	310	6	310	6	270	5	270	5
	さとのそら	3,810	69	3,750	68	3,770	70	3,820	71	3,870	73
	計	5,570	100	5,500	100	5,430	100	5,380	100	5,330	100
二条大麦	ミカモゴールデン	410	26	―	―	―	―	―	―	―	―
	サチホゴールデン	770	48	530	33	580	35	620	38	670	39
	アスカゴールデン	410	26	1,100	68	1,090	65	1,020	62	1,050	61
	計	1,580	100	1,630	100	1,670	100	1,640	100	1,720	100
六条大麦	シュンライ	494	100	515	100	520	100	506	100	509	100
	計	494	100	515	100	520	100	506	100	509	100
麦計		7,650	-	7,650	-	7,630	-	7,530	-	7,560	-

区分	品種名	令和6年産	
		作付面積	比率
		ha	%
小麦	つるぴかり	970	18
	きぬの波	220	4
	ゆめかおり(ダブル8号)	350	7
	さとのそら	3,750	71
	計	5,300	100
二条大麦	ミカモゴールデン	―	―
	サチホゴールデン	610	36
	アスカゴールデン	1,070	64
	計	1,680	100
六条大麦	シュンライ	490	100
	計	490	100
麦計		7,470	-

注)1.　数字は推計値であり、ラウンドにより合計が一致しない場合がある。
　　2.　農林水産統計（麦類の作付面積）と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。
　　3.　令和2年産より「ダブル8号」から「ゆめかおり」に品種転換した。

１４　検査数量上位品種の推移（全国）

（１）普通小麦

順位	4 年 産			5 年 産			6 年 産		
	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率
		t	%		t	%		t	%
1	きたほなみ	490,893	47.6	きたほなみ	542,844	49.1	きたほなみ	519,222	49.8
2	ゆめちから	102,557	9.9	ゆめちから	116,805	10.6	ゆめちから	127,894	12.3
3	シロガネコムギ	69,705	6.8	シロガネコムギ	63,428	5.7	さとのそら	57,050	5.5
4	チクゴイズミ	52,638	5.1	さとのそら	55,524	5.0	春よ恋	55,611	5.3
5	さとのそら	49,856	4.8	春よ恋	49,136	4.4	シロガネコムギ	50,070	4.8
6	春よ恋	45,573	4.4	チクゴイズミ	45,668	4.1	チクゴイズミ	28,940	2.8
7	きぬあかり	23,654	2.3	きぬあかり	29,670	2.7	きぬあかり	23,264	2.2
8	あやひかり	21,191	2.1	あやひかり	23,113	2.1	あやひかり	16,552	1.6
9	ミナミノカオリ	18,646	1.8	ミナミノカオリ	18,075	1.6	ミナミノカオリ	13,820	1.3
10	はるきらり	9,754	0.9	はるきらり	12,087	1.1	はるきらり	13,219	1.3
	上位10品種計	884,467	85.8	上位10品種計	956,350	86.5	上位10品種計	905,642	86.9
	全品種計	1,031,111	100.0	全品種計	1,105,702	100.0	全品種計	1,041,905	100.0

（２）普通大粒大麦（二条大麦）

順位	4 年 産			5 年 産			6 年 産		
	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率
		t	%		t	%		t	%
1	はるか二条	33,884	32.9	はるか二条	35,650	36.2	はるか二条	30,461	35.7
2	サチホゴールデン	25,589	24.8	サチホゴールデン	22,190	22.5	サチホゴールデン	14,953	17.5
3	はるしずく	8,604	8.3	はるしずく	9,002	9.1	はるしずく	6,035	7.1
4	ニシノホシ	6,258	6.1	ニシノホシ	4,891	5.0	ニューサチホゴールデン	6,033	7.1
5	ニューサチホゴールデン	4,249	4.1	ニューサチホゴールデン	4,726	4.8	ニシノホシ	3,020	3.5
	上位5品種計	78,584	76.2	上位5品種計	76,459	77.7	上位5品種計	60,502	70.8
	全品種計	103,100	100.0	全品種計	98,444	100.0	全品種計	85,399	100.0

（３）普通小粒大麦（六条大麦）

順位	4 年 産			5 年 産			6 年 産		
	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率	品種名	検査数量	比率
		t	%		t	%		t	%
1	ファイバースノウ	40,950	66.8	ファイバースノウ	39,410	63.3	ファイバースノウ	32,498	61.8
2	シュンライ	8,701	14.2	シュンライ	10,106	16.2	シュンライ	8,264	15.7
3	ホワイトファイバー	3,448	5.6	ホワイトファイバー	3,456	5.6	ホワイトファイバー	3,575	6.8
4	はねうまもち	2,401	3.9	カシマゴール	3,098	5.0	カシマゴール	2,657	5.1
5	カシマゴール	2,295	3.7	はねうまもち	1,835	2.9	はねうまもち	2,349	4.5
	上位5品種計	57,795	94.2	上位5品種計	57,906	93.1	上位5品種計	49,342	93.9
	全品種計	61,346	100.0	全品種計	62,213	100.0	全品種計	52,565	100.0

注）農林水産省資料による。各年産10月末現在の数値。

１５　令和６年産麦類検査等級比率

（１）　全国・群馬県の検査等級比率

区分 / 種類		全国				群馬			
		検査数量（t）	検査等級数量（t）（%）			検査数量（t）	検査等級数量（t）（%）		
			１等	２等	規格外（等外上）		１等	２等	規格外（等外上）
小麦		1,041,905	909,253（87.3）	62,284（6.0）	70,368（6.8）	23,882	20,997（87.9）	2,203（9.2）	682（2.9）
普通小粒大麦		52,565	33,616（64.0）	10,045（19.1）	8,904（16.9）	1,633	574（35.2）	843（51.6）	215（13.2）
普通大粒大麦		85,399	53,046（62.1）	10,958（12.8）	21,395（25.1）	1,231	140（11.3）	6（0.5）	1,085（88.2）
普通はだか麦		13,084	4,572（34.9）	6,562（50.2）	1,950（14.9）	－	－	－	－
ビール大麦		39,273	17（－）	37,256（94.9）	2,001（5.1）	5,384	－	5,138（95.4）	246（4.6）
種子用	小麦	4,800	4,800（合格）	－	－	11	11（合格）	－	－
	大麦	2,031	2,031（合格）	－	－	2	2（合格）	－	－
	はだか麦	99	99（合格）	－	－	－	－	－	－
	小計	6,930	6,930（合格）	－	－	14	14（合格）	－	－
合計		1,239,156	1,007,434	127,105	104,618	32,143	21,725	8,190	2,228

注）１．農林水産省資料による。検査数量等は、令和６年10月末現在である。
　　２．ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

（２）　群馬県内の主要品種の検査等級比率

区分 / 品種		令和６年産				令和５年産			
		検査数量（t）	検査等級数量（t）（%）			検査数量（t）	検査等級数量（t）（%）		
			１等	２等	規格外（等外上）		１等	２等	規格外（等外上）
小麦	さとのそら	16,794	15,428（91.9）	1,103（6.6）	263（1.6）	16,037	13,367（83.4）	2,329（14.5）	340（2.1）
	つるぴかり	4,309	3,996（92.7）	121（2.8）	192（4.4）	4,213	4,076（96.7）	45（1.1）	93（2.2）
	きぬの波	1,297	364（28.1）	918（70.8）	15（1.2）	960	165（17.1）	787（82.0）	8（0.9）
	ゆめかおり	1,130	1,058（93.7）	48（4.2）	24（2.1）	974	595（61.0）	356（36.6）	23（2.4）
普通小粒小麦	シュンライ	1,608	574（35.7）	840（52.3）	194（12.1）	1,696	981（57.9）	619（36.5）	95（5.6）
普通大粒小麦	サチホゴールデン	308	92（29.9）	6（2.0）	210（68.1）	355	81（22.8）	3（0.8）	271（76.3）

１．農林水産省資料による。検査数量等は、令和６年10月末現在である。
２．ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

１６　累年の県産麦類検査等級

年　産 構成比	種　　別	検査数 t	等級内訳（上段:t、下段:%） １　等	２　等	規 格 外	参　　考 全　国 検査数量	１　等
元	小麦	23,554 －	14,040 60%	8,758 37%	756 3%	1,071,475 －	955,813 89%
	小粒大麦	1,811 －	956 53%	663 37%	191 10%	53,927 －	39,127 73%
	大粒大麦	956 －	32 3%	33 4%	891 93%	93,927 －	77,054 82%
	ビール大麦	5,089 －	－ －	4,825 95%	264 5%	50,802 －	193 0%
	計	31,410 －	15,028 48%	14,279 45%	2,102 7%	1,270,131 －	1,072,187 84%
2	小麦	22,153 －	20,649 93%	1,009 5%	496 2%	988,650 －	874,497 88%
	小粒大麦	1,787 －	916 51%	769 43%	102 6%	54,814 －	40,828 74%
	大粒大麦	1,101 －	177 16%	4 0%	920 84%	96,220 －	79,706 83%
	ビール大麦	5,035 －	－ －	4,809 96%	226 4%	46,108 －	104 0%
	計	30,076 －	21,742 72%	6,591 22%	1,744 6%	1,185,792 －	995,135 84%
3	小麦	20,997 －	16,869 80%	3,607 17%	521 3%	1,146,473 －	964,745 84%
	小粒大麦	1,864 －	937 50%	810 43%	116 6%	53,694 －	33,854 63%
	大粒大麦	1,533 －	163 11%	19 1%	1,351 88%	103,886 －	82,852 80%
	ビール大麦	5,800 －	－ －	5,600 97%	200 3%	51,462 －	614 1%
	計	30,194 －	17,969 60%	10,036 33%	2,188 7%	1,355,515 －	1,082,065 80%
4	小麦	22,934 －	19,580 85%	2,653 12%	701 3%	1,053,031 －	877,270 83%
	小粒大麦	1,750 －	928 53%	717 41%	105 6%	62,329 －	47,856 77%
	大粒大麦	615 －	116 19%	14 2%	485 79%	104,163 －	81,828 79%
	ビール大麦	5,553 －	－ －	5,283 95%	270 5%	45,509 －	3 0%
	計	30,852 －	20,624 67%	8,667 28%	1,561 5%	1,265,032 －	1,006,957 80%
5	小麦	22,688 －	18,273 80%	3,792 17%	623 3%	1,140,161 －	976,394 86%
	小粒大麦	1,707 －	981 58%	622 36%	104 6%	63,075 －	44,680 71%
	大粒大麦	859 －	121 14%	3 0%	735 86%	100,206 －	76,527 76%
	ビール大麦	5,800 －	－ －	5,599 97%	201 3%	49,565 －	64 0%
	計	31,054 －	19,375 63%	10,016 32%	1,663 5%	1,353,007 －	1,097,665 81%
6	小麦	23,882 －	20,997 88%	2,203 9%	682 3%	1,041,905 －	909,253 87%
	小粒大麦	1,633 －	574 35%	843 52%	215 13%	52,565 －	33,616 64%
	大粒大麦	1,231 －	140 11%	6 1%	1,085 88%	85,399 －	53,046 62%
	ビール大麦	5,384 －	－ －	5,138 95%	246 5%	39,273 －	17 －
	計	32,130 －	21,711 68%	8,190 25%	2,228 7%	1,219,142 －	995,932 82%

注）農林水産省資料による。
　　令和６年産は令和６年10月末現在である。

１７　小麦の生産費（１０ａ当たり）

（１）群馬県（関東・東山平均値）

項目＼年産		２９	３０	元	２	３	４
種苗費		3,212	3,138	3,229	3,361	3,351	3,216
肥料費		6,838	6,618	7,038	7,161	6,662	6,834
農業薬剤費		1,911	2,375	2,242	2,367	2,381	2,387
光熱動力費		2,012	2,069	2,178	2,118	2,247	2,551
その他の諸材料費		7	3	2	11	9	16
土地改良及び水利費		472	940	819	672	570	572
賃借料及び料金		6,676	6,028	6,491	5,320	4,833	5,514
物件税及び公課諸負担		617	725	664	529	526	425
建物費		885	934	682	758	733	630
自動車及び農機具費		10,830	10,221	9,046	10,622	10,627	9,977
生産管理費		62	60	66	93	84	88
労働費		7,866	7,492	7,991	7,593	7,424	7,268
	家族労働費	7,308	6,869	7,781	6,874	6,730	6,316
	雇用労働費	558	623	210	719	494	952
費用合計		41,388	40,603	40,448	40,605	39,447	39,478
10アール当たり	物財費	33,552	33,111	32,667	33,731	32,717	32,210
	労働費	7,866	7,492	7,991	7,593	7,424	7,268
	費用合計	41,388	40,603	40,448	40,605	39,447	39,478
	副産物価額	120	134	160	145	144	256
	生産費	41,268	40,469	40,288	40,460	39,303	39,222
	支払利子	60	36	33	83	31	38
	支払地代	5,976	6,206	5,873	5,109	4,814	4,540
	支払利子・地代算入生産費	47,304	46,711	46,194	45,652	44,148	43,800
	自己資本利子	1,940	1,907	1,634	1,915	1,938	1,868
	自作地地代	1,103	1,201	973	970	1,022	893
	資本利子・地代全額算入生産費	50,347	49,819	48,801	48,537	47,108	46,561
10ａ当たり収穫量(kg)		393	370	370	355	363	363
10ａ当たり投下労働時間(時間)		5.08	4.62	4.76	4.55	4.59	4.49
１戸当たりの作付面積(ａ)		587	590	669	643	700	796

注）　農林水産省「麦類生産費調査」による。令和５年度の全国数値は速報値。
関東･東山平均の数
物材費：費用合計－労働費

（２）全国

項目＼年産		２９	３０	元	2	3	4	5
種苗費		3,084	3,237	3,210	3,474	3,650	3,664	3,492
肥料費		9,403	8,985	9,858	10,061	9,532	10,445	15,087
農業薬剤費		4,818	5,046	5,354	5,549	5,422	5,618	5,882
光熱動力費		1,908	2,008	2,219	1,988	2,204	2,565	2,673
その他の諸材料費		483	575	493	507	567	623	593
土地改良及び水利費		836	834	1,037	983	1,133	1,008	1,227
賃借料及び料金		15,657	13,868	16,078	15,646	16,449	15,747	15,873
物件税及び公課諸負担		1,363	1,306	1,447	1,351	1,322	1,318	1,423
建物費		1,138	956	1,116	1,087	1,077	1,223	1,173
自動車及び農機具費		9,926	10,125	10,901	11,850	12,105	12,666	12,626
生産管理費		300	302	352	315	318	274	285
労働費		6,015	5,866	6,332	6,281	5,959	5,935	5,826
	家族労働費	5,738	5,538	5,984	5,784	5,543	5,471	5,345
	雇用労働費	277	328	348	497	521	464	481
費用合計		54,931	53,108	58,397	59,092	59,738	61,086	66,160
10アール当たり	物財費	48,916	47,242	52,065	53,308	54,195	55,151	60,334
	労働費	6,015	5,866	6,332	6,281	5,959	5,935	5,826
	費用合計	54,931	53,108	58,397	59,092	59,738	61,086	66,160
	副産物価額	2,271	2,570	1,946	2,491	2,683	2,570	2,793
	生産費	52,660	50,538	56,451	56,601	57,055	58,516	63,367
	支払利子	239	191	212	212	222	203	184
	支払地代	2,697	2,588	2,455	2,419	2,584	2,664	2,598
	支払利子・地代算入生産費	55,596	53,317	59,118	59,232	59,861	61,383	66,149
	自己資本利子	1,688	1,591	1,668	1,785	1,846	1,938	1,985
	自作地地代	5,979	6,133	6,640	6,331	6,260	6,230	6,109
	資本利子・地代全額算入生産費	63,263	61,041	67,426	67,348	67,967	69,551	74,243
10ａ当たり収穫量(kg)		483	383	542	495	562	475	516
10ａ当たり投下労働時間(時間)		3.62	3.44	3.55	3.50	3.43	3.41	3.25
１戸当たりの作付面積(ａ)		748.9	783.1	798.9	813.3	865.4	879.0	926.7

Ⅲ　大豆「高品質大豆の安定生産の取組」

１　基本方針

（１）水田でのブロックローテーションや団地化の推進
（２）基本技術の励行による高品質な大豆生産の推進
（３）契約栽培による安定的な取引の拡大
（４）地産地消に対応した大豆生産の推進
（５）種子生産者の確保と生産体制の強化

２　大豆の生産目標

項　目 年　産	作付面積 （ｈａ）	収穫量 （ｔ）	普通大豆 検査数量 （ｔ）	検査等級 １・２等比率 （%）
令和５年産実績(確定)	２７６	２９０	１５６	５５．１
令和６年産実績	２７３	－	１０１	６２．４
令和７年産目標	３００	４５０	２７０	７０以上

注)令和６年産実績の検査数量及び検査等級比率は令和７年１月末現在（農林水産省）。

３　重点推進目標

(1) 水田でのブロックローテーションや団地化の推進
ア　主食用米を作付けしない水田や畑を対象に、国の補助事業を活用して計画的な作付を図るとともに、連作障害や湿害等を回避し高品質な大豆の生産を図るため、ブロックローテーションを推進する。
イ　生産組織等への集積と水系等を単位とした団地化を図る。
ウ　「麦－大豆作付体系」を推進し、農地の高度利用を図る。

(2) 基本技術の励行による高品質で安全な大豆生産の推進
ア　地域適応品種の栽培を作付する。
イ　明きょ設置やサブソイラ利用による湿害回避対策を講じる。
ウ　適期は種や適正施肥による収量向上を図る。
エ　適正な病害虫防除による収量・品質向上に努める。

(3) 契約栽培による安定的な取引の拡大
実需者との契約による栽培を推進し、大豆生産農家の経営安定を図る。

(4) 地産地消に対応した大豆生産の推進
県産大豆を使用した加工品等の高付加価値化や地産地消への取り組みを推進する。

(5) 種子生産者の確保と生産体制の強化
安定した大豆生産を推進するためには安定した種子供給が不可欠である。新規種子生産者を確保するとともに、生産体制の充実・強化を図る。

４　関連施策

・農業経営力向上事業（県単）
・経営所得安定対策（国庫）
・強い農業づくり総合支援交付金（国庫）
・産地生産基盤パワーアップ事業（国庫）
・麦・大豆生産技術向上事業（国庫）

5　群馬県大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年収量 kg	作況指数※	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑			t	田	畑
S25	7,250			110					8,000		
30	5,720			151					8,840		
35	4,030			138					5,560		
40	2,150			136					2,920		
45	1,250			127				95	1,590		
50	920	74	846	132	154	130	132	100	1,210	114	1,100
55	1,160	596	564	116	129	103	128	91	1,350	770	581
60	1,200	622	580	154	177	130	135	114	1,850	1,100	754
61	1,150	638	511	173	185	159	139	124	1,990	1,180	812
62	1,380	862	520	188	203	162	149	126	2,590	1,750	842
63	1,410	892	515	143	159	117	162	88	2,020	1,420	603
H1	1,370	865	502	184	199	159	168	110	2,520	1,720	797
2	1,300	790	510	150	159	135	168	89	1,950	1,260	690
3	1,150	679	472	97	95	101	168	58	1,120	646	476
4	930	505	425	162	167	156	168	96	1,510	843	664
5	810	412	398	135	142	128	168	80	1,090	586	509
6	600	221	379	139	157	129	168	83	834	346	488
7	619	247	372	162	174	153	155	105	1,000	429	571
8	669	298	371	164	177	154	150	109	1,100	526	573
9	684	316	368	169	177	163	150	113	1,160	558	598
10	653	338	315	148	160	135	152	97	966	540	426
11	603	340	263	152	157	146	155	98	917	533	384
12	568	335	233	163	172	150	155	105	926	576	350
13	544	326	218	155	162	145	158	98	843	527	316
14	523	313	210	158	170	140	159	99	826	532	294
15	517	306	211	156	168	139	158	99	807	514	293
16	520	308	212	175	195	146	158	111	910	600	310
17	510	303	207	163	177	143	157	104	832	536	296
18	473	275	198	181	203	150	159	114	855	558	297
19	439	254	185	176	－	－	163	108	773	－	－
20	407	224	183	160	－	－	167	96	650	－	－
21	404	218	186	174	－	－	166	105	703	－	－
22	378	202	176	124	－	－	170	73	469	－	－
23	353	183	170	122	－	－	170	72	431	－	－
24	357	193	164	173	－	－	159	109	618	－	－
25	346	184	162	148	－	－	161	92	512	－	－
26	322	164	158	138	－	－	156	88	444	－	－
27	323	168	155	109	－	－	149	73	352	－	－
28	301	154	147	125	－	－	141	89	376	－	－
29	316	171	145	112	－	－	131	85	354	－	－
30	303	157	146	127	－	－	129	98	385	－	－
R1	291	156	135	133	－	－	130	102	387	－	－
R2	275	141	134	144	－	－	127	111	388	－	－
R3	278	141	137	150	－	－	127	118	417	－	－
R4	287	140	147	145	－	－	128	113	416	－	－
R5	276	137	139	105	－	－	134	78	290	－	－
R6	273	153	120	－	－	－	－	－	－	－	－

注）　1. 農林水産統計「作物統計」による。作況指数は、H16からは10a当たり平均収量対比。
　　2. 平成17年からの平年収量は、10a当たり平均収量（原則として、直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）。
　　3. 令和6年産の作付面積以外の値は、令和6年2月末現在公表されていない。
　　4. 作況指数は平年収量対比

６　全国大豆生産の推移

年度	作付面積			10a当たり収量			平年	作況	収穫量		
	ha	田	畑	kg	田	畑	収量kg	指数※	t	田	畑
S25	413,100			108					446,900		
30	385,200			132					507,100		
35	306,900			136					417,600		
40	184,100			125				94	229,700		
45	95,500			132				100	126,000		
50	86,900	15,600	71,200	145	138	146	138	105	125,600	21,600	104,000
55	142,200	85,500	56,600	122	121	125	138	88	173,900	103,300	70,600
60	133,500	82,600	50,800	171	172	169	153	112	228,300	142,200	86,100
61	138,400	87,500	50,900	177	184	166	160	111	245,200	160,800	84,400
62	162,700	115,100	47,600	177	182	164	165	107	287,200	209,100	77,900
63	162,400	117,400	45,000	171	178	150	172	99	276,900	209,200	67,600
H1	151,600	109,900	41,800	179	182	172	176	102	217,700	200,100	71,700
2	145,900	105,000	40,900	151	144	168	178	85	220,400	151,600	68,700
3	140,800	97,600	43,200	140	135	152	182	77	197,300	131,700	65,500
4	109,900	73,400	36,500	171	177	160	178	96	188,100	129,900	58,300
5	87,400	55,100	32,300	115	121	105	175	66	100,600	66,600	34,000
6	60,900	31,400	29,500	162	160	164	171	95	98,800	50,200	48,500
7	68,600	39,400	29,200	173	175	171	173	100	119,000	69,000	49,900
8	61,800	53,000	28,800	180	188	167	173	104	147,600	99,400	48,200
9	83,200	53,800	29,400	174	171	180	175	99	144,600	91,900	52,800
10	109,100	80,100	29,000	145	141	156	178	81	158,000	112,900	45,200
11	108,200	81,300	26,900	173	166	194	178	97	187,200	135,100	52,100
12	122,500	97,200	25,300	192	189	201	177	108	235,000	184,100	50,800
13	143,900	119,400	24,600	188	190	177	180	103	270,600	227,300	43,600
14	149,900	125,900	24,000	180	181	177	178	101	270,200	227,600	42,500
15	151,900	129,000	22,900	152	153	149	181	84	231,600	197,500	34,200
16	136,800	114,800	22,000	121	112	169	178	68	165,400	128,200	37,200
17	134,000	110,500	23,500	168	162	195	170	99	225,000	180,700	45,800
18	142,100	117,700	24,500	161	154	196	177	91	229,200	181,300	47,900
19	138,300	117,600	20,700	164	－	－	169	97	226,700	－	－
20	147,100	126,300	20,800	178	－	－	163	109	262,100	－	－
21	145,400	124,800	20,600	156	－	－	164	95	227,000	－	－
22	137,700	119,000	18,700	162	－	－	162	100	222,800	－	－
23	136,700	117,200	19,500	161	－	－	166	97	219,900	－	－
24	131,100	111,500	19,600	175	－	－	171	102	229,100	－	－
25	128,800	108,900	19,900	154	－	－	171	91	199,900	－	－
26	131,600	110,800	20,800	176	－	－	169	104	231,800	－	－
27	142,000	117,700	24,300	171	－	－	172	99	242,400	－	－
28	150,000	120,300	29,800	157	－	－	173	91	235,500	－	－
29	150,200	120,800	29,400	166	－	－	166	100	248,600	－	－
30	146,600	118,400	28,300	145	－	－	167	87	212,900	－	－
R1	143,500	116,000	27,600	148	－	－	166	89	212,300	－	－
R2	141,700	114,200	27,500	154	－	－	161	96	218,900	－	－
R3	146,200	115,600	30,500	169	－	－	161	105	246,500	－	－
R4	151,600	120,700	30,900	160	－	－	160	100	242,800	－	－
R5	154,700	122,000	32,700	169	－	－	159	106	260,800	－	－
R6	154,100	119,600	34,500	－	－	－	－	－	－	－	－

7　市町村別作付面積、10当たり収量及び収穫量の推移（群馬）

単位　：　ha，kg，　t

項目 / 市町村	令和２年産			令和３年産			令和４年産			令和５年産		
	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量
前橋市	81	207	168	75	157	118	87	166	144	83	107	89
伊勢崎市	2	197	4	2	198	4	2	150	3	2	100	2
玉村町	22	159	35	22	205	45	22	205	45	23	152	35
渋川市	13	54	7	13	92	12	13	77	10	12	50	6
榛東村	1	134	1	1	143	1	1	109	1	1	71	1
吉岡町	1	132	1	1	142	1	1	109	1	1	71	1
中部計	120	180	216	114	159	181	126	162	204	122	110	134
高崎市	17	94	16	30	207	62	36	144	52	33	136	45
安中市	2	50	1	2	54	1	2	41	1	2	41	1
藤岡市	12	75	9	12	83	10	12	33	4	12	17	2
神流町	1	111	1	2	118	2	2	90	2	2	58	1
上野村	2	51	1	2	51	1	2	87	2	2	93	2
富岡市	8	50	4	8	75	6	8	63	5	8	50	4
下仁田町	2	117	2	2	125	3	2	95	2	1	61	1
南牧村	1	111	1	1	118	1	1	90	1	0	58	0
甘楽町	3	68	2	3	68	2	3	67	2	5	40	2
西部計	48	77	37	62	142	88	68	104	71	65	89	58
中之条町	13	114	15	13	138	18	11	155	17	12	117	14
長野原町	2	100	2	2	124	2	2	100	2	2	50	1
嬬恋村	9	111	10	8	138	11	6	150	9	6	100	6
草津町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高山村	2	135	3	2	150	3	2	150	3	2	100	2
東吾妻町	9	108	10	8	138	11	7	200	14	7	114	8
吾妻計	35	114	40	33	136	45	28	161	45	29	107	31
沼田市	9	110	10	9	156	14	8	150	12	7	114	8
片品村	15	133	20	14	171	24	12	175	21	11	127	14
川場村	2	90	2	2	113	2	2	100	2	2	50	1
昭和村	2	90	2	2	150	3	2	150	3	2	100	2
みなかみ町	13	103	13	13	131	17	14	143	20	14	100	14
利根沼田計	41	115	47	40	150	60	38	153	58	36	108	39
太田市	8	241	19	9	233	21	9	222	20	9	167	15
桐生市	1	154	2	1	143	1	1	134	1	1	115	1
みどり市	2	155	3	1	143	1	1	136	1	1	114	1
館林市	6	149	9	6	139	8	6	117	7	4	100	4
板倉町	8	97	8	6	77	5	4	75	3	4	50	2
明和町	3	133	4	3	123	4	3	116	3	3	103	3
千代田町	1	146	1	1	136	1	1	129	1	1	106	1
大泉町	1	131	1	1	121	1	1	115	1	0	101	0
邑楽町	1	113	1	1	104	1	1	100	1	1	91	1
東部計	31	155	48	29	148	43	27	141	38	24	117	28
県計	275	141	388	278	150	417	287	145	416	276	105	290

注）１.農林水産統計　「作物調査市町村別データ」による。
　　２.計と内訳はラウンドのため一致しない場合がある。
　　３.中部計・西部計等は計算値。

８　団地化に取り組んだ大豆生産集団の概要及び令和６年産大豆の概要

（１）団地化に取り組んだ大豆生産集団（及び法人）の概要

市町村	生　産　組　織　名	推定栽培面積　(ha)					
		R2	R3	R4	R5	R6	前年差
前橋市	農事組合法人笂井和	6.7	8.0	8.1	8.0	8.0	0.0
	農事組合法人荒口	1.0	1.1	1.2	1.2	0.9	-0.3
	農事組合法人女屋	3.8	3.7	3.5	3.5	2.5	-1.0
	農事組合法人月田	3.6	7.4	5.7	7.0	7.2	0.2
	農事組合法人深津	13.9	16.2	23.1	21.0	12.8	-8.2
	農事組合法人かすかわ中央	7.7	7.2	8.8	7.2	5.6	-1.6
	農事組合法人田面機械化組合	5.7	4.4	5.5	6.7	10.4	3.7
	農事組合法人中	4.4	2.1	3.4	2.8	2.1	-0.7
	株式会社上州農産	16.7	20.3	16.9	18.9	3.0	-15.9
	農業生産法人ミツミファーム	2.0	4.2	2.9	3.6	2.9	-0.7
	小計	65.5	74.6	79.1	79.9	55.4	-24.5
渋川市	行幸田大豆栽培組合	4.0	4.0	2.4	2.4		-2.4
玉村町	下之宮大豆転作組合	18.0	18.0	18.0	18.0	17.0	-1.0
高崎市	高崎市大豆生産組合	10.3	10.8	11.7	13.1	10.9	-2.2
富岡市、甘楽町	かぶら大豆生産者協議会（自然農法）				7.4		-7.4
中之条町	有限会社「たけやま」	3.5	4.2	5.6	6.0	4.4	-1.6
太田市	農事組合法人寺井	6.4	7.6	7.7	7.7	7.5	-0.2
計		107.7	119.2	124.5	134.5	95.2	-39.3

注)令和６年12月現在

（２）令和６年産大豆の概要

ア　播種期

・播種作業は平年並に順調に行われたが、一部で播種の遅れが見られた。

イ　初期生育

・出芽・初期生育は概ね順調だった。

ウ　開花期

・開花期は平年並みであった。
・高温の影響により莢の肥大がやや不良な地域があった。

エ　登熟期

・成熟期は平年よりやや早まった。
・９月上旬の降雨の影響から、一部ほ場では湿害で生育不良・枯死が発生した。
・青立ちやカメムシ類の発生が平年より多く、防除が不十分なほ場では被害が大きく、刈り取りを断念するほ場もあった。
・収量は、雑草が繁茂したほ場やカメムシ類の被害により、平年よりやや少なく、品質は、汚損粒が目立った。等級は３等、特定加工への振り分けなどが多く見られた。

９　品種別作付面積の推移

区分	品種名	令和２年産		令和３年産		令和４年産		令和５年産		令和６年産	
		面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%	面積ha	比率%
普通大豆	タチナガハ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	里のほほえみ	184	67%	215	77%	194	68%	196	71%	233	85%
	ハタユタカ	48	17%	25	9%	49	17%	30	11%	0	0%
	オオツル	13	5%	11	4%	15	5%	22	8%	13	5%
その他		30	11%	28	10%	29	10%	28	10%	27	10%
計		275	100%	278	100%	287	100%	276	100%	273	100%

注）作付面積は農林水産統計「作物統計」による。品種別作付比率は種子配布実績数量から推計。

１０　令和５、６年産大豆検査数量

（１）全国の検査等級比率（令和５年産）

区分 / 種類	全国						
	検査等級数量［ｔ、(%)］						
	検査数量	普通大豆				特定加工用検査数量	種子検査数量（合格）
		１等	２等	３等	規格外		
大粒大豆	105,851	27,192（ 25.7）	28,242（ 26.7）	49,435（ 46.7）	981（ 0.9）	47,868	1,394
中粒大豆	39,095	12,325（ 31.5）	11,184（ 28.6）	14,732（ 37.7）	855（ 2.2）	15,243	379
小粒大豆	19,846	3,746（ 18.9）	7,806（ 39.3）	7,704（ 38.8）	590（ 3.0）	10,055	12
極小粒大豆	782	127（ 16.3）	221（ 28.2）	431（ 55.1）	4（ 0.5）	299	8
合　計	165,574	43,390	47,453	72,302	2,429	73,464	1,793

注）検査数量等は、令和５年産確定値（農林水産省公表）である。（令和６年産検査結果は令和７年2月末現在公表されていない。）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

（２）群馬県の検査等級比率（令和６年産）

区分 / 種類	群馬県						
	検査等級数量［ｔ、(%)］						
	検査数量	普通大豆				特定加工用検査数量	種子検査数量（合格）
		１等	２等	３等	規格外		
大粒大豆	91	2（ 1.8）	59（ 64.1）	31（ 34.1）		24	
中粒大豆	5			4（ 88.6）	1（ 11.4）	3	
小粒大豆	3	2（ 62.4）		1（ 22.8）	0（ 14.9）	1	
極小粒大豆	1	1（ 100.0）					
合　計	100	4	59	36	1	28	

注）検査数量等は、令和７年１月末現在である。（米麦畜産課調べ）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量には産地品種銘柄以外の数量も含まれるため産地品種銘柄計と一致しない場合がある。

（３）群馬県の銘柄別検査等級比率（令和６年産）

区分 / 種類	普通大豆					特定加工用	
	検査数量(t)	等級比率(%)				検査数量(t)	合格(%)
		１等	２等	３等	規格外		
オオツル	0		100.0%			1	100
タチナガハ	2	67.2%		32.8%		0	100
ハタユタカ			63.8%	35.6%	0.6%		
里のほほえみ	91	41.6%	6.3%	45.8%	6.3%	26	99
合　計	93	42.1%	6.3%	45.5%	6.2%	27	99

注）検査数量等は、令和７年１月末現在である。（米麦畜産課調べ）
ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。
「0」は単位に満たないもの、斜線は事実がないものを示す。
検査数量合計に対する等級比率は推計値。

１１　種類別検査実績（群馬）

（単位:kg）

		１等	２等	３等	規格外	特定加工用	計
27年産	大粒大豆	540	27,150	74,250	－	33,300	135,240
	中粒大豆	30	480	7,740	－	5,430	13,680
	小粒大豆	－	2,040	1,350	－	900	4,290
	極小粒大豆	－	－	－	－	60	60
	計	570	29,670	83,340	0	39,690	153,270
28年産	大粒大豆	5,670	37,380	52,260	－	17,130	112,440
	中粒大豆	360	3,180	13,650	－	7,050	24,240
	小粒大豆	－	5,100	2,130	－	2,820	10,050
	極小粒大豆	－	1,080	750	－	90	1,920
	計	6,030	46,740	68,790	0	27,090	148,650
29年産	大粒大豆	480	6,600	21,750	9,300	106,770	144,900
	中粒大豆	－	360	1,290	810	14,100	16,560
	小粒大豆	－	－	5,370	30	2,070	7,470
	極小粒大豆	－	－	540	－	－	540
	計	480	6,960	28,950	10,140	122,940	169,470
30年産	大粒大豆	5,640	44,520	30,600	－	20,580	101,340
	中粒大豆	570	11,490	8,190	240	17,730	38,220
	小粒大豆	30	－	7,950	150	4,890	13,020
	極小粒大豆	－	－	780	－	30	810
	計	6,240	56,010	47,520	390	43,230	153,390
元年産	大粒大豆	14,550	31,470	92,130	1,020	37,590	176,760
	中粒大豆	240	30	1,620	270	11,580	13,740
	小粒大豆	－	－	30	－	7,230	7,260
	極小粒大豆	－	－	720	－	300	1,020
	計	14,790	31,500	94,500	1,290	56,700	198,780
2年産	大粒大豆	53,040	42,450	40,410	390	10,050	146,340
	中粒大豆	870	4,020	4,980	450	15,480	25,800
	小粒大豆	10,470	30	60	－	1,710	12,270
	極小粒大豆	7,680	510	－	－	－	8,190
	計	72,060	47,010	45,450	840	27,240	192,600
3年産	大粒大豆	5,250	87,630	94,560	－	14,670	202,110
	中粒大豆	1,110	5,640	8,190	－	5,220	20,160
	小粒大豆	30	120	3,330	－	1,200	4,680
	極小粒大豆	－	－	1,350	－	－	1,350
	計	6,390	93,390	107,430	0	21,090	228,300
4年産	大粒大豆	65,190	100,020	59,910	－	12,960	238,080
	中粒大豆	300	1,650	5,190	－	6,900	14,040
	小粒大豆	13,920	660	－	－	1,080	15,660
	極小粒大豆	2,610	－	－	－	－	2,610
	計	82,020	102,330	65,100	0	20,940	270,390
5年産	大粒大豆	840	70,980	58,980	－	7,620	138,420
	中粒大豆	330	1,140	7,140	780	23,100	32,490
	小粒大豆	8,520	－	3,690	90	3,690	15,990
	極小粒大豆	3,930	－	－	－	－	3,930
	計	13,620	72,120	69,810	870	34,410	190,830
6年産	大粒大豆	1,650	58,530	31,170	－	24,030	115,380
	中粒大豆	－	－	4,440	570	3,060	8,070
	小粒大豆	1,890	－	690	450	540	3,570
	極小粒大豆	720	－	－	－	－	720
	計	4,260	58,530	36,300	1,020	27,630	127,740

注）１．農林水産省資料による。
２．令和６年産については令和７年２月末現在公表がされていないため、米麦畜産課で把握している令和７年１月末現在のものである。
３．種子用は含まない。

１２　全国大豆作付面積及び収量・収穫量

全国農業地域・都道府県	Ｒ６年産	Ｒ５年産								
	作付面積	作付面積	10ａ当たり収量	収穫量	前年産との比較					
					作付面積		10ａ当たり収量	収穫量		
					対差	対比	対比	対差	対比
	ha	ha	kg	t	ha	%	%	t	%
全国	**154,100**	**154,700**	**169**	**260,800**	**3,100**	**102**	**106**	**18,000**	**107**
（全国農業地域）									
北海道	46,800	45,300	255	115,600	2,100	105	101	6,700	106
都府県	107,300	109,300	133	145,200	900	101	107	11,300	108
東北	37,800	38,200	127	48,600	400	101	104	2,300	105
北陸	12,300	12,600	134	16,900	200	102	99	200	101
関東・東山	10,100	10,500	117	12,300	400	104	74	△ 3,800	76
東海	12,100	12,400	104	12,900	100	101	97	△ 200	98
近畿	10,200	10,100	117	11,800	310	103	87	△ 1,300	90
中国	4,180	4,490	94	4,210	30	101	95	△ 200	95
四国	467	474	154	731	△ 66	88	115	9	101
九州	20,200	20,700	182	37,700	△ 300	99	161	14,000	159
沖縄	x	x	x	x	x	x	x	x	x
（都道府県）									
北海道	46,800	45,300	255	115,600	2,100	105	101	6,700	106
青森	5,640	5,530	173	9,570	140	103	211	5,150	217
岩手	4,830	4,980	91	4,530	140	103	75	△ 1,330	77
宮城	11,600	11,700	166	19,400	△ 200	98	125	3,600	123
秋田	9,260	9,530	73	6,960	110	101	60	△ 4,540	61
山形	4,900	4,940	134	6,620	30	101	96	△ 250	96
福島	1,490	1,520	97	1,470	110	108	75	△ 360	80
茨城	3,300	3,430	118	4,050	50	101	75	△ 1,290	76
栃木	2,630	2,630	135	3,550	120	105	72	△ 1,140	76
群馬	273	276	105	290	△ 11	96	72	△ 126	70
埼玉	667	739	66	488	82	112	80	△ 57	90
千葉	821	883	94	830	3	100	76	△ 250	77
東京	4	5	126	6	1	125	84	0	100
神奈川	37	37	116	43	△ 2	95	81	△ 13	77
新潟	4,230	4,280	166	7,100	80	102	98	0	100
富山	4,550	4,660	119	5,550	150	103	96	△ 40	99
石川	1,650	1,720	112	1,930	△ 70	96	122	280	117
福井	1,850	1,940	117	2,270	70	104	94	△ 50	98
山梨	203	212	101	214	△ 3	99	84	△ 44	83
長野	2,220	2,260	127	2,870	100	105	75	△ 800	78
岐阜	3,050	3,130	122	3,820	90	103	106	320	109
静岡	184	206	67	138	3	101	93	△ 8	95
愛知	4,220	4,360	118	5,140	△ 130	97	87	△ 920	85
三重	4,610	4,680	82	3,840	150	103	111	490	115
滋賀	7,350	7,280	136	9,900	380	106	89	△ 700	93
京都	325	320	55	176	△ 19	94	64	△ 116	60
大阪	13	15	73	11	△ 2	88	103	△ 1	92
兵庫	2,380	2,370	69	1,640	△ 10	100	81	△ 380	81
奈良	110	117	88	103	△ 8	94	94	△ 15	87
和歌山	24	23	78	18	△ 3	88	89	△ 5	78
鳥取	668	720	106	763	12	102	91	△ 58	93
島根	754	807	126	1,020	3	100	99	0	100
岡山	1,470	1,600	51	816	10	101	65	△ 444	65
広島	403	400	104	416	0	100	107	28	107
山口	877	968	123	1,190	13	101	128	273	130
徳島	11	14	36	5	△ 1	93	45	△ 7	42
香川	46	52	96	50	△ 19	73	104	△ 15	77
愛媛	347	342	187	640	△ 36	90	115	28	105
高知	63	66	55	36	△ 10	87	128	3	109
福岡	8,040	8,090	185	15,000	△ 70	99	154	5,210	153
佐賀	7,270	7,360	211	15,500	△ 270	96	180	6,570	174
長崎	337	348	123	428	△ 28	93	205	202	189
熊本	2,600	2,730	166	4,530	70	103	150	1,580	154
大分	1,340	1,520	103	1,570	△ 40	97	123	260	120
宮崎	234	228	78	178	△ 16	93	252	102	234
鹿児島	360	389	129	502	3	101	133	128	134
沖縄	x	x	x	x	x	x	x	x	x

注）農林水産統計「作物統計」による。（令和６年産の10a当たり収量及び収穫量は令和７年２月末現在公表されていない。）

１３　大豆の生産費（１０a当たり）

項目＼年産	2		3		4		5
	全　国	関東・東山	全国	関東・東山	全　国	関東・東山	全　国
種苗費	3,896	3,898	3,945	3,454	4,081	3,935	4,241
肥料費	6,243	5,593	5,800	6,224	6,365	5,903	9,255
農業薬剤費	6,506	4,233	6,424	4,015	6,367	4,892	7,228
光熱動力費	2,207	1,756	2,582	1,747	2,946	2,256	2,920
その他の諸材料費	231	3	221	1	312	2	277
土地改良及び水利費	1,547	796	1,352	623	1,341	570	1,328
賃借料及び料金	8,525	3,186	8,611	3,622	8,633	3,293	9,292
物件税及び公課諸負担	1,123	489	1,204	416	1,147	466	1,201
建物費	1,183	940	1,151	1,089	1,078	845	1,102
自動車費及び農機具費	12,902	9,256	12,583	8,551	13,984	8,764	13,002
生産管理費	319	70	314	111	313	117	328
労働費	10,906	9,524	10,179	9,565	9,530	10,508	10,067
直接労働費	10,422	9,296	9,612	9,328	9,034	10,210	9,574
間接労働費	484	228	567	237	496	298	493
費用合計	55,588	39,744	54,184	39,418	56,097	41,551	60,241
10アール当たり 物財費	44,682	30,220	44,005	29,853	46,567	31,043	50,174
10アール当たり 労働費	10,906	9,524	10,179	9,565	9,530	10,508	10,067
10アール当たり 費用合計	55,588	39,744	54,184	39,418	56,097	41,551	60,241
10アール当たり 副産物価額	462	86	199	99	272	41	560
10アール当たり 生産費	55,126	39,658	53,985	39,319	55,825	41,510	59,681
10アール当たり 支払利子	309	4	205	14	221	36	203
10アール当たり 支払地代	4,150	8,123	3,961	6,556	3,745	4,914	3,817
10アール当たり 支払利子・地代算入生産費	59,585	47,785	58,151	45,889	59,791	46,460	63,701
10アール当たり 自己資本利子	1,739	2,132	1,783	1,738	2,104	1,747	2,120
10アール当たり 自作地地代	5,871	1,050	5,671	1,091	5,425	1,132	5,252
10アール当たり 資本利子・地代全額算入生産費	67,195	50,967	65,605	48,718	67,320	49,339	71,073
10ａ当たり収穫量(kg)	154	126	169	129	160	159	169
10ａ当たり投下労働時間(時間)	6.4	5.8	6.1	5.9	5.6	6.2	5.8
1経営体当たりの作付面積(ａ)	416	500	448	567	502	664	477

注）10aあたり収穫量(kg)は農林水産省「作物統計」、それ以外は農林水産省「大豆生産費調査」による。
　　物材費＝費用合計－労働費

参考資料

資料１　そばに関する資料

１　群馬県そば生産の推移

年度	作付面積 ha	10ａ当たり収量 kg	収穫量 t	（参　考）全国		
				作付面積　ha	10ａ当たり平均収量 kg	収穫量 t
S33	883	84	740	47,900	90	43,000
34	774	79	610	46,700	96	44,900
35	774	97	750	47,300	110	52,200
36	754	96	720	43,500	98	42,800
37	655	92	600	39,500	94	37,200
38	625	98	610	37,500	108	40,500
39	610	100	610	34,700	78	27,100
40	499	91	454	31,300	96	30,100
41	357	87	311	28,100	99	27,700
42	359	96	345	25,100	110	27,500
43	341	97	331	23,800	93	22,100
44	275	85	234	20,500	107	21,900
45	254	95	241	18,500	93	17,200
55	184	76	140	24,200	67	16,100
58	193	92	178	21,100	82	17,200
61	181	96	174	19,600	94	18,400
H1	201	100	201	25,900	79	20,500
4	222	105	233	24,200	90	21,700
7	225	96	216	22,600	93	21,100
10	281	60	169	34,400	52	17,900
13	313	94	294	41,800	65	26,000
14	343	…	…	41,400	65	25,400
15	377	…	…	43,500	65	26,800
16	394	…	…	43,500	49	20,400
17	400	…	…	44,700	73	31,200
18	368	…	…	44,800	77	33,000
19	357	…	…	46,100	68	26,300
20	344	…	…	47,300	58	23,200
21	338	…	…	45,400	40	15,300
22	356	106	377	47,700	62	29,700
23	389	78	303	56,400	57	32,000
24	431	91	392	61,000	73	44,600
25	445	65	289	61,400	54	33,400
26	448	92	412	59,900	52	31,100
27	467	95	444	58,200	60	34,800
28	485	85	412	60,600	48	28,800
29	518	88	456	62,900	55	34,400
30	558	89	497	63,900	45	29,000
R1	587	93	546	65,400	65	42,600
R2	587	83	487	66,600	67	44,800
R3	585	69	404	65,500	62	40,900
R4	582	80	466	65,600	61	40,000
R5	593	85	504	67,100	53	35,600

注）農林水産統計「作物統計」による。
※令和６年産については、令和７年３月現在公表されていない。

2　令和５年産そば（乾燥子実）の収穫量（全国農業地域別・都道府県別）

全国農業地域・都道府県	作付面積	10ａ当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	前年産との比較 作付面積 対比	前年産との比較 10ａ当たり収量 対比	前年産との比較 収穫量 対差	前年産との比較 収穫量 対比	（参考）10ａ当たり平均収量対比	（参考）10ａ当たり平均収量
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	**67,100**	**53**	**35,600**	**1,500**	**102**	**87**	**△ 4,400**	**89**	**91**	**58**
（全国農業地域）										
北海道	24,900	55	13,700	900	104	72	△ 4,600	75	77	71
都府県	42,300	52	21,900	700	102	100	200	101	104	50
東北	18,100	34	6,130	200	101	83	△ 1,120	85	79	43
北陸	5,770	49	2,840	150	103	163	1,140	167	136	36
関東・東山	12,700	73	9,260	400	103	90	△ 660	93	107	68
東海	526	45	235	8	102	115	32	116	115	39
近畿	x	61	x	x	x	127	x	x	130	47
中国	1,550	41	642	△ 10	99	117	103	119	132	31
四国	101	67	68	△ 10	91	160	21	145	172	39
九州	2,620	81	2,130	30	101	133	550	135	147	55
沖縄	21	86	18	△ 18	54	232	4	129	148	58
（都道府県）										
北海道	24,900	55	13,700	900	104	72	△ 4,600	75	77	71
青森	1,780	35	623	30	102	130	150	132	92	38
岩手	1,680	46	773	50	103	90	△ 58	93	72	64
宮城	632	25	158	3	100	83	△ 31	84	104	24
秋田	4,440	22	977	△ 10	100	76	△ 313	76	56	39
山形	5,760	39	2,250	190	103	93	△ 90	96	98	40
福島	3,760	36	1,350	△ 110	97	65	△ 780	63	71	51
茨城	3,590	85	3,050	140	104	98	50	102	131	65
栃木	3,450	65	2,240	170	105	77	△ 520	81	84	77
群馬	**593**	**85**	**504**	**11**	**102**	**106**	**38**	**108**	**100**	**85**
埼玉	279	90	251	0	100	107	17	107	150	60
千葉	205	55	113	6	103	81	△ 22	84	112	49
東京	3	69	2	0	100	101	0	100	141	49
神奈川	33	51	17	1	103	128	4	131	128	40
新潟	1,290	35	452	40	103	88	△ 48	90	90	39
富山	594	58	345	47	109	161	148	175	138	42
石川	379	30	114	6	102	167	47	170	130	23
福井	3,510	55	1,930	60	102	204	998	207	157	35
山梨	186	67	125	7	104	99	3	102	118	57
長野	4,360	68	2,960	50	101	92	△ 230	93	110	62
岐阜	356	45	160	15	104	132	44	138	122	37
静岡	64	48	31	△ 27	70	87	△ 19	62	117	41
愛知	20	35	7	△ 2	91	100	△ 1	88	125	28
三重	86	43	37	22	134	96	8	128	90	48
滋賀	544	71	386	△ 17	97	129	77	125	125	57
京都	153	53	81	12	109	166	36	180	166	32
大阪	x	78	x	x	x	115	x	x	195	40
兵庫	188	43	81	△ 8	96	108	3	104	134	32
奈良	24	45	11	△ 3	89	96	△ 2	85	118	38
和歌山	3	23	1	0	100	82	0	100	110	21
鳥取	368	39	144	1	100	118	23	119	122	32
島根	628	36	226	△ 13	98	116	27	114	124	29
岡山	175	50	88	1	101	106	6	107	128	39
広島	315	51	161	1	100	131	39	132	165	31
山口	62	37	23	△ 2	97	161	8	153	137	27
徳島	40	42	17	△ 2	95	98	△ 1	94	105	40
香川	26	70	18	△ 7	79	167	4	129	206	34
愛媛	31	99	31	△ 1	97	225	17	221	230	43
高知	4	43	2	0	100	205	1	200	154	28
福岡	97	64	62	8	109	142	22	155	149	43
佐賀	42	79	33	7	120	89	2	106	136	58
長崎	146	101	147	△ 5	97	136	35	131	224	45
熊本	646	99	640	△ 26	96	157	217	151	146	68
大分	199	50	100	△ 2	99	167	40	167	128	39
宮崎	243	87	211	△ 3	99	140	58	138	161	54
鹿児島	1,250	75	938	50	104	119	182	124	142	53
沖縄	21	86	18	△ 18	54	232	4	129	148	58
関東農政局	12,800	73	9,290	400	103	91	△ 680	93	109	67
東海農政局	462	44	204	35	108	122	51	133	113	39
中国四国農政局	1,650	43	710	△ 20	99	123	124	121	134	32

注：１　「（参考）10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率である。

２　全国農業地域別（都府県を除く。）の10ａ当たり平均収量は、各都府県の10ａ当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を全国農業地域別に積上げ、当年産の全国農業地域別作付面積で除して算出している。

３ 令和5年産そば市町村別作付面積及び収穫量

市町村名	作付面積（ha）	10a当たり収量　　(kg)			収穫量（t）
			田	畑	
前橋市	64	56	47	60	36
高崎市	18	72	60	77	13
桐生市	x	x	－	x	x
伊勢崎市	x	x	－	x	x
太田市	8	150	87	150	12
沼田市	23	96	－	96	22
館林市	x	x	x	－	x
渋川市	242	87	75	88	211
藤岡市	1	55	54	55	1
富岡市	1	70	－	70	1
安中市	13	77	71	77	10
みどり市	3	100	－	100	3
榛東村	14	100	100	100	14
吉岡町	x	x	－	x	x
上野村	0	56	－	56	0
神流町	0	65	－	65	0
下仁田町	0	56	－	56	0
南牧村	－	－	－	－	－
甘楽町	1	88	－	88	1
中之条町	38	58	50	60	22
長野原町	x	x	－	x	x
嬬恋村	－	－	－	－	－
草津町	－	－	－	－	－
高山村	31	61	x	62	19
東吾妻町	14	79	－	79	11
片品村	4	92	x	92	4
川場村	8	88	－	88	7
昭和村	10	120	－	120	12
みなかみ町	72	82	67	83	59
玉村町	x	x	x	－	x
板倉町	x	x	x	x	x
明和町	－	－	－	－	－
千代田町	－	－	－	－	－
大泉町	－	－	－	－	－
邑楽町	x	x	x	x	x
計	593	85	90	84	504

注）農林水産統計市町村別データ

４　ソバ栽培生育調査結果

農業技術センター稲麦研究センター

１ 供試系統

（春まき）H30～R3

品種名	育成地
キタワセソバ	北海道農業試験場

（秋まき）　R4～

品種名	育成地
信濃1号	長野県野菜花き試験場

２ 調査結果

作期	供試年次	播種期 月/日	発芽期 月/日	開花期 月/日	成熟期 月/日	生育日数 日	草丈 cm	主茎節数	第1分枝数 本	倒伏 0-5	病害 0-5	虫害 0-5	全重 kg/10a	子実重 kg/10a	屑実重 kg/10a	子実重歩合%	千粒重 g	容積重 g	検査等級
春まき	H30	4/4	4/13	5/9	6/6	63	77.3	7.2	3.8	0.0	0.0	0.0	176.4	64.8	16.6	80.3	32.5	489	規格外
	R1	3/27	4/17	5/11	6/14	79	71.6	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	304.2	66.7	14.1	82.2	21.0	300	規格外
	R2	4/8	4/16	5/18	6/15	68	98.7	6.8	3.1	0.0	0.0	0.0	185.8	33.6	12.2	73.5	20.5	329	規格外
	R3	4/28	5/5	5/31	6/28	61	98.0	6.3	1.8	0.0	0.0	0.0	265.9	17.1	23.9	41.6	10.9	192	規格外
平均		4/9	4/21	5/18	6/16	68	87.0	7.0	4.0	0.0	0.0	0.0	234.0	46.0	17.0	70.0	22.0	328	－
秋まき	R4	8/25	8/28	9/22	10/20	56	91.1	8.1	2.4	4.0	0.0	0.0	350.7	130.6	37.4	77.7	31.8	595	2等相当
	R5※	8/24	8/27	9/17	11/3	71	109.0	8.7	2.7	5.0	0.0	0.0	374.0	157.5	2.2	98.6	34.0	701	1等相当

耕種概要 栽植密度：畝幅60cm、播種量：0.6kg/a（※R5は0.7kg/a）　倒伏、病虫害：0(無)～5(甚) 6段階評価
施肥量：N 0.2 ,P0.3 ,K0.2(kg/a)　　収量及び千粒重：水分16.0%換算　　区制面積：15㎡ 2区制（R5は19.2㎡ 2区制）

資料２　ライスセンター、カントリーエレベーター、育苗センターの設置状況　（※所在地は設置年度によるもの）

１　ライスセンター（ＲＣ）設置状況

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要				処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	ばら出荷施設及び出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
									米	麦	乾籾	麦	
中部	前橋市 東大室町	荒砥東大室ＲＣ	前橋市農協 (荒砥農協)	(S53 年度) H12 年度	連続流下式	140t (35t ×4 基)	ﾌﾚｺﾝ	ヤンマー農機㈱	60	50	360	225	(第２次農業構造改善事業) 「群馬の水田農業」推進事業 ※処理能力欄「米は S53 当初計画値」、「麦は H13 麦大豆推進ｼｽﾃﾑ推進事業(県単)による増強時の計画値。
	前橋市 荒子町	荒砥ＲＣ	前橋市農協 (荒砥農協)	S58 年度 S59 年度 (S62 年度) Ｈ２年度	連続流下式	900t (200t ×2 基) (50t ×10 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	320	420	1,920	2,200	(新農業構造改善前期対策事業) (新農業構造改善後期対策事業) 農業農村活性化農業構造改善事業 ※処理能力欄は H13 麦大豆推進ｼｽﾃﾑ推進事業(県単)による増強時の計画値。
	前橋市 上佐鳥町	上川渕ＲＣ	前橋市農協 (上川渕農協)	(S49 年度) Ｈ５年度 〈H4 年度繰越〉	循環式	－	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	160	230	960	1,104	(第２次農業構造改善事業) 農業農村活性化農業構造改善事業
	前橋市 房丸町	南部ＲＣ	前橋市農協 （前橋南部農協）	S60 年度 S61 年度 S62 年度	連続流下式	500t (50t ×10 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	200	200	1,200	940	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 勝沢町	芳賀ＲＣ	前橋市農協 （前橋芳賀農協）	Ｈ３年度 Ｈ４年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	80	75	480	353	新農業構造改善後期対策事業
	前橋市 上泉町	桂萱ＲＣ	前橋市農協 (前橋桂萱農協)	S62 年度	連続流下式	300t (50t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	220	200	1,320	960	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市 上青梨子町	清里ＲＣ	前橋市農協 (清里農協)	S56 年度	循環式	－	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	20	20	149	105	第２次農業構造改善事業
	前橋市	元気ファーム 20 ＲＣ	農事組合法人 元気ファーム 20	H27 年度	循環式	－	ﾌﾚｺﾝ	ﾔﾝﾏｰｸﾞﾘｰﾝ ｼｽﾃﾑ株式会社	70	100	304	508	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	富士見村 小暮	富士見ＲＣ	前橋市農協 (富士見村農協)	S52 年度	連続流下式	60t (10t ×6 基)	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	60	60	337	260	高能率集団営農推進対策事業

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要				処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	ばら出荷施設及び出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
									米	麦	乾籾	麦	
	吉岡町下野田	北群渋川RC	北群渋川農協（吉岡町明治農協）	S56年度	循環式	ﾋﾞﾝ 150t（30t×5基）乾燥機 32t（16t×2基）	ﾌﾚｺﾝ 個袋	ヤンマー農機㈱	50	50	250	―	新農業構造改善前期対策事業
	伊勢崎市稲荷町	稲荷町水田作機械化組合ＲＣ	稲荷町水田作機械化組合	（S57年度）S59年度	循環式	―	ﾌﾚｺﾝ	大島農機㈱	30	45	165	247	（新地域農業生産総合振興対策事業）新地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市馬見塚町	三ツ橋農業機械化組合ＲＣ	三ツ橋農業機械化組合	（S52年度）S56年度	循環式	―	ﾌﾚｺﾝ	㈱山本製作所	50	70	275	385	（高能率集団営農推進対策事業）地域農業生産総合振興対策事業
	伊勢崎市上植木本町	北部ＲＣ	佐波伊勢崎農協（伊勢崎市農協）	（S59年度）（S60年度）H22年度	循環式	300t（50t×6基）	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	172	145	660	653	（新農業構造改善前期対策事業）産地収益力向上支援事業
	伊勢崎市柴町	なんぶＲＣ	佐波伊勢崎農協（伊勢崎市農協）	（S63年度）H13年度	連続流下式	500t（50t×10基）	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	180	300	1,080	1,440	（新農業構造改善後期対策事業）農業生産総合対策事業
	赤堀町西久保	麦バラ出荷施設	佐波伊勢崎農協（赤堀町農協）	H13年度	―	―	ﾌﾚｺﾝ	井関農機㈱	―	120	―	504	農業生産総合対策事業
	（佐）東村東小保方	あずまＲＣ	佐波伊勢崎農協	Ｈ７年度	循環式	400t（50t×8基）	ﾌﾚｺﾝ	ヤンマー農機㈱	90	90	432	432	地域農業基盤確立農業構造改善事業
	（佐）東村東小保方	東小保方ミニＲＣ	佐波伊勢崎農協（佐波東村農協）	S57年度	循環式	―	ﾌﾚｺﾝ（麦用）	井関農機㈱	19	27	68	100	新地域農業生産総合振興対策事業
	境町下渕名	さかいＲＣ	佐波伊勢崎農協（群馬境町農協）	S62年度	連続流下式	400t（50t×8基）	ﾌﾚｺﾝ	ヤンマー農機㈱	100	100	480	460	新農業構造改善後期対策事業
	中部農業事務所管内計　（１８施設）注6								2,081	2,382	11,633	11,511	

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要				処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	ばら出荷施設及び出荷形態	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
									米	麦	乾籾	麦	
西部	高崎市浜川町	北部ＲＣ	高崎市農協	S56年度	連続流下式	300t（50t×6基）	フレコン	ヤンマー農機㈱	100	100	600	480	第２次農業構造改善事業
	高崎市山名町	南部ＲＣ	高崎市農協	H３年度	連続流下式	300t（50t×6基）	フレコン	ヤンマー農機㈱	70	70	420	384	農業生産体質強化総合推進対策事業
	高崎市大八木町	中川ＲＣ	高崎市農協（高崎市中川農協）	(S54年度) H13年度	連続流下式	320t（50t×6基）（20t×1基）	フレコン	井関農機㈱	60	100	360	480	(新農業構造改善前期対策事業) 麦･大豆生産システム推進事業
	群馬町保渡田	群馬ＲＣ	はぐくみ農協（群馬町農協）	S61年度	連続流下式	400t（50t×8基）	フレコン	ヤンマー農機㈱	100	100	595	480	新農業構造改善後期対策事業
	吉井町馬庭	吉井ＲＣ	多野藤岡農協（群馬吉井町農協）	S59年度	連続流下式	300t（50t×6基）	フレコン	㈱佐竹製作所	100	80	525	330	新地域農業生産総合振興対策事業
	西部農業事務所管内計（５施設）								430	450	2,500	2,154	
利根沼田	川場村	川場村ＲＣ	川場村	H26年度	循環式	－	フレコン	沼田土建㈱	65	－	505	－	強い農業づくり交付金 産地競争力強化対策事業
	利根沼田農業事務所管内計（１施設）								65	－	505	－	
東部	邑楽町狸塚	十三軒農業機械管理組合ミニＲＣ	十三軒農業機械管理組合	S60年度	循環式	14t（2.8t×5基）	フレコン	㈱山本製作所	40	40	255	198	新農業構造改善前期対策事業
	邑楽町藤川	高島ＲＣ	邑楽館林農協（西邑楽農協）	H元年度 H２年度	回分式	400t（50t×8基）	フレコン	金子農機㈱	150	120	900	690	新農業構造改善前期対策事業
	館林市青柳町	青柳穀物乾燥共同利用組合ＲＣ	青柳穀物乾燥共同利用組合	S60年度	循環式	16.8t（4.2t×4基）	フレコン	金子農機㈱	16	19	92	80	新地域農業生産総合振興対策事業
	東部農業事務所管内計（３施設）								206	179	1,247	968	
合計（２７施設）注6									2,782	3,011	15,885	14,633	

（注）１．全国米麦改良協会及び米麦畜産課資料による。
２．設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
３．処理能力欄は事業計画の目標数値である。
４．ばら出荷施設の対象品目は記載無き場合には「米麦用」である。
５．玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾籾処理数値に換算し、乾籾の処理能力欄に記載した。
６．赤堀町農協の麦バラ出荷施設はＲＣの施設数合計、処理能力合計には算入していない。

２　カントリーエレベーター（ＣＥ）設置状況

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要							処理能力				設置事業名
					乾燥方式	ＤＳ	貯蔵能力	貯蔵施設型	ばら出荷施設の出荷形態	食糧庁指定倉庫	プラント製造メーカ	面積(ha)		処理量(t)		
												米	麦	乾籾	麦	
中部	前橋市 小島田町	木瀬ＣＥ	前橋市農協 （木瀬農協）	S49 年度 S51 年度 (S59 年度) S63 年度	連続送り式	800t (50t ×16 基)	2,000t (250t ×8 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	320	380	1,600	1,824	第２次農業構造改善事業 新地域農業生産総合振興対策事業 農業生産体質強化総合推進対策事業
	宮城村 鼻毛石	宮城ＣＥ	前橋市農協 （宮城村農協）	Ｈ２年度 〈H 元年度繰越〉	連続流下式	500t (50t ×10 基)	1,800t (250t ×6 基) (300t ×1 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	300	180	1,350	756	農業生産体質強化総合推進対策事業
	玉村町 福島	玉村広域ＣＥ	佐波伊勢崎農協	H14 年度 〈H15 年度繰越〉	連続流下式	700t (50t ×14 基)	3,000t (300t ×10 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	井関農機（株）	469	722	3,097	3,721	生産振興総合対策 農業生産総合対策事業
	中部農業事務所管内計　（３施設）											1,089	1,282	6,047	6,301	
西部	高崎市 矢島町	東部ＣＥ	高崎市農協	S58 年度 S59 年度	連続送り式	600t (50t ×12 基)	2,500t (250t ×10 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	300	300	1,800	1,440	新農業構造改善前期対策事業
	高崎市 下滝町	東南部ＣＥ	高崎市農協	S61 年度	連続送り式	700t (50t ×14 基)	2,500t (250t ×10 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	313	300	1,800	1,440	新地域農業生産総合振興対策事業
	藤岡市 下栗須	北部ＣＥ	多野藤岡農協 （藤岡市農協連合会）	S62 年度	連続送り式	600t (50t ×12 基)	2,000t (250t ×8 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	250	200	1,415	1,195	農業生産体質強化総合推進対策事業
	藤岡市 矢場	南部ＣＥ	多野藤岡農協 （藤岡市農協連合会）	Ｈ３年度 〈H2 年度繰越〉	循環式	600t (50t ×12 基)	2,400t (300t ×8 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	330	380	1,195	1,415	農業生産体質強化総合推進対策事業
	安中市 東上磯部	JA 碓氷安中ＣＥ	碓氷安中農協	Ｈ４年度 Ｈ５年度	連続送り式	500t (50t ×10 基)	1,500t (250t ×6 基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	250	150	1,125	675	農業農村活性化 農業構造改善事業
	西部農業事務所管内計　（５施設）											1,443	1,330	7,335	6,165	

農業事務所名区分	所在地	施設名	事業主体（旧農協名）	設置年度	施設概要							処理能力				設置事業名
					乾燥方式	D S	貯蔵能力	貯蔵施設型	ばら出荷施設の出荷形態	食糧庁指定倉庫	プラント製造メーカー	面積(ha)		処理量(t)		
												米	麦	乾籾	麦	
東部	太田市強戸	北部ＣＥ	太田市農協（太田市中央農協）	(S60年度) H元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	340	300	1,500	900	新地域農業生産総合振興対策事業 農山村地域活性化緊急特別対策事業
	太田市福沢	南部ＣＥ	太田市農協	S63年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,500t (250t ×10基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	井関農機㈱	350	340	1,200	700	農業生産体質強化総合推進対策事業
	新田町金井	新田ＣＥ	新田みどり農協（新田町農協）	H元年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,940t (250t ×8基) (300t ×2基) (85t ×4基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	350	320	1,200	1,000	農業生産体質強化総合推進対策事業
	館林市当郷町	東部ＣＥ	邑楽館林農協（館林市農協）	H５年度	連続流下式	900t (50t ×18基)	3,000t (250t ×12基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	520	200	2,496	900	先進的農業生産総合推進対策事業
	明和町南大島	明和ＣＥ	邑楽館林農協（館林市農協）	S63年度 H元年度	連続流下式	720t (60t ×12基)	3,000t (250t ×12基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	250	200	1,250	900	新農業構造改善後期対策事業
	板倉町板倉	板倉ＣＥ	邑楽館林農協（群馬板倉農協）	H６年度	常温除湿	－	2,000t (50t ×55機)	角形ビン	フレコン純ハ゛ラ併用	○	ヤンマー農機㈱	330	50	3,874	288	地域連携確立農業構造改善事業
	千代田町上五箇	富永ＣＥ	邑楽館林農協（西邑楽農協）	S63年度 H元年度	連続流下式	500t (50t ×10基)	2,000t (250t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	250	265	1,360	1,485	農業農村活性化農業構造改善事業
	邑楽町篠塚	長柄ＣＥ	邑楽館林農協（西邑楽農協）	H２年度	連続流下式	700t (50t ×14基)	2,520t (315t ×8基)	二重鉄板製サイロ	フレコン純ハ゛ラ併用	○	㈱佐竹製作所	300	360	1,218	1,515	農業生産体質強化総合推進対策事業
	東部農業事務所管内計 （８施設）											2,690	2,035	14,098	7,688	
合計 （１６施設）												5,222	4,647	27,480	20,154	

（注）１，全国米麦改良協会及び米麦畜産課資料による。　２，設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。　３，処理能力欄は事業計画の目標数値である。
４，ばら出荷施設の対象品目は米麦用である。　５，玄米で計画した施設は「玄米処理数値÷0.8」により乾籾処理数値に換算し、乾籾の処理能力欄に記載した。

３　水稲共同育苗施設設置状況

農業事務所別区分	所在地	事業主体（旧農協名）	設置年度	プラント製造メーカー	受益面積（ha）	育苗能力（箱数）＜令和６年度実績＞	設置事業名
中部	前橋市荒子町	前橋市農協（荒砥農協）	(S56年度) H22年度	井関農機㈱	400	100,000 ＜80,531＞	新農業構造改善前期対策事業
	前橋市上泉町	前橋市農協（前橋桂萱農協）	S63年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜45,118＞	農業生産体質強化総合推進対策事業
	前橋市房丸町	前橋市農協（前橋南部農協）	H２年度	井関農機㈱	100	30,000 ＜40,185＞	新農業構造改善後期対策事業
	北橘村小室	赤城橘農協（北橘農協）	S60年度	久保田鉄工㈱	173	40,000 ＜30,707＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	富士見村時沢	前橋市農協（富士見村農協）	S50年度	久保田鉄工㈱	100	30,000 ＜34,645＞	高能率稲麦作団地育成対策事業
	大胡町河原浜	前橋市農協（大胡町農協）	(S60年度) H10年度	㈱クボタ	50	30,000 ＜25,887＞	（農村地域定住促進対策事業）自己資金により増強
	粕川村西田面	前橋市農協（粕川村農協）	S60年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜31,614＞	新農業構造改善前期対策事業
	吉岡町大久保	北群渋川農協	H９年度	㈱クボタ	352	81,000 ＜56,921＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	伊勢崎市稲荷町	稲荷町水田作機械化組合	H４年度	ヤンマー農機㈱	49	14,700 ＜4,000＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	境町下渕名	佐波伊勢崎農協（群馬境町農協）	H２年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜5,000＞	新農業構造改善前期対策事業
	玉村町福島	佐波伊勢崎農協（玉村町農協）	S51年度	井関農機㈱	200	60,000 ＜37,744＞	高能率集団営農推進対策事業
	中部農業事務所管内計（１１施設）				1,724	484,700 ＜392,352＞	
西部	高崎市矢中町	矢中町育苗組合	S53年度	井関農機㈱	21	8,800 ＜3,020＞	水稲共同育苗施設設置事業
	高崎市浜川町	高崎市農協	H５年度	ヤンマー農機㈱	200	66,000 ＜85,965＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	倉渕村川浦	はぐくみ農協（倉渕村農協）	H５年度	㈱クボタ	70	17,500 ＜17,715＞	先進的農業生産総合推進対策事業
	群馬町保渡田	はぐくみ農協（群馬町農協）	(S60年度) H12年度	ヤンマー農機㈱	216	63,600 ＜39,647＞	（新農業構造改善後期対策事業）農業生産総合対策事業
	藤岡市神田	多野藤岡農協（藤岡市農協）	S60年度	井関農機㈱	20	6,600 ＜5,044＞	水田利用再編特別対策事業
	藤岡市神田	多野藤岡農協（藤岡市農協）	H元年度	井関農機㈱	100	33,000 ＜25,221＞	農業生産体質強化総合推進対策事業

農業事務所別区分	所在地	事業主体 (旧農協名)	設置年度	プラント製造メーカー	受益面積 (ha)	育苗能力 (箱数) ＜令和６年度実績＞	設置事業名
西部	吉井町 馬庭	多野藤岡農協 (群馬吉井町農協)	S59 年度	井関農機㈱	80	26,400 ＜59,555＞	新地域農業生産総合振興対策事業
	富岡市 相野田	相野田育苗組合	S53 年度	久保田鉄工㈱	6	1,500 ＜1,250＞	地域農政特別対策事業
	安中市 原市	碓氷安中農協 (安中市農協)	(S53 年度) H２年度	三菱農機㈱	150	49,500 ＜21,826＞	(水稲共同育苗施設設置事業) 構造改善推進モデル集落整備事業
	西部農業事務所管内計（１０施設）				863	272,900 ＜259,243＞	
吾妻	中之条町 平	あがつま農協	H８年度	ヤンマー農機㈱	250	55,000 ＜63,407＞	地域連携確立農業構造改善事業
	吾妻農業事務所管内計（１施設）				250	55,000 ＜63,407＞	
利根沼田	沼田市 下沼田町	利根沼田農協	H５年度	㈱山本製作所	200	44,000 ＜53,582＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	新治村 羽場	利根沼田農協	H９年度	㈱クボタ	276	69,000 ＜75,819＞	農業生産体制強化総合推進対策事業
	利根沼田農業事務所管内計（２施設）				476	113,000 ＜129,401＞	
東部	新里村 武井	新田みどり農協 (ぐんま新里村農協)	H５年度	井関農機㈱	100	32,740 ＜23,886＞	新農業構造改善後期対策事業
	黒保根村 水沼	黒保根水稲栽培 協業組合	(S51 年度) H７年度	㈱クボタ	50	10,000 ＜11,886＞	(山村振興特別対策事業) 特定農山村地域活性化対策事業
	太田市 新野町	太田市農協	S56 年度	井関農機㈱	稚苗 100 中苗 100	60,000 ＜21,019＞	地域農業生産総合振興対策事業
	千代田町 上五箇	邑楽館林農協 (富永農協)	H３年度	㈱クボタ	100	25,000 ＜34,405＞	農業農村活性化農業構造改善事業
	東部農業総合事務所管内計（４施設）				450	127,740 ＜91,963＞	
合　計　（２８施設）					4,307	1,096,590	

(注) １，米麦畜産課資料による。
２，設置年度及び事業名欄の上段括弧書きは施設の増強等前のものである。
３，受益面積及び育苗能力は事業計画の目標数値である。

資料３　種子の生産状況及び品種情報について

１　令和６産種子生産実績

(1)水稲種子　　単位:20kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子・転用	(%)	
水稲うるち	コシヒカリ	3,800	3,760	98.9%	3,760	0	100.0%	
	ひとめぼれ	2,600	1,653	63.6%	1,653	0	100.0%	
	あさひの夢	8,000	7,927	99.1%	0	7,927	0.0%	
	ゆめまつり	1,000	1,000	100.0%	0	1,000	0.0%	
	いなほっこり	170	170	100.0%	0	170	0.0%	
水稲もち	群馬糯5号	600	600	100.0%	0	600	0.0%	
	まんぷくもち	0	0	0.0%	0	0	0.0%	
計		16,170	15,110	93.4%	5,413	9,697	35.8%	

(2)麦種子　　単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子	備考
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)	
小麦	さとのそら	8,660	8,910	102.9%	1,050	7,860	11.8%	
	つるぴかり	2,300	2,571	111.8%	329	2,242	12.8%	
	きぬの波	400	400	100.0%	400	0	100.0%	
	ゆめかおり	850	850	100.0%	250	600	29.4%	
	計	12,210	12,731	104.3%	2,029	10,702	15.9%	
二条大麦	ｻﾁﾎｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	1,200	1,200	100.0%	0	1,200	0.0%	
	ｱｽｶｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	1,900	1,902	100.1%	0	1,902	0.0%	
	計	3,100	3,102	100.1%	0	3,102	0.0%	
六条大麦	シュンライ	850	612	72.0%	92	520	15.0%	
	計	850	612	72.0%	92	520	15.0%	
合計		16,160	16,445	101.8%	2,121	14,324	12.9%	

(3)大豆種子　　単位:30kg袋

種類	品種	契約数量	生産実績	対比	生産実績内訳		合格種子
		A	B	B/A	合格種子	マル準種子	(%)
大豆	里のほほえみ	200	200	100.0%	0	200	0.0%

２　令和７年産種子生産計画

(1)水稲種子　　単位:袋/20kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
水稲うるち	コシヒカリ	2,001	3,200	64,000
	ひとめぼれ	1,500	2,400	48,000
	あさひの夢	3,783	6,050	121,000
	ゆめまつり	625	1,000	20,000
	いなほっこり	82	130	2,600
水稲もち	群馬糯5号	282	450	9,000
合計		8,273	13,230	264,600

(2)麦種子　　単位:小麦30kg袋、大麦25kg袋

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
小麦	さとのそら	8,900	8,900	267,000
	つるぴかり	2,500	2,500	75,000
	きぬの波	500	500	15,000
	ゆめかおり	850	850	25,500
	計	12,750	12,750	382,500
二条大麦	ｻﾁﾎｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	1,300	1,300	32,500
	ｱｽｶｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ	2,200	2,200	55,000
	計	3,500	3,500	87,500
六条大麦	シュンライ	700	700	17,500
	計	700	700	17,500
合計		16,950	16,950	487,500

(3)大豆種子　　単位:袋/30kg

種類	品種	採種計画		契約数量(kg)
		面積(a)	数量(袋)	
大豆	里のほほえみ	500	200	6,000

3　群馬県職務育成品種登録及び許諾契約状況

1　水稲

名　称	登録年月日	育成者権消滅日	登録(継続)期間	登録番号	許諾相手先	許諾状況
舞 風	2011/3/9	2036/3/9	2027/3/9	第20531号	群馬県米麦大豆振興協会	2024/4/1～2027/3/31

2　小麦

名　称	登録年月日	育成者権消滅日	登録(継続)期間	登録番号	許諾相手先	許諾状況
さとのそら	2010/10/13	2035/10/13	2027/10/13	第19991号	群馬県米麦大豆振興協会 (公社)茨城県農林振興公社 (公社)栃木県米麦改良協会 埼玉県米麦改良協会 (一社)岐阜県米麦改良協会	2024/4/1～2027/3/31

資料４　主要農作物奨励品種特性表

１　水陸稲奨励品種特性表

種類	栽培性	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 (令和5) ha	供試年次	区分	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の光沢・色沢	心白の多少	腹白の多少	玄米 千粒重 g	玄米 容積重 g/ﾘｯﾄﾙ	10a当り収量 精籾重 kg	10a当り収量 玄米重 kg	品質	食味	諸抵抗性 葉いもち	穂いもち	白葉枯	紋枯	ｲﾈｶﾗﾊﾞｴ	耐冷(寒)性	耐倒伏性	縞葉枯病	適地及び栽培上の注意
水稲 うるち	高冷地	極早	ユメコガネ	ゆきひかり ×ハツコガネ 青森県農試藤坂支場 平 6 年	平7	―	平15－19	早期	4・19	5・20	7・29	9・14	74	18.5	536	少・短	黄白	偏重	やや難	難	中飴・中	微	微	21.1	839	962	754	上の下	中の上	中	中	―	―	―	極強	やや強	―	標高800m以上の高冷地帯に適する。 耐冷性は“極強”であるが、不順な天候下では水管理などで適切な対応を行う。
		早早	ふゆげしき	山形40号 ×青系113号 青森県農試 平 14 年	平15	―	平15－19	早期	4・20	5・20	8・5	9・23	76	17.6	535	中・短	黄白	偏重	難	難	中飴・中	微	微	20.6	829	1,000	769	上の下	上の中	やや強	やや強	―	―	―	極強	強	―	標高700～850mの高冷地帯に適する。 耐冷性は“極強”であるが、不順な天候下では水管理などで適切な対応を行う。
	山間地	中早	ひとめぼれ	コシヒカリ ×初星 宮城県古川農試 平 3 年	平3	1,730	平14－18	早期	4・20	5・20	8・6	9・19	78	18.6	477	やや少・短	黄白	偏数	難	難	淡飴・中	少	無	22.0	836	752	571	上の下	上の上	やや弱	中	中－弱	やや弱	―	極強	やや強	やや弱	標高200～700mの地帯に適する。 平坦地帯では６月上旬までに移植可能なところとする。平坦・中間地帯では稈が伸び倒れやすいので基肥量を控え、追肥（穂肥等）で調節する。
							平18－22	早植	5・12	6・2	8・8	9・16	82	18.9	368									22.6	860	636	491											
	山間地	中早	コシヒカリ	農林22号 ×農林1号 福井県農試 昭 31 年	昭48	3,260	平14－18	早期	4・20	5・20	8・12	9・22	91	18.3	441	無	黄白	中間	難	難	中飴・中	無	無	21.6	831	856	645	上の下	上の上	中	中	強	中	―	強	弱	やや弱	標高200～500mの中・山間地帯並びに平坦部では５月末日までに移植ができる地帯に適する。 平坦地での栽培では稈が伸びて倒伏し易いので施肥量等に十分注意し、倒伏防止、品質向上に努める。いもち病、縞葉枯病には弱いので多発地帯では栽培を避けるか、防除に努める。
							令2-6	早植	5・12	6・2	8・7	9・12	94	19.7	337									22.1	848	666	502											
	平坦地	中晩	〔認定〕 にじのきらめき	西南136号 （なつほのか） ×北陸223号 中日本農業研究ｾﾝﾀｰ 平成30年	令3	550	令2-6	早植	5・12	6・2	8・8	9・19	75	20.2	356	極小・短	白	偏数	難	難	淡飴・良	無	稀	23.6	844	694	529	中の上	上の中	中	やや強	やや弱	―	―	弱	強	極強	標高200m以下の平坦地帯に適する。移植が遅い場合や、低温寡照等の気象条件によっては成熟期が遅延し、外観品質が劣る傾向にある。 耐倒伏性は強いが、食味の低下も懸念されるため、地力に応じた適切な肥培管理を行う。
							令1-5	普通期	5・26	6・24	8・20	10・8	74	20.0	371									24.3	861	837	646											
		中晩	〔認定〕 いなほっこり	中国186号 ×中国190号 西日本農業研究ｾﾝﾀｰ 平 29 年	平29	50	令1-5	早植	5・11	6・1	8・11	9・23	84	19.1	375	稀・極短	黄白	中間	やや難	難	中飴・良	無	稀	21.9	853	658	493	上の中	上の中	強	やや強	やや強	中	―	やや強	やや強	極強	標高200m以下の平坦地帯に適する。移植が遅い場合や、低温寡照等の気象条件によっては成熟期が遅延し、外観品質が劣る傾向にある。 また、「あさひの夢」より長稈なため、倒伏の危険性を高めるので基肥の多用と早期追肥を避ける。
							令2-6	普通期	5・25	6・24	8・22	10・8	85	19.8	327									23.1	859	810	610											
	平坦地	中晩	あさひの夢	愛知70号（あいちのかおり）×『愛知56号（月の光）×愛知65号』F1 愛知県農総試 平 8 年	平12	5,740	令2－6	早植	5・12	6・2	8・17	9・26	75	21.0	340	稀・短	黄白	偏重	やや難	難	淡飴・良	無	稀	22.7	858	639	494	上の中	上の中	やや強	強	中	強	―	弱	強	極強	標高100m以下の平坦地帯に適する。 熟期は「中生の晩」なので収量、品質を確保するために中苗の移植は6月25日までを目安とする。強稈で倒伏しにくいが、良質、良食味生産のために多肥栽培は避ける。 ※晩植(7月5日植)のデータは参考値
								普通期	5・25	6・24	8・28	10・12	78	21.2	331									23.4	860	738	569											
								晩植	6・7	7・6	9・1	10・18	73	21.5	379									22.6	868	733	541											
	担地	中晩	ゆめまつり	愛知93号（あさひの夢）×愛知96号（大地の風） 愛知県農総試 平 19 年	平22	1,230	令1－5	早植	5・11	6・1	8・18	10・2	75	21.0	352	稀・極短	黄白	偏重	極難～難	難	淡飴・良	無	稀	22.6	856	668	511	上の中	上の中	やや強	強	中	強	―	―	強	極強	標高100m以下の平坦地帯に適する。 安定的な収量を得るため中苗の移植は6月25日までを目安とする。ツマグロヨコバイ、セジロウンカに抵抗性を持つが、発生予察情報に留意して、適切な防除に努める。 ※晩植(7月5日植)のデータは参考値
								普通期	5・26	6・24	8・29	10・15	79	21.2	365									23.4	861	777	596											
								晩植	6・7	7・6	9・2	10・21	74	20.9	397									22.6	863	808	595											
新形質米		中晩	〔認定〕 はいほう	朝の光×奥羽359号（恋あずさ） 群馬県農技セ 平 22 年	平23	―	平22－24	普通期	5・25	6・25	8・26	10・9	87	20.5	383	稀・短	黄白	中間	中	難	中飴・良	無	微	20.9	815	775	560	―	―	強	―	―	―	―	―	中	弱	標高200m以下の平坦地帯に適する。 縞葉枯病に弱いので常発地は避けるか、防除に努める。巨大胚米であり、用途が限定されるので契約栽培とする。

種類	栽培性	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 (令和5) ha	供試年次	区分	播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	芒の多少・長短	ふ先色	草型	穂発芽性	脱粒性	玄米の光沢・色沢	心白の多少	腹白の多少	玄米 千粒重 g	玄米 容積重 g/ﾘｯﾄﾙ	10a当り収量 精籾重 kg	10a当り収量 玄米重 kg	品質	食味	諸抵抗性 葉いもち	穂いもち	白葉枯	紋枯	ｲﾈｶﾗﾊﾞｴ	耐冷(寒)性	耐倒伏性	縞葉枯病	適地及び栽培上の注意
水稲 酒造好適米	中山間地	中早	〔認定〕五百万石	菊水×新200号 新潟県農試 昭32年	平7	—	平14—18	早期	4・20	5・20	8・1	9・14	79	19.1	330	無	淡黄	偏重	難	難	淡飴・良	多	無	22.9	823	585	439	上の下	—	中	やや弱	弱	やや弱	—	弱	やや弱	弱	標高350～600mの中・山間地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。障害型冷害に弱いので、冷夏では水管理等による適切な対応が不可欠である。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので避ける。
	平担地	中晩	〔認定〕若水	あ系酒101 ×五百万石 愛知県農総試 昭38年	平元	—	平22—26	普通期	5・25	6・25	8・25	10・10	84	20.5	354	少・中	黄白	偏重	難	難	淡飴・良	多	少	25.2	840	715	529	上の下	—	中	やや弱—中	やや弱	やや弱	—	極弱	やや弱	やや弱	標高200m以下の平坦地帯に適する。 縞葉枯病に弱いので常発地は避けるか、防除に努める。酒米なので契約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので避ける。
			〔認定〕舞風	群馬酒23号（ｻｶﾋﾞｶﾘ） ×佐賀酒12号 （さがの華） 群馬県農技セ 平20年	平21	—	平22—26	普通期	5・25	6・25	8・24	10・11	82	22.5	338	少・中	黄白	偏重	やや難	難	淡飴・良	多	少	24	835	779	587	上の下	—	中	強	—	—	—	—	やや弱	極強	標高200m以下の平坦地帯に適する。 酒米なので契約栽培とする。晩期追肥は蛋白質含量を高め、醸造適性を低下させるので避ける。
水稲 もち	高冷地	早早	〔認定〕タツミモチ	いもちしらず ×ふ系35号 青森県農試藤坂支場 昭40年	昭59	—	平15—18	早期	4・19	5・20	8・2	9・18	83	17.5	526	無	褐	中間	やや易	難	乳白・良	—	—	19.9	826	872	655	上の上	上の下	やや強	やや強	弱	やや弱	強	極強	中	—	標高700m以上の高冷地帯に適する。 稈質が柔らかく倒伏しやすいので施肥量は少なめとする。
	山間地	早晩	〔認定〕ヒメノモチ	大系227 ×コガネモチ 東北農試 昭47年	昭59	—	平11—15	早期	4・20	5・20	7・31	9・14	80	18.6	384	無	白	偏重	易	難	乳白・良	—	—	22.2	837	639	507	中の下	上の中	やや強	やや強	中	強	強	強	中	弱	標高250～700mの中・山間地帯に適する。 耐倒伏性は強くないので基肥は控え目とする。穂発芽が“易”であり、収穫後の降雨に注意する。
		中早	まんぶくもち	越南糯144号 ×ふくひびき 福井県農試 平19年	平19	20	平14—18	早期	4・19	5・20	8・5	9・20	71	17.7	330	稀・少	褐	偏重	中	難	乳白・良	—	—	22.1	826	743	571	中の下	上の中	やや強	やや強	弱	強	—	中	やや強	弱	標高250～600mの中・山間地帯に適する。 移植期は、6月上旬までとし、極端な遅植えは、成熟期が遅延することから避ける。基肥施用量は、耐倒伏性は強いが「ヒメノモチ」と同程度とする。ふ先色は、成熟期頃になると判別しにくくなる。
水稲もち	平担地	中晩	群馬糯5号	愛知37号C(青い空)×マンゲツモチ 群馬県農総試 平4年	平5	130	平14—18	普通期	5・26	6・25	8・22	10・10	83	20.9	433	少・中	赤	偏数	やや難	難	乳白・良	—	—	20.2	816	762	551	上の下	上の下	やや強	中	やや弱	やや強	—	—	中	極強	標高350m以下の地帯に適する。 耐倒伏性はあまり強くないので基肥は控えめとする。セジロウンカに対して弱いので必要に応じて防除する。また、白葉枯病に弱いので常発地帯での栽培は避ける。
陸稲もち	平坦地（普通型）	早	〔認定〕トヨハタモチ	石系201号(ﾌｸﾊﾀﾓﾁ) ×ワタベハタモチ 茨城県農試 昭60年	昭60	—	平9—11 14 15	—	5・15	—	8・6	9・16	78	18.5	272	稀・短	紫	中間	易	難	乳白・中	—	—	20.0	808	290	210	中の下	中の上	強	強	強	中	—	—	強	—	標高700m以下の平坦・中・山間地帯に適するが、高冷地は不適地である。 肥沃度の低い圃場や少肥条件では、能力を十分に発揮できないので注意する。株枯病（陸稲馬鹿稲病）に強くないので種子消毒を必ず実施する。穂発芽性が“易”であり、収穫後の降雨に注意する。

（注）水稲の栽培面積は、農林水産統計 令和5年産水稲の作付面積（子実用）を基に作付比率（水稲共済・一体化データに基づく推計値）から算出し、ラウンドした数値。

2　麦類奨励品種特性表

種類	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 (令和5) ha	供試年次	播種期	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡	芒の長短	株の開閉	穂発芽性	脱粒性	播性程度	玄麦 千粒重 g	玄麦 容積重 g/ﾘｯﾄﾙ	玄麦 収量 kg/10a	硝子率の硬軟	品質	諸抵抗性 黒銹	赤銹小銹	うどんこ	赤かび	萎縮	縞萎縮	斑葉	凍霜害	耐寒雪性	耐肥性	耐倒伏性	適地及び栽培上の注意
小麦	早	さとのそら	『東山25号(しゅんよう)×西海168号(きぬいろは)』F1 ×ニシカゼコムギ 群馬県農技セ 平 20 年	平21	3,870	令2－6	11・16	4・17	6・5	85	9.0	538	中	中	難	中	Ⅳ	38.3	808	413	軟	上	－	強	強	中	－	強	－	やや強	－	－	強	作付けは平坦地帯に適する。播性がⅣであることから山間地域以上も対象とする。 うどんこ病等主要病害には強いが、赤かび病抵抗性は中程度なので必要に応じて適切な防除を行う。
小麦	早	つるぴかり	関東100号(ﾊﾞﾝﾄﾞｳﾜｾ) ×関東107号 群馬県農試 平 7 年	平9	930	令2－6	11・16	4・16	6・6	88	9.4	528	中	やや閉	難	中	Ⅱ	35.2	817	481	中	上	－	強	やや弱	中	－	やや強	－	やや弱	弱	強	強	作付は平坦地帯に適する。 強稈で優れた栽培性を有するが、小粒であることから厚播きや多肥栽培を避ける。極端な早播きは凍霜害の被害を受けやすいので避ける。また、うどんこ病の発生に留意する。
小麦	早	きぬの波	関東107号 ×関東100号(ﾊﾞﾝﾄﾞｳﾜｾ) 群馬県農試 平 10 年	平12	260	令2－6	11・16	4・18	6・6	82	9.5	470	中	やや閉	難	中	Ⅱ	37.8	820	478	軟	上	－	中	弱	中	－	やや強	－	やや強	－	中	強	作付は平坦地帯とする。 耐倒伏性は強いが、うどんこ病に弱い。このため厚播きは避け、基肥施肥量は「つるぴかり」並に抑え、追肥重視とする。
小麦	中	〔認定〕 ゆめかおり	西海180号 ×KS831957 長野県農事試 平 21 年	平30	270	令2－6	11・13	4・17	6・7	103	8.8	550	中	やや閉	やや難	－	Ⅱ	43.0	842	477	硬	中の中	－	強	やや強	中	強	強	－	弱	弱	－	強	主な用途はパン・中華麺等であるため、高タンパク質含量を得るため畑地での作付けを基本とし、適切な肥培管理を行うこととする。早播きは凍霜害の影響を受けやすく、稈長が長くなる傾向があるため、適期播種に務める（11月中～下旬）。 ※試験データは畑。
六条大麦	早	シュンライ	ミノリムギ ×東山皮68号 長野県農事試 昭57年	平10	509	令2－6	11・16	4・12	5・25	99	4.5	389	やや長	中	易	－	Ⅰ	37.1	693	408	－	上	－	－	やや弱	やや弱	強	強	強	強	やや強・中	－	強	極端な早播きは、凍霜害を受ける危険性が高まるため適期(11月上旬)に播種する。耐倒伏性は強いが、極端な厚播きや多肥は品質の低下を招くとともに、倒伏し易くなるので適切な肥培管理に努める。うどんこ病、赤かび病はやや弱いため、適期防除に努め精麦品質の低下を防ぐ。
六条大麦	早	〔認定〕 さやかぜ	関東皮70号×関東皮68号（すずかぜ） 作物研究所 平 14 年	平15	―	平23 24 29 30	11・12	4・22	6・2	73	3.4	480	中	中	極難	中	Ⅰ	31.1	684	409	－	中の上	－	－	中	やや弱	－	極強	－	弱	－	－	強	作付けは、平坦～中間地帯で麺用小麦が品質的に芳しくない畑地とする。 倒伏や品質の低下を招くような極端な厚播きや多肥栽培は避ける。また、赤かび病やうどんこ病の発生に注意し防除に努める。なお、麦茶用のため、粗蛋白質含有量を高めるように心がける。　※試験データは畑。
二条大麦	早	サチホゴールデン	大系R4224 ×関東二条29号 栃木農試栃木分場 平 17 年	平21	670	令2－6	11・16	4・2	5・21	95	6.7	622	やや長	やや閉	中	やや難	Ⅰ	48.1	737	407	－	中	－	－	極強	やや強	－	極強	－	弱	－	－	やや強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅲ型抵抗性である。 側面裂皮粒が発生しやすいので、極端な早播きは避け、適正な生育を確保する。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。
二条大麦	早	〔認定〕 アスカゴールデン	栃系283 ×九州二条15号 栃木農試栃木分場 平24年	平27	1,050	令2－6	11・16	4・7	5・23	96	6.2	681	やや長	やや閉	やや易	やや難	Ⅰ	46.9	722	393	－	中	－	－	極強	やや強	－	極強	－	弱	－	－	やや強	平坦地帯の水田転換畑に適する。縞萎縮病Ⅰ～Ⅴ型抵抗性である。 播性程度がⅠで茎立ちし易く、凍霜害の影響を受けやすいため、極端な早播きは避ける。また、穀皮が薄く剥皮しやすいので、収穫・乾燥・調製作業には注意する。

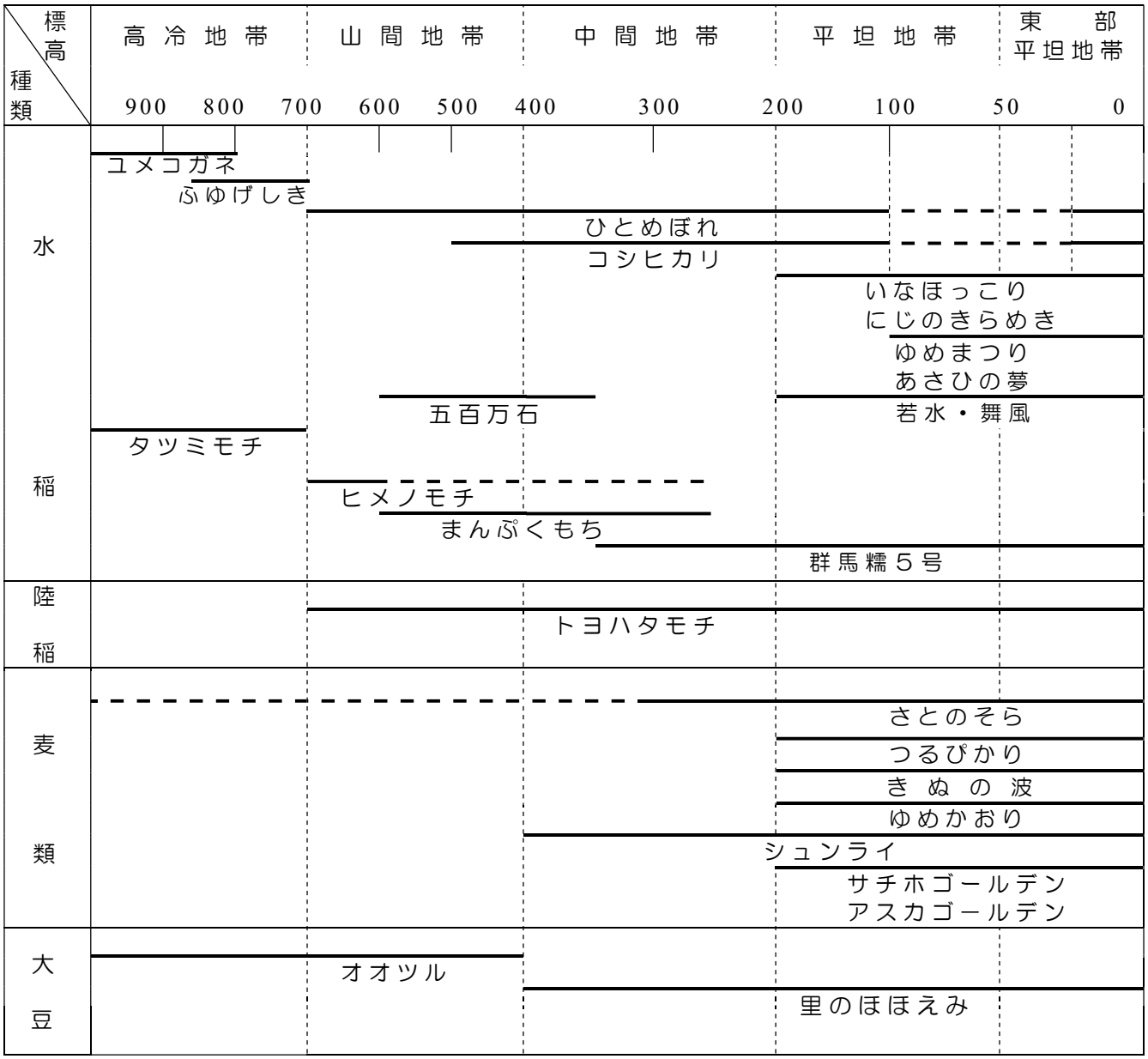
（注）麦の栽培面積は、農林水産統計（麦類の作付面積）と全農ぐんま及び集連のは種前契約より推計。

3　大豆奨励品種特性表

種類	早晩性	品種名	来歴 育成場所 育成年	採用年次	栽培面積 (令和5) ha	供試年次 平成	播種期 月・日	開花期 月・日	成熟期 月・日	生態型	草丈 cm	分枝数 本	主茎節数 節	葉型	草型	毛茸の有無及び色	花色	熟莢色	裂莢性	子実 百粒重 g	子実 粒形	子実 裂皮	子実 種皮色	子実 臍色	子実 10a当り収量 kg/10a	病害虫抵抗性 紫斑病	病害虫抵抗性 ウイルス病	病害虫抵抗性 シストセンチュウ	環境抵抗性 耐倒伏性	環境抵抗性 耐冷性	環境抵抗性 晩播適応性	適地及び栽培上の注意
普通大豆	晩	オオツル	東山80号×エンレイ 長野県農総試 中信地方試 昭63年	昭63	22	12－16	6・17	8・3	10・20	中間	71	4.9	14.7	円葉	有限（短茎分枝子閉鎖）	有・白	紫	褐	やや難	34.0	やや楕円	無	黄	黄	329	やや弱	中	弱	やや弱	強	やや大	１０月中～下旬に成熟する晩生種で、子実は極大粒、品質・成分とも良好で、収量も多い。主茎の茎葉がよく繁茂する。平坦地では、主茎長が伸びすぎるため、不適である。また、耐倒伏性が劣るため、中耕培土等を行う必要がある。晩播適応性は、比較的高い。
						12－16	6・5	7・31	10・17		75	5.6	15.8							33.8					344							
	中の晩	〔認定〕ハタユタカ	スズユタカ×エンレイ 東北農業試験場 刈和野試験地 平11年	平15	30	12－16	6・17	8・1	10・19	中間	64	4.4	14.1	円葉	有限（短茎分枝子閉鎖）	有・白	紫	褐	やや難	29.9	扁球	無	黄白	黄	345	中	強	強	強	強	大	１０月中～下旬に成熟する中の晩生種で、平坦地帯～中山間地帯に適する。強稈だがやや蔓化し易いため、中耕培土等を行う。またシストセンチュウに強いので連作は可能だが、できる限り輪作を行う。晩播適応性は比較的高い。最下着莢高がやや低いが収量性は高いので、コンバイン収穫では下方の莢は無視し、やや高刈りする。裂莢し難く、莢先熟現象も起こりにくいため汚粒の発生は比較的少ない。
						12－16	6・5	7・31	10・15		71	5.9	14.6							30.2					391							
	中の中	〔認定〕里のほほえみ	東北129号×刈交0264MYF6 東北農業研究センター 大仙研究拠点刈和野 平21年	平29	196	26－27	6・17	8・1	10・18	中間	66	7.1	12.8	円葉	有限	有・白	白	褐	難	36.1	扁球	—	黄白	黄	259	強	強	弱	強	—	—	１０月中旬に成熟する中の中生種で、子実は大粒で品質は良好である。最下着莢高が高く難裂莢性であるので機械収穫耐性に優れる。耐倒伏性にも優れ県内中間～平坦地域に適する。シストセンチュウには弱であるので発生履歴のある圃場では栽培を避ける。
	中の中	タチナガハ	東山61号×東山系G627 (ﾀﾁｽｽﾞﾅﾘ×ﾐﾔｷﾞｼﾛﾒ) 長野県農総試 中信地方試 昭61年	平元	—	26－27	6・17	7・31	10・23	中間	62	6.6	12.5	長葉	有限	有・白	紫	褐	中	36.1	やや楕円	無	黄	黄	306	強	中	極弱	極強	強	中小	１０月中旬に成熟する中の中生種で、子実はやや大粒で品質は良好、収量も多い。草型は中間で極強稈、長葉で分枝が閉じ草型が良く受光体勢に優れ、400m以下の県内各地に適する。また晩播適応性、機械化適性も高く、中間・平坦地の麦作後の栽培も可能で、多肥・密植栽培にも向く。シストセンチュウには極弱で裂莢性がやや易。近年莢先熟現象が問題となっている。
						6－10	6・4	7・3	10・22		54	5.7	13.9							35.2					343							

(注) 上段：平坦地　前橋市江木町農技センター　標高120m　畑　栽植密度　70×12cm（11.9株/㎡）
下段：中山間地　利根郡みなかみ町後閑　標高400m　転換畑　栽植密度　70×17cm（ 8.4株/㎡）
（タチナガハ）
下段：中山間地　利根郡みなかみ町須川　標高540m　畑　栽植密度　70×17cm（ 8.4株/㎡）
（オオツル、ハタユタカ）

4　標高別適応品種



注）１　平坦地帯のコシヒカリは、５月末までに移植できる地域とする。
　　２　平坦地帯のひとめぼれは、６月上旬までの移植とする。
　　３　ゆめまつり、あさひの夢の中苗の移植は６月 25 日までを目安とする。
　　４　ヒメノモチは、倒伏性と品質低下防止の観点から、山間地帯に適する。
　　５　さとのそらは、播性がⅣであることから山間地帯以上も対象とする。

5　地域別適応品種

地帯別		高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東部平坦地帯
地域区分／適応品種		吾妻郡、利根郡の一部で標高700m以上の地域	渋川市、沼田市、吾妻郡、利根郡、北群馬郡、甘楽郡の一部で標高400m～700mの地域	前橋市、高崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、桐生市、みどり市、北群馬郡、甘楽郡の一部で標高200m～400mの地域	前橋市、伊勢崎市、高崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、桐生市、みどり市、佐波郡、北群馬郡、甘楽郡、吾妻郡の一部で標高200m以下の地域	館林市、太田市、邑楽郡の標高50m以下の地域
水稲	粳	ユメコガネ ふゆげしき	ひとめぼれ コシヒカリ	ひとめぼれ コシヒカリ	ひとめぼれ コシヒカリ いなほっこり にじのきらめき ゆめまつり あさひの夢	ひとめぼれ コシヒカリ いなほっこり にじのきらめき ゆめまつり あさひの夢
	酒造好適米		五百万石	五百万石	若水・舞風	若水・舞風
	糯	タツミモチ	ヒメノモチ まんぷくもち	まんぷくもち 群馬糯５号	群馬糯５号	群馬糯５号
陸稲	糯		トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ	トヨハタモチ

地帯別	高冷地帯	山間地帯	中間地帯	平坦地帯	東部平坦地帯	備考
小麦	さとのそら	さとのそら	さとのそら	さとのそら つるぴかり きぬの波	さとのそら つるぴかり きぬの波	
				ゆめかおり	ゆめかおり	硬質小麦
六条大麦			シュンライ	シュンライ	シュンライ	精麦用
二条大麦				サチホゴールデン アスカゴールデン	サチホゴールデン アスカゴールデン	
大豆	オオツル	オオツル	里のほほえみ	里のほほえみ	里のほほえみ	

資料5　農産物規格規程（国内産農産物）の品位　　－抜粋－

1　稲

（1）水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ及び陸稲もちもみ

項目／等級	最低限度		最高限度				
	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒、着色粒、異種穀粒及び異物			
				計（%）	着色粒（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
合格	70	標準品	14.5	6	0.2	0.3	0.2

規格外―合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（2）種子水稲うるちもみ、種子水稲もちもみ、種子陸稲うるちもみ及び種子陸稲もちもみ

項目／等級	最低限度			最高限度			色
	発芽率（%）	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒（%）	異物（%）	
合格	90	90	標準品	14.5	0.5	0.2	品種固有の色

規格外―合格の品位に適合しないもみであって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

1 水分の最高限度は、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
2 水稲もちもみ及び陸稲もちもみのうち合格のものには、その種類以外のもみが2%を超えて混入していてはならない。
3 種子もみにおける異種穀粒及び異品種粒の混入限度
イ. 異なる品種を交配した一代雑種の種子もみにあっては、異種穀粒が混入していてはならず、かつ、異品種粒が2%を超えて混入していてはならない。
ロ. 原種として生産された雄性不稔系統の種子もみにあっては、異種穀粒が混入していてはならず、かつ、異品種粒が1%を超えて混入していてはならない。
ハ. イ及びロに掲げる種子もみ以外の種子もみにあっては、異種穀粒及び異品種粒が混入していてはならない。
4 種子もみとして検査の請求をしたもみで種子もみの等級に格付けされなかったものについては、水稲うるちもみ、水稲もちもみ、陸稲うるちもみ又は陸稲もちもみとしてそれぞれの規格を適用する。
5 包装には、農林水産省総合食料局長（以下「総合食料局長」という。）が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員（農産物検査法（昭和26年法律第144号）第17条第2項第1号に規定する者をいう。以下同じ。）が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋、紙袋又はポリエチレンフィルム袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率―全量に対する重量比をいう。ただし、発芽率の場合を除く。
2 整粒―被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
3 形質―充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形及び光沢をいう。
4 水分―常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
5 被害粒―損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、くされ粒、虫害粒、傷もみ、砕粒等）をいう。ただし、普通もみにあっては、損傷が軽微で玄米の品質及びもみすり歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
6 着色粒―粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 未熟粒―成熟していない粒をいう。
8 異種穀粒―その種類のもみ（普通もちもみにあっては、もみ）を除いた他の穀粒をいう。
9 異物―穀粒を除いた他のものをいう。
10 発芽率―摂氏25度で14日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。
11 整粒等―整粒、未熟粒及び被害粒（原形の2分の1以下の砕粒を除く。）をいう。
12 たんぱく質―精米につき窒素定量法により換算値5.95を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
13 アミロース―精米につきよう素呈色比色法により分光光度計を用いて測定したものをいう。

（3）水稲うるち玄米

項目／等級	最低限度		最高限度					
	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物				
				計（%）	死米（%）	着色粒（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.4	0.2
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.8	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.7	0.6

規格外―1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(4)陸稲うるち玄米及び陸稲もち玄米

項目／等級	最低限度		最高限度							
				被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物						
	整粒	形質	水分	計	死米	着色粒	異種穀粒			異物
							もみ	麦	もみ及び麦を除いたもの(%)	
	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		(%)
1等	65	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
2等	55	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.3	0.5	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.7	1.0	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5)醸造用玄米

項目／等級	最低限度		最高限度						色
				被害粒、死米、着色粒、もみ及び異物					
	整粒	形質	水分	計	死米	着色粒	もみ	異物	
	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
特上	90	特上標準品	15.0	5	3	0.0	0.1	0.0	品種固有の色
特等	80	特等標準品	15.0	10	5	0.0	0.2	0.1	品種固有の色
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.3	0.1	品種固有の色
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.5	0.4	―
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.0	0.6	―

規格外—特上から3等までのそれぞれの品位に適合しない醸造用玄米であって、もみ及び異物を50%以上混入していないもの。

附則

1 醸造用玄米を除く玄米の水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
2 次の道県で生産された醸造用玄米に限り、その水分の最高限度は各等級とも本表の数値にそれぞれ次の数値を加算したものとする。
・北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形及び福島の各道県、1.0%
・新潟、富山、石川、福島、島根及び沖縄の各県、0.5%
3 もち玄米には、その種類以外の玄米が1等のものにあっては1%、2等のものにあっては2%、3等のものにあっては3%を超えて混入していてはならない。
4 玄米には、異物として土砂(これに類するものとして農林水産省生産局長が定めるものを含む。)が混入していてはならない。
・農林水産省生産局長が定めるもの、石、ガラス片、金属片及びプラスチック片
5 醸造用玄米には、もみを除く異種穀粒及び異品種粒が混入してはならない。

定義

1 百分率—全量に対する重量比をいう。
2 整粒—被害粒、死米、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。
3 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢並びに肌ずれ、心白及び腹白の程度をいう。
4 水分—常圧加熱乾燥法のうち、105度乾燥法によるものをいう。
5 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、芽くされ粒、虫害粒、胴割粒、奇形粒、茶米、砕粒等)をいう。
6 死米—充実していない粉状質の粒(青死米及び白死米)をいう。
7 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、とう精によって除かれ、又は精米の品質及び精米歩合に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
8 未熟粒—死米を除いた成熟していない粒をいう。
9 異種穀粒—その種類の玄米(もち玄米にあっては、玄米)を除いた他の穀粒をいう。
10 異物—穀粒を除いた他のものをいう。

(6)七分づき精米

項目／等級	最低限度	最高限度						
			粉状質粒及び被害粒				異種穀粒及び異物	
	形質	水分	計	被害粒		砕粒	もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	2	0.0	0.1
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	5	0.0	0.2
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.3

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(7)完全精米

項目／等級	最低限度	最高限度						
			粉状質粒及び被害粒				異種穀粒及び異物	
	形質	水分	計	被害粒		砕粒	もみ	もみを除いたもの
				計	着色粒			
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1等	1等標準品	15.0	10	1	0.0	5	0.0	0.0
2等	2等標準品	15.0	20	2	0.2	10	0.0	0.1
等外	等外標準品	15.0	25	4	0.2	15	0.0	0.2

規格外—1等から等外までのそれぞれの品位に適合しない精米であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

附則

1 水分の最高限度は、各等級とも、当分の間、本表の数値に1.0%を加算したものとする。
2 もち精米には、その種類以外の精米が1等のものにあっては0%、2等のものにあっては2%、等外のものにあっては3%を超えて混入していてはならない。
3 精米には、土砂（これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。）が混入していてはならない。
4 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率—玄米の定義の百分率に同じ。
2 形質—ぬか層のはく離及びぬかの付着の程度、粒ぞろい並びに心白及び腹白の程度をいう。
3 水分—もみの定義の水分に同じ。
4 粉状質粒—粒質が粉状又は半粉状の粒をいう。
5 被害粒—汚染し、又は損傷を受けた粒（砕粒を除く。）をいう。
6 着色粒—粒面の全部又は一部が着色した粒及び赤米をいう。ただし、精米の品質に著しい影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 砕粒—その大きさが完全粒の3分の2から4分の1（針金25番線ふるい目の開き1.7ミリメートルのふるいをもって分け、そのふるいの上に残る程度の大きさをいう。）までの粒をいう。
8 異種穀粒—その種類の精米（もち精米にあっては、精米）を除いた他の穀粒をいう。
9 異物—その大きさが完全粒の4分の1未満の精米粒及び穀粒を除いた他のものをいう。
10 たんぱく質—もみの定義のたんぱく質に同じ。
11 アミロース—もみの定義のアミロースに同じ。

2 麦類

（1）普通小麦

項目／等級	最低限度			最高限度					
					被害粒、異種穀粒及び異物				
							異物		
	容積重（グラム）	整粒（%）	形質	水分（%）	計（%）	異種穀粒（%）	麦角粒（%）	なまぐさ黒穂病粒率（%）	麦角粒及びなまぐさ黒穂病粒率を除いたもの（%）
1等	780	75	1等標準品	12.5	5.0	0.5	0.0	0.1	0.4
2等	730	60	2等標準品	12.5	15.0	1.0	0.0	0.1	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（2）強力小麦

項目／等級	最低限度				最高限度						
							被害粒、異種穀粒及び異物				
									異物		
	容積重（グラム）	整粒（%）	硝子率（%）	形質	水分（%）	異品種粒（%）	計（%）	異種穀粒（%）	麦角粒（%）	なまぐさ黒穂病粒率（%）	麦角粒及びなまぐさ黒穂病粒率を除いたもの（%）
1等	760	75	70	1等標準品	12.5	5.0	5.0	0.5	0.0	0.1	0.4
2等	730	65	―	2等標準品	12.5	10.0	15.0	1.0	0.0	0.1	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない強力小麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

（3）種子小麦

種類	項目／等級	最低限度					最高限度				色
									異物		
		容積重（グラム）	整粒（%）	硝子率（%）	発芽率（%）	形質	水分（%）	被害粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）	
普通小麦	合格	740	90	－	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
強力小麦	合格	740	90	70.0	80	標準品	12.5	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

1 普通小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種以外の小麦（種子小麦を除く。）について適用する。
2 強力小麦の規格は、品種銘柄として定められた品種（種子小麦を除く。）について適用する。
3 普通小麦及び強力小麦のうち1等及び2等のものには、被害粒のうち発芽粒が2.0%、赤かび粒が0.0%及び黒かび粒が5.0%を超えて混入していてはならない。
4 普通小麦のうち1等及び2等のものには、強力小麦が10%を超えて混入していてはならない。
5 小麦には、異物として土砂（これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。）が混入していてはならない。
6 種子小麦には、異臭があってはならない。
7 種子小麦には、異品種粒、異種穀粒又はなまぐさ黒穂病粒が混入していてはならない。
8 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率—全量に対する重量比をいう。ただし、なまぐさ黒穂病粒率、硝子率及び発芽率の場合を除く。
2 容積重—ブラウェル穀粒計で測定した1リットルの重量をいう。
3 整粒—2ミリメートルの縦目ぶるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
4 形質—皮部の厚薄、充実度、質の硬軟、粒ぞろい、粒形、光沢等をいう。
5 水分—もみの定義の水分に同じ。
6 被害粒—損傷を受けた粒(発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、砕粒、熱損粒及び種子小麦についての芽くされ粒、胴割粒等)をいう。ただし、普通小麦及び強力小麦にあっては、被害が軽微で小麦粉の品質及び製粉歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 発芽粒—発根又は発芽している粒及び発根又は発芽のこん跡のある粒をいう。
8 赤かび粒—赤かび病菌等に侵されて赤色を帯びた粒をいう。
9 黒かび粒—かび又は菌等に侵されて黒色を帯びた粒をいう。
10 異品種粒—その品種以外の小麦の粒をいう。
11 異種穀粒—小麦を除いた他の穀粒をいう。
12 異物—もみの定義の異物に同じ。
13 麦角粒—麦角菌菌糸のかたまり及び麦角菌に侵された穀粒をいう。
14 なまぐさ黒穂病粒率—なまぐさ黒穂病菌に侵された粒の供試した粒に対する粒数歩合をいう。
15 硝子率—整粒中の硝子質粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
16 発芽率—摂氏20度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
17 健全粒等—健全粒、成熟していない粒及び被害粒(原形の2分の1以下の砕粒を除く。)をいう。
18 たんぱく質—窒素定量法により換算値5.70を用いたもの又はこれと同等の精度でその測定結果が得られる近赤外分析計を用いて測定したものをいう。
19 でん粉—落球粘度計により測定したものをいう。

(4)普通小粒大麦

項目／等級	最低限度			最高限度					
					被害粒、異種穀粒及び異物				
								異物	
	容積重(グラム)	整粒(%)	形質	水分(%)	計(%)	熱損率(%)	異種穀粒(%)	麦角粒(%)	麦角粒を除いたもの(%)
1等	600	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	540	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通小粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(5)普通小粒大麦、普通大粒大麦(飼料用に供されるもの)

項目／等級	最高限度					
				異種穀粒及び異物		
					異物	
	水分(%)	細麦(%)	被害粒(%)	計(%)	麦角粒(%)	麦角粒を除いたもの(%)
合格	14.0	45	25	11	0.0	―

規格外－異臭のあるもの又は合格の品位に適合しない普通小粒大麦(飼料用に供されるもの)であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(6)普通大粒大麦

項目／等級	最低限度			最高限度					
					被害粒、異種穀粒及び異物				
								異物	
	容積重(グラム)	整粒(%)	形質	水分(%)	計(%)	熱損率(%)	異種穀粒(%)	麦角粒(%)	麦角粒を除いたもの(%)
1等	620	75	1等標準品	13.0	5.0	0.5	0.5	0.0	0.4
2等	560	60	2等標準品	13.0	15.0	0.5	1.0	0.0	0.6

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(7)ビール大麦

項目 / 等級	最低限度				最高限度						色
							被害粒、異品種粒及び異種穀粒並びに異物				
									異物		
	容積重（グラム）	発芽勢（%）	整粒（%）	形質	水分（%）	細麦（%）	計（%）	異品種粒及び異種穀粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）	
1等	645	95	90	1等標準品	13.0	5.0	2.0	0.2	0.0	0.2	品種固有の色
2等	630	95	80	2等標準品	13.0	10.0	3.0	0.2	0.0	0.2	―
等外上	600	95	70	等外標準品	13.0	―	6.0	0.2	0.0	0.2	―

規格外－異臭のあるもの又は1等及び2等のそれぞれの品位に適合しない普通大粒大麦であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの。

(8)種子大麦

種類	項目 / 等級	最低限度				最高限度				色
								異物		
		容積重（グラム）	発芽率（%）	整粒（%）	形質	水分（%）	被害粒（%）	麦角粒（%）	麦角粒を除いたもの（%）	
普通小粒大麦	合格	560	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
普通大粒大麦	合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色
ビール大麦	合格	590	80	90.0	標準品	13.0	0.5	0.0	0.2	品種固有の色

附則

1 普通小粒大麦の規格は、二条大麦以外の大麦（種子大麦を除く。）で飼料用に供されないものについて適用する。
2 普通大粒大麦の規格は、二条大麦（種子大麦を除く。）で飼料用又は醸造用に供されないものについて適用する。
3 普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）の規格は、二条大麦以外の大麦（種子大麦を除く。）で飼料用に供されるものについて適用する。
4 普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）の規格は、二条大麦（種子大麦を除く。）で飼料用に供されるものについて適用する。
5 普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）の規格が適用されるものについては、銘柄の規定は、適用しない。
6 この規格で「飼料用に供される」とは、単体飼料又は配合飼料の原料に供されることをいう。
7 ビール大麦の規格は、二条大麦（種子大麦を除く。）で醸造用に供されるものについて適用する。
8 ビール大麦の発芽勢は、後熟後における数値とする。
9 被害粒のうち赤かび粒は、普通小粒大麦及び普通大粒大麦のうち1等及び2等のもの並びにビール大麦にあっては0.0%、普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）のうち合格のものにあっては10.0%を超えて混入していてはならない。
10 大麦には、異物として土砂（これに類するものとして生産局長が定めるものを含む。）が混入していてはならない。
11 ビール大麦及び種子大麦には、異臭があってはならない。
12 種子大麦には、異品種粒又は異種穀粒が混入していてはならない。
13 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率―全量に対する重量比をいう。ただし、発芽勢及び発芽率の場合を除く。
2 容積重―小麦の定義の容積重に同じ。
3 整粒―2ミリメートル（普通大粒大麦及びビール大麦の等外上にあっては2.2ミリメートル、ビール大麦の1等及び2等にあっては2.5ミリメートル）の縦目ぶるいをもって分け、そのふるいの上に残る健全粒をいう。
4 形質―小麦の定義の形質に同じ。
5 水分―もみの定義の水分に同じ。
6 被害粒―損傷を受けた粒（発芽粒、病害粒、くされ粒、たい色粒、虫害粒、胴割粒、砕粒、熱損粒、空洞粒、硬質粒並びにビール大麦及び種子大麦についての芽くされ粒、剥皮粒等）をいう。ただし、被害が軽微で、普通小粒大麦及び普通大粒大麦にあっては精麦の品質及び精麦歩合に影響を及ぼさない程度のものを、普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）にあっては飼料の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のものを、ビール大麦にあっては麦芽の品質及び製麦歩合に影響を及ぼさない程度のものを除く。
7 赤かび粒―小麦の定義の赤かび粒に同じ。
8 熱損粒―熱等によって損傷を受け、でん粉層まで茶褐色、茶色又は黒色に変色した粒をいう。
9 異品種粒―ビール大麦についての異品種粒とは、ビール大麦以外の大麦の粒をいう。
10 異種穀粒―大麦を除いた他の穀粒をいう。
11 異物―もみの定義の異物に同じ。
12 麦角粒―小麦の定義の麦角粒に同じ。
13 発芽勢―摂氏20度で72時間以内に発芽した整粒の供試した整粒に対する粒数歩合をいう。
14 細麦―普通小粒大麦（飼料用に供されるもの）及び普通大粒大麦（飼料用に供されるもの）にあっては2ミリメートル、ビール大麦にあっては2.2ミリメートルの縦目ぶるいをもって分け、そのふるいを通過する大麦の粒をいう。
15 発芽率―摂氏20度で7日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した健全粒等に対する粒数歩合をいう。
16 健全粒等―小麦の定義の健全粒等に同じ。

3 大豆

(1)普通大豆

項目／等級	最低限度		最高限度				
				被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
	粒度（%）	形質	水分（%）	計（%）	著しい被害粒等（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
1等	70	1等標準品	15.0	15	1	0	0
2等	70	2等標準品	15.0	20	2	1	0
3等	70	3等標準品	15.0	30	4	2	0

規格外－1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(2)特定加工用大豆

項目／等級	最低限度		最高限度				
				被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物			
	粒度（%）	形質	水分（%）	計（%）	著しい被害粒等（%）	異種穀粒（%）	異物（%）
合格	70	標準品	15.0	35	5	2	0

規格外－合格の品位に適合しない大豆であって、異種穀粒及び異物が50%以上混入していないもの。

(3)種子大豆

項目／等級	最低限度		最高限度		
	発芽率（%）	形質	水分（%）	被害粒及び未熟粒（%）	異物（%）
合格	80	合格標準品	15.0	10	0

附則

1 北海道において生産された大豆のうち、普通大豆の3等のもの及び特定加工用大豆の合格のものに限り、その水分の最高限度は、本表の数値に1.0%を加算したものとする。

2 普通大豆及び特定加工用大豆の小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径6.1ミリメートル（北海道で生産されたものにあっては直径6.7ミリメートル）の丸目ふるいをもって分け、極小粒大豆の産地品種銘柄にあっては直径5.5ミリメートルの丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比が10%未満でなければならない。

3 普通大豆の色の区分は、黄色、黒色、茶色及び青色とし、それぞれの色の大豆にはその色以外の色のものの粒が1等のものにあっては0%、2等のものにあっては5%、3等のものにあっては10%を超えて混入していてはならない。

4 特定加工用大豆の規格は、豆腐・油揚、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用される大豆に適用する。

5 種子大豆には、異種穀粒及び異品種粒が混入していてはならない。

6 包装には、生産局長が別に定めるところにより、あらかじめ農産物検査員が包装の規格に適合するものとして確認を行った麻袋、樹脂袋又は紙袋を使用していなければならない。

定義

1 百分率—もみの定義の百分率に同じ。

2 粒度—次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる大きさの目の丸目ふるいをもって分け、ふるいの上に残る粒の全量に対する重量比をいう。

区分	ふ る い の 目 の 大 き さ
大粒大豆	直径7.9ミリメートル（つるの子及び光黒（北海道で生産されたもの）、ミヤギシロメ（岩手県及び宮城県で生産されたもの）並びにオオツル（群馬県、富山県、石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府及び兵庫県において生産されたもの）にあっては、直径8.5ミリメートル）、タマフクラ（北海道で生産されたもの）にあっては直径9.1ミリメートル）
中粒大豆	直径7.3ミリメートル
小粒大豆	直径5.5ミリメートル
極小粒大豆	直径4.9ミリメートル

3 形質—充実度、粒形、色沢、粒ぞろい等をいう。

4 水分—もみの定義の水分に同じ。

5 被害粒—損傷を受けた粒（病害粒、虫害粒、変質粒、破砕粒、皮切れ粒、はく皮粒等）をいう。ただし、普通大豆にあっては、損傷が軽微で製品の品質に影響を及ぼさない程度のものを、特定加工用大豆にあっては製品の品質に影響を及ぼさない程度のものを除く。

6 未熟粒—もみの定義の未熟粒に同じ。

7 著しい被害粒等—被害粒のうち著しく損傷を受けたもの及び未熟粒のうち著しく充実度が劣るものとして生産局長が定めるものをいう。

8 異品種粒—その品種以外の大豆の粒をいう。

9 異種穀粒—大豆を除いた他の穀粒をいう。

10 異物—穀粒を除いた他のもの及び死豆（充実していない粉状質の粒）をいう。

11 発芽率—摂氏25度で8日間以内に発芽した正常発芽粒の供試した整粒等に対する粒数歩合をいう。

12 整粒等—整粒（被害粒、未熟粒、異種穀粒及び異物を除いた粒をいう。）、未熟粒及び被害粒（原形の2分の1以下の破砕粒、子葉が一枚の破砕粒及び種皮が完全に離脱したはく皮粒を除く。）をいう。

令和７年産主要農作物生産振興資料

基本方針編

発　行：群馬県農政部米麦畜産課

〒371-8570
群馬県前橋市大手町一丁目１番１号
電話(027)226-3128／FAX(027)223-3095